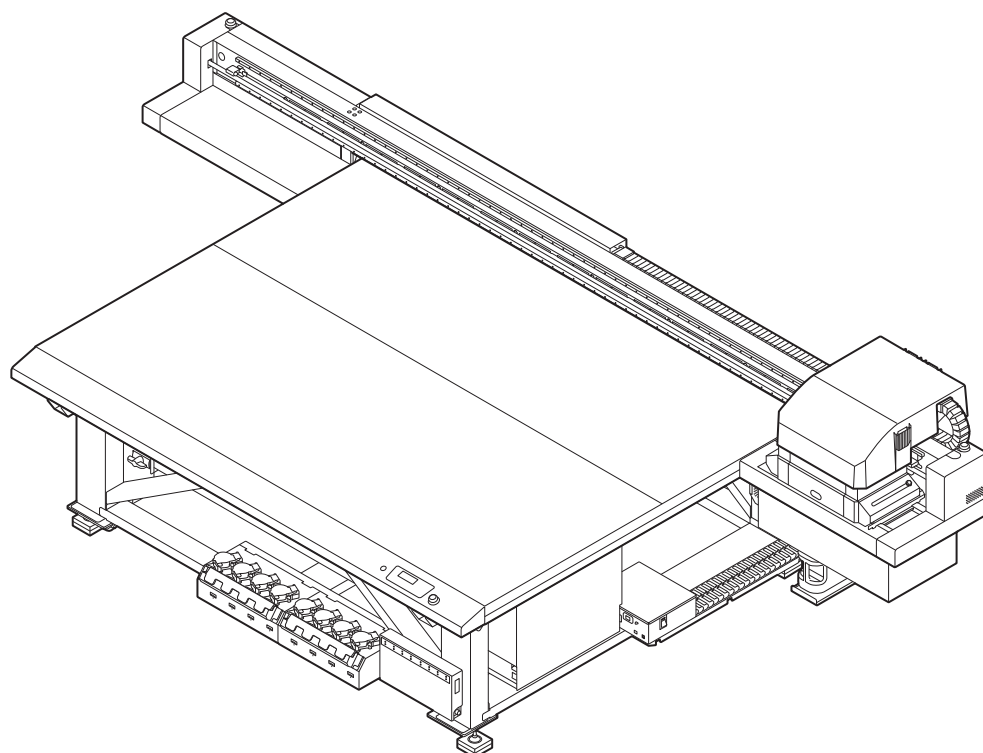


Operation Manual

UV INKJET PRINTER *JFX200-2513 EX* *JFX200-1213 EX* 取扱説明書



本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

目次

はじめに	6
安全にお使いいただくために	7
マーク表示について	7
使用上の警告と注意	8
設置上の注意	14
警告ラベルについて	15

第 1 章 ご使用の前に

1.1 使用上の制限について	20
使用上の制限	20
使用者の制限	20
エリア制限	20
1.2 本機の設置について	21
設置環境について	21
設置場所について	21
本機の固定について	22
本機の移動	22
1.3 プリンタの操作時に回避すべき行為	23
1.4 各部の名称とはたらきについて	27
装置前面	27
装置背面/側面	27
操作パネル	28
キャリッジ	29
キャッピングステーション	29
停止スイッチ	30
1.5 ケーブルを接続する	31
USBケーブルを接続する	31
電源ケーブルを接続する	32
LANケーブルを接続する	33
1.6 インクボトルについて	35
使用可能なインクの種類	35
インクボトルをセットする	35
インクボトルを交換する	40
遮光カバーが外れてしまったときは	43
インクボトルランプについて	43
インクの使用制限について	44
インクエンド、インクニアエンドについて	44
インクボトルの保管について	44
インクボトル取り扱い上のご注意	45
1.7 メディアについて	46
使用可能メディアサイズ	46
メディアの保管について	46
メディア取り扱い上の注意	46
1.8 作業環境などに関するご注意	47

第2章 基本的な使い方

2.1 作業の流れ.....	50
2.2 電源を入れる/切る.....	51
電源を入れる.....	51
電源を切る.....	51
2.3 メディアをセットする.....	53
メディアをセットする.....	53
2.4 UV-LEDユニットの位置を移動する.....	56
UV-LEDユニットの位置.....	56
2.5 テストプリントをする.....	61
作図不良の例.....	61
ヘッドの配列とテストパターンの関係.....	62
テストプリントを行う.....	63
2.6 ヘッドクリーニング.....	65
2.7 データをプリントする.....	67
プリントを開始する.....	67
プリントを中断する.....	68
受信したデータを消去する（データクリア）.....	68
Yバーを移動させる.....	68

第3章 便利な使い方

3.1 原点を変更する.....	72
ジョグキーを使ってプリント原点を変更する.....	72
ファンクションメニューを使ってプリント原点を変更する.....	73
3.2 メディアの厚みを登録する.....	74
メディアの厚みを手動で登録する.....	74
メディアの厚みを[UP]キーまたは [DOWN]キーを使って登録する....	74
メディアの厚みを自動測定する.....	75
3.3 ヘッドギャップ値について.....	77
ヘッドキャップ値を登録する.....	77
ヘッドギャップ値を確認する.....	78
3.4 設定機能一覧表.....	79
3.5 双方向プリントのドット位置を調整する.....	80
ドット位置を補正する.....	80
3.6 ロジカルシークの設定.....	82
3.7 UVモードの設定.....	84
3.8 パス間の縞を軽減する.....	86
MAPS機能とは.....	86
MAPS2機能を設定する（4色+特色インク時）.....	86
3.9 ワークチェンジの設定.....	90
3.10 イオナイザーの設定.....	91
3.11 オートクリーニングの設定.....	92
3.12 ノズル面の清掃頻度を設定する.....	94
3.13 その他の設定.....	95

3.14 マシン設定.....	96
オートパワーオフの設定	97
シコクの設定	97
タンイの設定	98
キープザーの設定	99
言語の設定	100
ネットワークの設定	101
外部停止I/Fについて	102
3.15 ノズルチェックメニュー	104
ノズルチェックメニュー一覧	104
印刷中ノズルチェックの流れ	104
「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作	105
印刷中ノズルチェックの設定	105
自動ノズルリカバリの設定	107
判定条件の設定	107
3.16 設定した内容を初期状態に戻す	109
3.17 本機の情報を確認する	110
使用状況を確認する	110
バージョン情報を確認する	111
その他の情報を表示する	112

第4章 メンテナンス

4.1 日常のお手入れ.....	116
お手入れのご注意	116
メンテナンス液について	116
お手入れを行うタイミング	117
外装のお手入れ	118
テーブルのお手入れ	118
MBISのお手入れ	119
LMガイドの清掃	119
イオナイザーのお手入れ	119
4.2 キャッピングステーションのメンテナンス	120
ワイパーとキャップの清掃	120
NCUの清掃	126
ステーション周辺の清掃	127
インク排出路の洗浄	128
長期間使用しない場合	129
4.3 ヘッド周辺のメンテナンス.....	132
LED UVユニットの清掃	133
4.4 ヘッドノズル面のメンテナンス	134
4.5 ノズル詰まりが復旧しない場合	136
サブタンクからヘッドまでのインク充填を行う	136
ヘッドノズルの洗浄	137
ヘッドノズルの洗浄(PR-200インク使用時)	139
空気抜きを行う	142
ノズルリカバリ機能	146
4.6 オートメンテナンス機能	150
リフレッシュ間隔を設定する	150
クリーニング間隔を設定する	151

4.7 消耗品の交換	152
ワイパーを交換する	152
キャリッジフィルターの交換	153
廃インクの廃棄.....	154
廃インクタンク確認メッセージが表示される前に廃インクタンクを交換する場合（1）	157
廃インクタンク確認メッセージが表示される前に廃インクタンクを交換する場合（2）	158
インクボトルキャップの交換	158
4.8 冷却水の補充について.....	159
冷却水を補充する	160
4.9 フラッシングフィルターについて.....	162
フラッシングフィルターを交換する	162
交換メッセージが表示される前にフラッシングフィルターを交換する	162

第 5 章 困ったときは

5.1 故障かなと思ったら	166
電源が入らない.....	166
プリントできない	166
画質不良が発生したら	166
ノズル詰まりを解消したいとき	167
インクボトルに異常が発生したら	167
インク漏れが発生したら	168
「ホワイトインクボトル ヲフテクダサイ」が表示されたら.....	168
サブタンク関連のエラーが発生したら.....	169
圧力異常が発生したら.....	170
5.2 メッセージを表示するトラブル	172
ワーニングメッセージ.....	172
エラーメッセージ	175

第 6 章 付録

6.1 仕様.....	184
本体仕様	184
インク仕様	185
6.2 インクボトルのセット順	186
6.3 お問い合わせシート	187
6.4 LICENSE Library (EPL5 StarterWare).....	188

はじめに

この度はUVインクジェットプリンター JFX200-2513EX, JFX200-1213EXをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、取扱説明書（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Illustrator、Photoshop、およびPostScriptは、Adobe Incorporatedの米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

RasterLink、TxLinkは、株式会社ミマキエンジニアリングの日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

その他本書に記載されている会社名、および商品名は各社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2019 株式会社ミマキエンジニアリング

● 免責事項

- JFX200-2513EX, JFX200-1213EX（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクボトルのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正不凍液をご使用ください。それ以外の不凍液を使用すると、冷却装置が故障するおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- UV-LEDユニット、UV電源装置は、弊社純正品以外は絶対に使用しないでください。弊社純正品以外を使用すると、本機の故障、感電、火災のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

● テレビ、ラジオの受信障害について



- 本機稼働中は、高周波が発生しています。不適切な条件下で使用した場合、テレビやラジオの受信障害が発生するおそれがあります。特殊なテレビやラジオに対して、保証していません。

テレビやラジオの受信障害が発生したら、本機の電源を切ってから、テレビやラジオの受信状態をご確認ください。電源を切って受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせることで試してください。

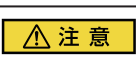
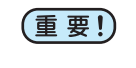
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えて、受信障害の発生しない位置を探してください。
- テレビやラジオは、本機から離れた場所に設置してください。
- テレビやラジオは、本機が接続している電源供給経路とは別のコンセントに接続してください。

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味を理解し、本機を安全に正しくお使いください。

● マーク表示の例

内 容		
	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷のおそれがある内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な注意事項は▲の中に描かれます。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な指示内容は●の中に描かれます。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は⊘の中に描かれます。
	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	ヒント	知っておくと便利なのが書かれています。操作の参考にしてください。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。文字をクリックすると該当ページが表示されます。

使用上の警告と注意

● 異常事態が発生したら

⚠ 警告



- ・ 誤ってインク、メンテナンス用洗浄液を飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないください。
その後、(財)日本中毒情報センター 中毒110 番に連絡してください。
大阪：072-727-2499
つくば：029-852-9999
- ・ 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして呼吸しやすい姿勢で安静にしてください。また、直ちに医師の診断を受けてください。
- ・ 万一、金属、水、液体などの異物が本機内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
- ・ インク漏れが発生した場合は、主電源スイッチをオフにして電源プラグを抜いてから、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。



- ・ 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態が発生したら、すぐに電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。
- ・ お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● インク、洗浄液について

⚠ 警告



- ・ インク、メンテナンス用洗浄液の取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をお読みください。
- ・ 一部成分において、水生生物に対する毒性があります。自然水系、生活排水への漏洩流出を防いでください。
- ・ インクが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに石けんや水で洗い流してください。万一インクが目に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- ・ 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。
- ・ インク、メンテナンス用洗浄液は、冷暗所で保管してください。また子供の手の届かない場所に保管してください。



- ・ インク、メンテナンス用洗浄液を取り扱う場合は、換気に十分注意して、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入るおそれがあります。



⚠ 注意



- ・ 専用インク以外を使用すると、故障の原因になります。この場合には保証の対象外となり、専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。
- ・ インクボトル内のインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となり、詰め替えたインクを使用して生じた不具合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・ 専用インクは、他のプリンタで使用しないでください。プリンタが壊れるおそれがあります。

● インクボトルの取り扱い

⚠ 警告



- インクボトルにインクに関する注意書きが記載されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。
- インクボトルや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。

⚠ 注意

- インクボトルを寒い所から暖かい所に移した場合は、使用する場所に3時間以上放置してから利用してください。
- インクボトルは使用直前に開封し、早めに使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、印刷品質が低下するおそれがあります。
- 専用インク以外のインクを使用すると、装置保護のため、動作しません。



- インクボトルを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。ボトルからインクが漏れるおそれがあります。

● 可動部に注意**⚠ 警告**

- 危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでください。怪我をするおそれがあります。

● 警告ラベルについて**⚠ 注意**

- 本機には、警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、販売店、または弊社営業所にて新しい警告ラベルをお買い求めください。

● 紫外線（UV）、UV-LEDについて**⚠ 警告**

- LED UV装置は非常に高温になります。メンテナンスを行う時は、LED UV装置消灯後、十分温度が下がってから行ってください。やけどのおそれがあります。



- LED UV装置周辺から多少の紫外線漏れがあります。手袋、長袖の服、顔面部は遮光面、遮光メガネなどを着用し、紫外線を皮膚や目に浴びないようにしてください。
 - (1) 紫外線を皮膚や目に浴びると、炎症や皮膚ガンを起こすおそれがあります。
 - (2) 弱い紫外線で炎症を起こさない場合でも、反復暴露により慢性障害に発展するおそれがあります。
 - (3) 点灯中のランプを肉眼で見ると、目の痛みや視力障害を起こすおそれがあります。
 - (4) 紫外線による目の障害が発生するおそれがあります。
 - 急性障害: 異物感、とう痛、涙が流れるなど
 - 慢性障害: 白内障など



- 点灯中のLED UV装置は絶対に直接肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。必ず付属の保護メガネを着用してください。



- 紫外線（UV）を皮膚に直接あてないでください。皮膚の炎症を起こす原因になります。

⚠ 注意



- LED UV装置などの高温部に可燃物が触れると、発火、発煙の可能性があります。また、LED UV装置の下に数秒間、可燃物を放置すると、発火、発煙の可能性があります。



- LED UV装置下面のガラスは、必ず付属の手袋をはめて取り扱い、素手で触れないでください。UV 硬化が著しく低下する原因になります。汚れがついた場合には、エタノールで湿らせた清潔なガーゼなどで拭いてください。（外側カバーはエタノールで拭かないでください。塗装がはげます。）



- 弊社推奨のLED UV装置、UV電源装置以外は絶対に使用しないでください。弊社推奨品以外を使用すると、火災または装置が破損するおそれがあります。この場合には保証の対象外となり、弊社推奨品以外を使用して生じた不具合について、弊社は一切責任を負いかねます。
- ガラス製品のため、落下させたり、物をぶつかけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。

● 接地工事について

⚠ 警告



- コンセントの増設には、感電事故防止のため接地工事が必要です。
- 接地工事は、C種接地工事（特別第3種接地工事）を行ってください。
- 接地工事は、感電事故防止のため必ず行ってください。

● 設置場所、使用環境について

⚠ 警告



- インクに引火する可能性があるため、本機を使用する場所は火気厳禁としてください。



- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 本機は防爆タイプではありません。危険物雰囲気で使用しないでください。爆発などのおそれがあります。
- 排気口施工時には、本機の故障を防ぐため、下記の注意を必ずお守りください。
 - (1) 排気口の設置については各国の地域のEHS（Environmental, Health and Safety）ガイドラインに従ってください。
 - (2) 排気口に閉鎖弁などを設置する場合、本機使用時は必ず閉鎖弁を開けてください。



- 引火する危険性の雰囲気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使わないでください。引火による火災や感電の原因になります。
- 紙や布をLED UV 装置に近づけたり、覆ったりしないでください。火災の原因になります。



- 湿気の多い場所では使用しないでください。また、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。



- 本機に子供を近づけないでください。

⚠ 注意



- できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。
- この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。
- ヘッド周辺にホコリが付着すると、インクのしずくが落ちる原因になります。ヘッドをクリーニングしてください。
- 本機を水平に保つようにしてください。

● テーブルに乗らない

 警告

- ・ テーブルの上には絶対に乗らないでください。盤面精度が狂うおそれがあります。

● 電源、電圧について

 警告

- ・ 本機には、高電圧が発生している部分があります。電気工事は、必ず電気工事士の免許を持った人が行ってください。



- ・ 同梱されている電源ケーブルセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源ケーブルセット以外の電源ケーブルセットは、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- ・ 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- ・ 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。
- ・ タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- ・ 電源ケーブルが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られる状態で本機を使用しないでください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。サービス実施店にケーブルの交換を依頼してください。
- ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- ・ 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- ・ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- ・ 表示された電源周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- ・ 表示された電源仕様で使用してください。また、電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理されたコンセントに差し込んでください。火災・感電の原因になります。



- ・ 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災や感電の原因になります。
- ・ 本機の主電源スイッチの投入作業は、本機の操作方法を熟知した人以外は行わないでください。

● 電源供給について

 警告

- ・ ブレーカーは常時オンにしておいてください。

● 電源ケーブルについて

 警告

- ・ 付属の電源ケーブルを使用してください。

● 廃棄処分について

 警告



- 本機を廃棄したいときは、販売店またはサービス実施店にご相談ください。なお、お客様自身で廃棄処理される場合は、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 不要になったインクボトル・廃インクは、販売店またはサービス実施店へお渡しください。なお、お客様自身で廃棄処理される場合は、産業廃棄物処理業者または各国の地域の条例に従って処理してください。

● バキュームの取り扱い

⚠ 警告



- バキュームの分解・改造は絶対に行わないでください。また、リリース弁（圧力調整弁）に触れたり、バキュームの排気口をふさがないでください。吸着力の低下および、発熱や故障の原因となります。（バキュームはテーブルの真下にあります。）

⚠ 注意



- 低温環境下で本機を使用すると、まれにバキュームから甲高い音が発生することがありますが、故障ではありません。

● 不凍液について

⚠ 警告



- 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。それ以外の不凍液を使用すると、冷却装置が故障するおそれがあります。この場合には保証の対象外となり、生じた不具合について、弊社は一切責任を負いかねます。
- 不凍液は、直接肌に触れないようにしてください。
万一、皮膚や衣服に触れてしまった場合は、石けんを使って、すぐに流水で洗い落としてください。
- 万一、不凍液が目に入った場合は、大量の流水で洗い、医師の診断を受けてください。
- 不凍液をご使用の前に、必ず安全データシート（SDS）をお読みください。
- 誤って不凍液を飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ、医師の診断を受けてください。
- 静電気・衝撃火花による着火源が生じないように注意してください。
- 高温の不凍液混合水に触れた場合は、直ちに石けんや水で洗い落とし、氷水で十分冷やしてから、医師の診断を受けてください。
- 不要となった不凍液は以下の方法で処分してください。
(1) おがくず、ウエスなどに吸着させて、焼却炉で焼却する
(2) 免許を持った産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託する



- 不凍液を取り扱う場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



⚠ 注意



- 不凍液は冷暗所で保管してください。また、子供の手の届かない場所に保管してください。

● 分解・改造はしない

⚠ 警告



- 本機やインクボトルの分解・改造は、絶対に行わないでください。感電や故障の原因になります。

● メディアの取り扱い

⚠ 警告



- 夜帰宅する際は、メディアをセットしたままにしないでください。メディアの上にホコリが付着する原因になります。

⚠ 注意



- 安定した高画質でプリントするために、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- メディアの伸縮にご注意ください。包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で30分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。メディアづまりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼします。また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。コーティングした定型サイズ紙をまとめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。
- メディアはホコリがつかないように保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になってしまいます。

● メンテナンスについて

⚠ 警告



- メンテナンス時には感電を防ぐために、必ず主電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いてください。また装置によっては、コンデンサーの電荷放電時間に1分間必要な場合があります。主電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いた後は、必ず3分後に作業するようにしてください。



- 高温注意銘板が貼ってある部分およびその付近は、絶対に触らないでください。触るとやけどのおそれがあります。万一、高温部に触る時は、断熱性のある手袋を着用して手の皮膚を保護してください。



- ヘッドやワイパー、キャップなどを清掃する際は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



- 水のかかる場所での使用は、漏電の可能性が非常に高くなります。水のかかる場所での使用は避けてください。万一、漏電が発生すると、作業員の感電や火災に発展する場合があります。

⚠ 注意



- 長年の使用により装置導電部や絶縁部にゴミやホコリがたまり漏電する場合があります。定期的に清掃をしてください。
- 圧縮空気の吹き付けは行わないでください。ゴミやホコリが飛散し、導電部に侵入して動作不良を起こすおそれがあります。必ず掃除機を使用して、ゴミやホコリを吸い取ってください。
- 事故防止のため、定期点検、定期交換部品の交換などは必ず行ってください。
- 本機には定期的に交換する部品があります。保守契約をしていただくことをお勧めします。
- 長年の使用により安定器やその他使用部品にゴミやホコリがたまり、漏電や絶縁劣化による発火、発煙のおそれがあります。定期的な清掃、絶縁抵抗測定による劣化部品の交換をしてください。
- 長年の使用により導電部のネジなどが緩むことで、発火、発煙のおそれがあります。定期的な増し締めを行ってください。

設置上の注意

本機を設置する場合は、以下にご注意ください。

⚠ 警告



- 本機は、専用の個室に設置する、囲みを設けるなど物理的な方法により確実に隔離できる場所に設置し、プリンタおよびインク供給ユニットに容易に手が届かないよう、隔離エリアを設定してください。
- 隔離エリアには、弊社が実施する安全教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方のみとし、安全教育受講者以外は立ち入り禁止としてください。
本機が動作中に教育を受けていない方が隔離エリア内に入ると、プリント中のYバーに当たるなどケガなどをする危険性があります。
- 本機を使用するオペレーターは、弊社が実施する安全教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方のみとしてください。

⚠ 注意



次の環境下でお使いください。

- 動作可能環境：15 ～ 30 °C (59～ 86°F) 35 ～ 65% Rh (結露なきこと)
- 精度保証温度：20 ～ 25 °C (68～ 77°F)



次の環境下では使用しないでください。

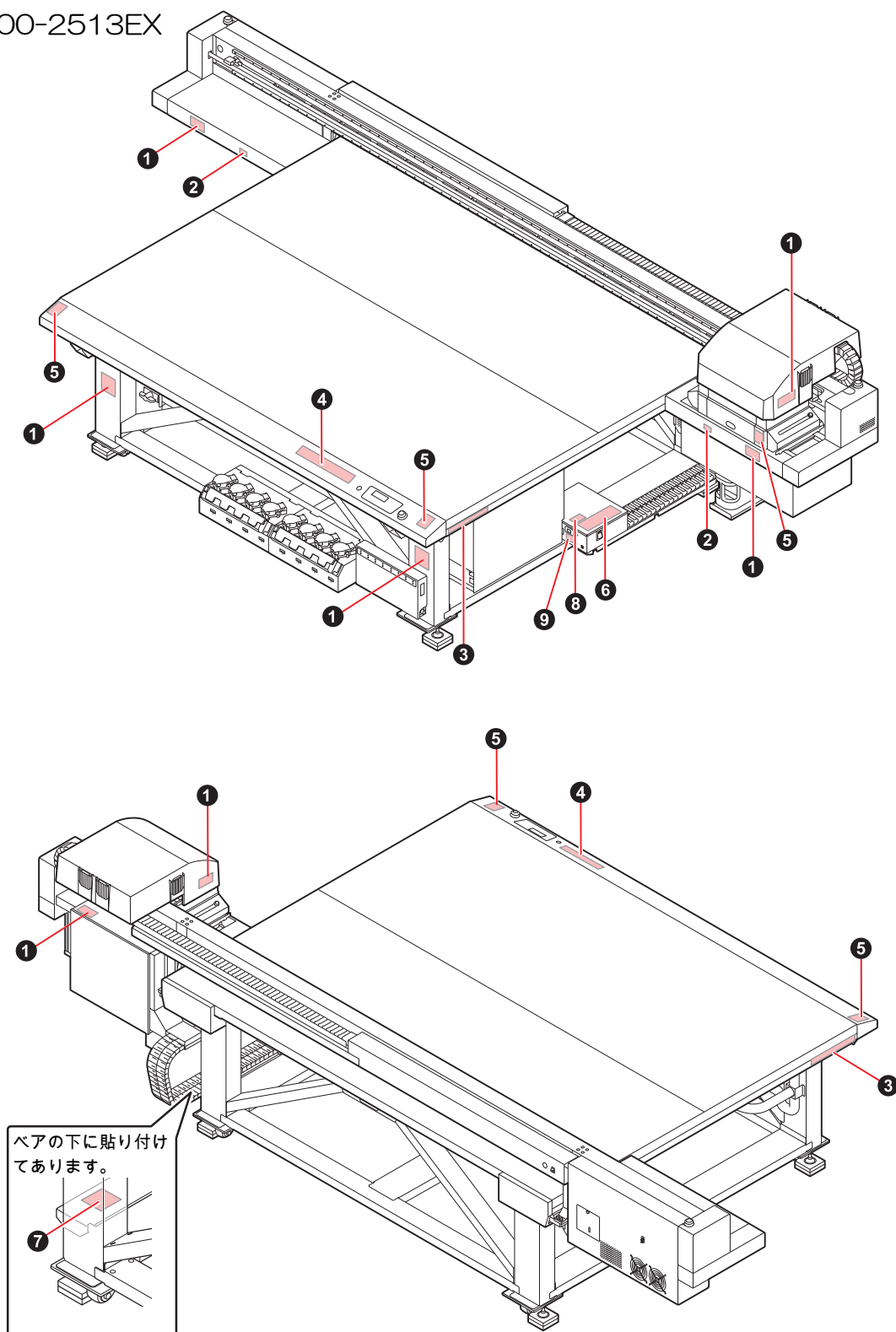
- 直射日光が当たる場所
- 水平でない場所
(機械が水平でないと画質不良の原因になる場合があります)
- 振動が発生する場所
- エアコンなどの風が直接当たる場所
- 火を使う場所
- 埃が多い場所
- 周囲に化学薬品がある場所

警告ラベルについて

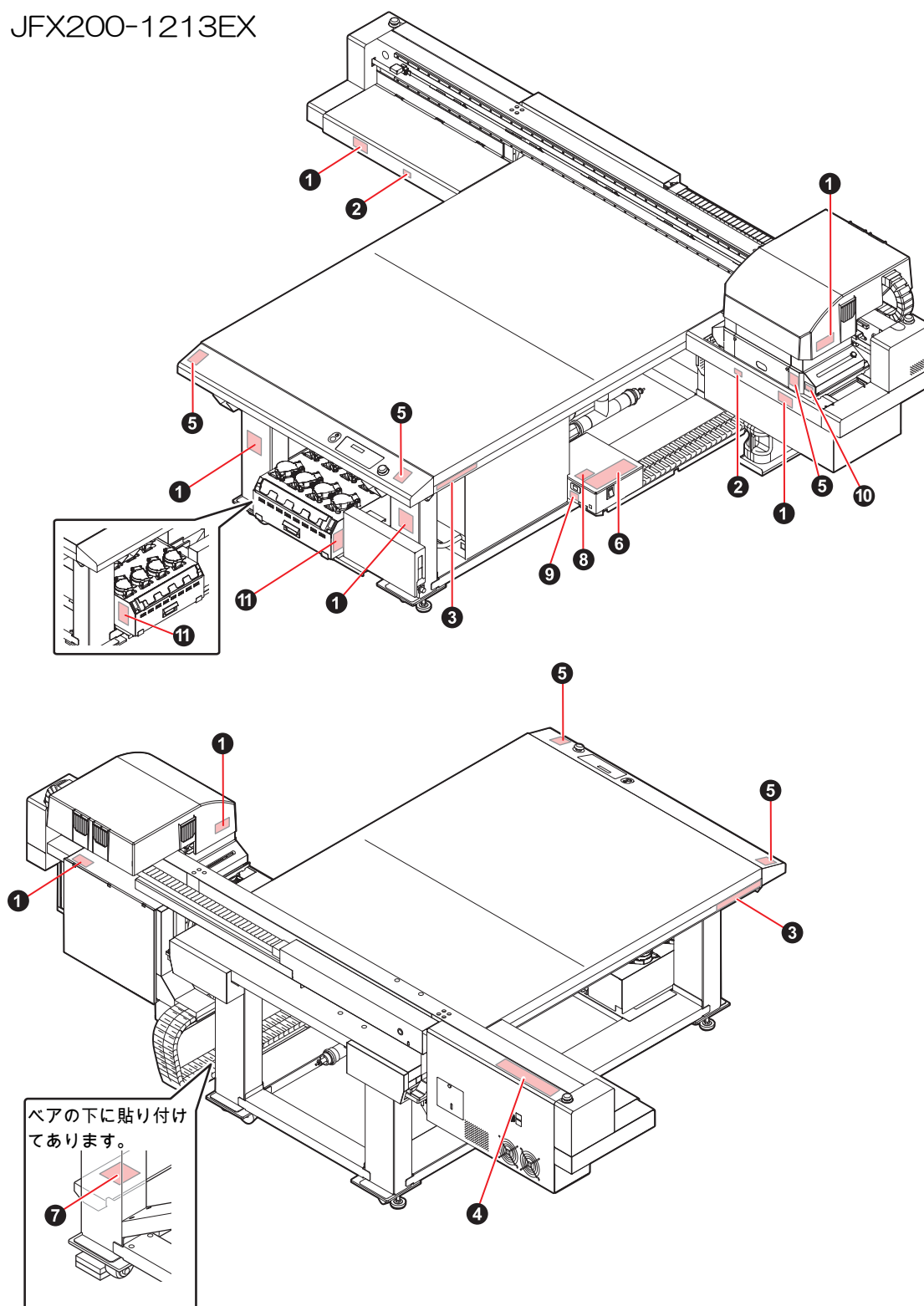
本機には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。

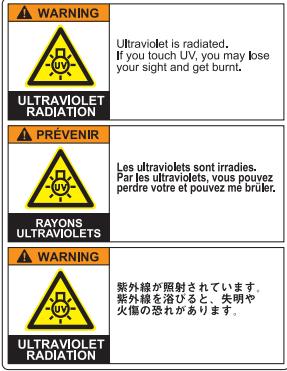
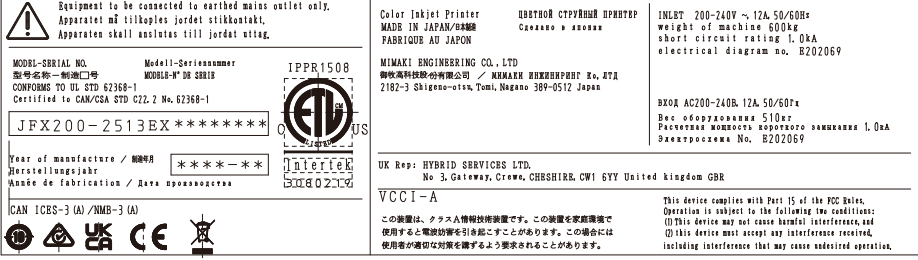
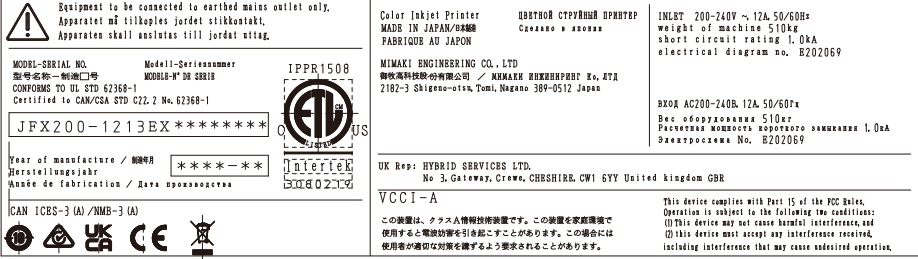
なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれたりした場合は、販売店または弊社営業所で新しい警告ラベルをお買い求めください。

JFX200-2513EX



JFX200-1213EX



No.	注文番号	ラベル
1	M909381	
2	M903330	
3	M906115	
4	M902663	
5	M905980	
6	M916117 (JFX200-2513EX)	
	M919315 (JFX200-1213EX)	
7	M909385	

No.	注文番号	ラベル
8	M903281	See SET UP GUIDE before connecting to the supply. 電源を接続する前に、必ず セットアップガイドを読むこと。 在接通电源之前请一定阅读安装说明书。
9	M907935	
10	M919473 (JFX200-1213EXのみ)	RISK GROUP 2 ・CAUTION UV emitted from this product. ・Eye or skin irritation may result from exposure. Use appropriate shielding. GROUPE DE RISQUE 2 ・ATTENTION : UV émis par ce produit. ・L'exposition peut provoquer une irritation yeux ou de la peau. Use appropriate shielding.
11	M907764 (JFX200-1213EXのみ)	注意 ⚠ CAUTION ATTENTION  上部に乗るな DO NOT STEP ON TOP NE GRIMPEZ PAS DESSUS

第1章 ご使用の前に



この章では...

本機の各部の名称や設置方法など、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明します。

使用上の制限について.....	20	ケーブルを接続する.....	31
使用上の制限.....	20	USBケーブルを接続する.....	31
使用者の制限.....	20	電源ケーブルを接続する.....	32
エリア制限.....	20	LANケーブルを接続する.....	33
本機の設置について.....	21	インクボトルについて.....	35
設置環境について.....	21	使用可能なインクの種類.....	35
設置場所について.....	21	インクボトルをセットする.....	35
本機の固定について.....	22	インクボトルを交換する.....	40
本機の移動.....	22	遮光カバーが外れてしまったときは.....	43
プリンタの操作時に回避すべき行為.....	23	インクボトルランプについて.....	43
各部の名称とはたらきについて.....	27	インクの使用制限について.....	44
装置前面.....	27	インクエンド、インクニアエンドについて.....	44
装置背面/側面.....	27	インクボトルの保管について.....	44
操作パネル.....	28	インクボトル取り扱い上のご注意.....	45
キャリッジ.....	29	メディアについて.....	46
キャッピングステーション.....	29	使用可能メディアサイズ.....	46
停止スイッチ.....	30	メディアの保管について.....	46
		メディア取り扱い上の注意.....	46
		作業環境などに関するご注意.....	47

1.1 使用上の制限について

使用上の制限

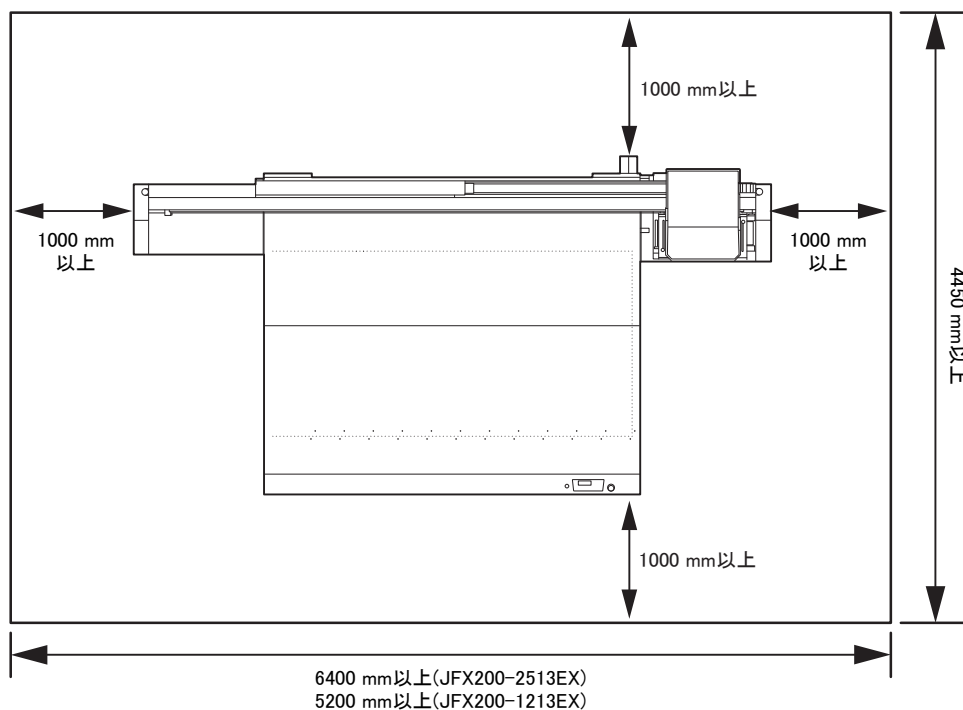
本機は高速可動部、高温部およびUV照射部を有し非常に危険です。本機の使用は、それらの危険性を十分理解した使用者に限られます。

使用者の制限

本機を使用するオペレーターは、弊社が実施する安全教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方のみとしてください。

エリア制限

- 適切な訓練を受けた使用者以外の者が装置に近づくことを禁止します。下図に示す範囲でエリア制限を設けてください。エリア制限の方法は、本機を専用の個室に設置する、囲みを設けるなど、危険なエリアであることを認識させる必要があります。
- 危険エリアには、弊社が実施する安全教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方のみとし、安全教育受講者以外は立ち入り禁止としてください。本機が動作中に教育を受けていない方が隔離エリア内に入ると、プリント中のYバーに当たるなどケガなどをする危険性があります。
- 安全棚にてエリア制限を行う場合は、EN ISO13857規格にて従う安全棚を設けてください。
- 専用の部屋に設置する場合は、部屋の扉への鍵やインターロックを設け、最終的に設置現場にてリスクアセスメントを実施の上、ご使用ください。



1.2 本機の設置について

設置環境について

- ・ 粉塵のある場所では使用しないでください。プリンター本体の不具合、印刷不良の原因になります。
- ・ 本機は安定したプリントを行うために、+15℃～+30℃（59°F～86°F）、35～65% Rh の環境でご使用ください。

設置場所について

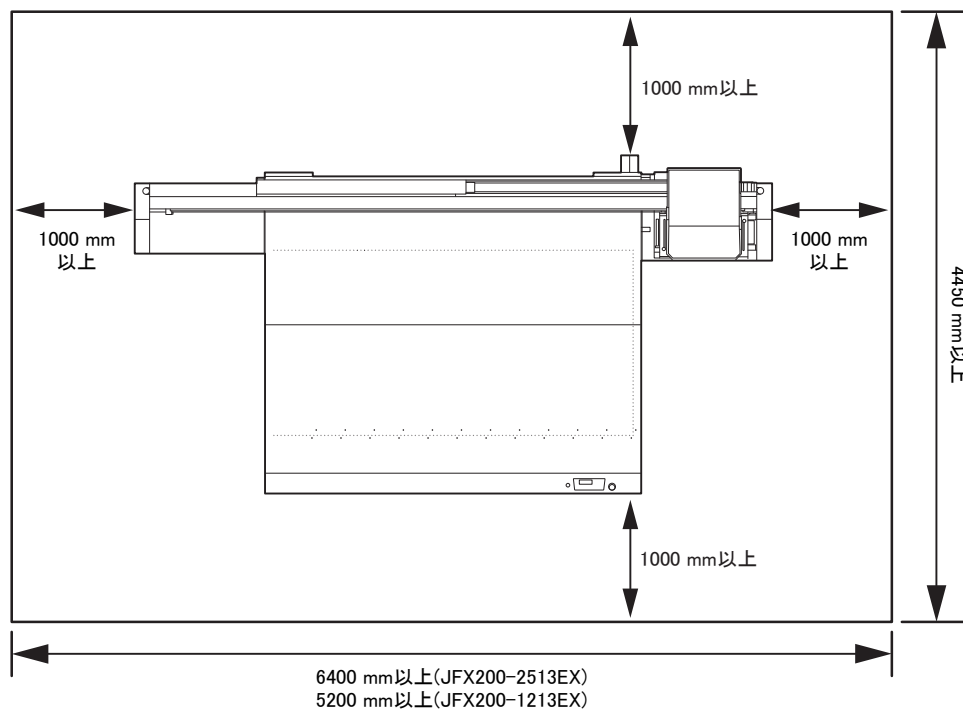
本機を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。

本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮して設置します。

機種	横幅	奥行き	高さ	全体重量
JFX200-2513EX	4400 mm	2450 mm	1250 mm	600 kg
JFX200-1213EX	3200 mm	2450 mm	1250 mm	510 kg

重要!

- ・ 本機はサービスエンジニアにより設置作業を行います。その際、サービスエンジニアによる本機の使用や設置に関するご連絡がありますので、その内容をよくご理解いただいた上で、安全に本機を使用してください。





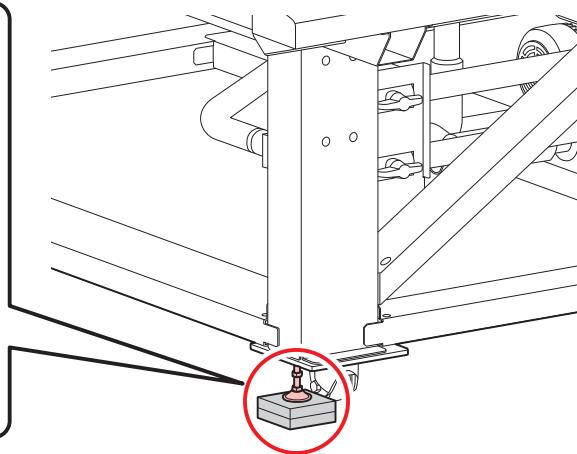
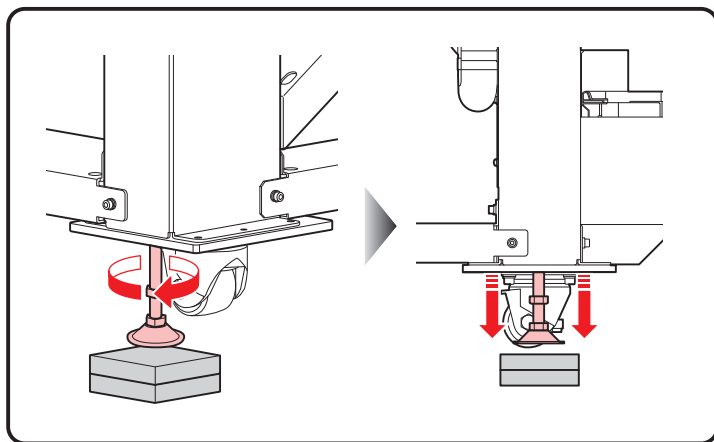
- お客様が通常、写真定着材を使用されている場合、写真定着材の蒸気が充満している部屋には本機を設置しないでください。写真定着材が充満した部屋に本機を設置すると、ヘッドに付着したインクが固まり、ヘッドクリーニングを何度も行っても改善しない画質不良や、ノズル詰まりの原因になります。
- 写真定着材の他にも、酸性蒸（酢酸や塩酸等）の発生している環境下に本機を放置しても同様の現象が発生します。
- 金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類）を含むものが充満した環境では、マシンを使用しないでください。また、そのような環境からインク、メンテナンスキット類、マシンを隔離してください。ノズル詰まりの原因になります。

本機の固定について

本機の脚には、本機を固定するためのレベルフットが付いています。

本機の電源を投入する前に、必ず、本機がレベルフットで固定されていることを確認してください。

レベルフットで固定されていない状態でプリントをすると、本機が動き出す場合があります。



- 付属の樹脂製（グレー）の床板をレベルフットと床の間に敷いてください。本機の重量を支えるために、床板の使用をお勧めします。

本機の移動



- 本機の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。お客様が本機の移設を行うと、故障や破損の原因になります。本機の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

1.3 プリンタの操作時に回避すべき行為

プリンタの操作時に以下のような行為を行うと、ケガなどをする危険性があります。

● キャリッジ周辺に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



- ・ キャリッジとYバーの隙間に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしないでください。



- ・ キャリッジとテーブルまたはステーションの隙間に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしないでください。



● Yバーとテーブルの隙間に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



- ・ Yバーとテーブルの隙間に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしないでください。



● 可動部に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



- ・ Yバーのベルトに顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしないでください。



● ベア部に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたり、物を置かない



- ・ Yバーやテーブル下のベア部に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたり、物を置かないでください。



● テーブルの下に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



- ・ テーブルの下に潜り込んだり、顔や手など体の一部を入れたりしないでください。

● テーブルに手や物を置かない



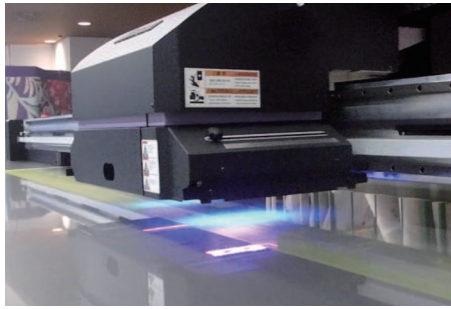
- ・ テーブルに顔や手など体の一部、またはメディア（厚さ50mm未満）以外の物を置かないでください。



● UV-LEDを直視しない



- UV-LEDを直視しないでください。椅子などに座って作業しているときは、キャリッジと頭の位置が同じ高さになっているので特に注意してください。また、LED UVユニットおよびその近辺は高温になっており、火傷の危険があります。手を触れないようにご注意ください。



● キャリッジの動作を妨げない

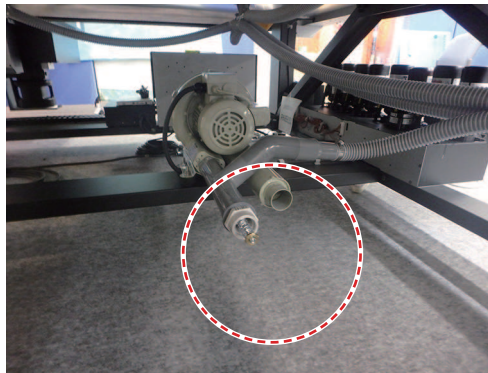


- キャリッジが動作中（プリントやクリーニングなど）は、無理矢理キャリッジを動かさないでください。

● 吸着バキュームの排気口前に物を置かない



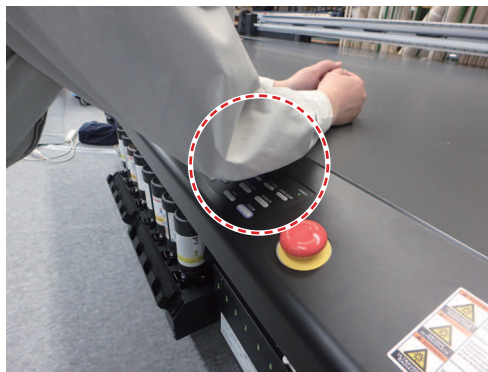
- 排気口から排出される熱により、変形する恐れがあります。



● 操作パネルのボタンを、誤って押さないように注意する



- 誤って押した場合、急な動作により思わぬ事故につながります。



● 本機を使用するときは、保護メガネを着用する

UV光の漏れによる目の障害を防止するため、本機をご使用になるときは、保護メガネの着用をお勧めします。

- **インク交換をするときは、以下のことに注意する**

- インクのはねによる手や目に付着することを防止するため、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。
- インクカバーを引っ張りすぎないでください。チューブやケーブルが傷つきます。
- インクボトルを交換するときは、ウエス等で周囲を養生してから行ってください。フロート部からのインク垂れにより周囲が汚れてしまいます。

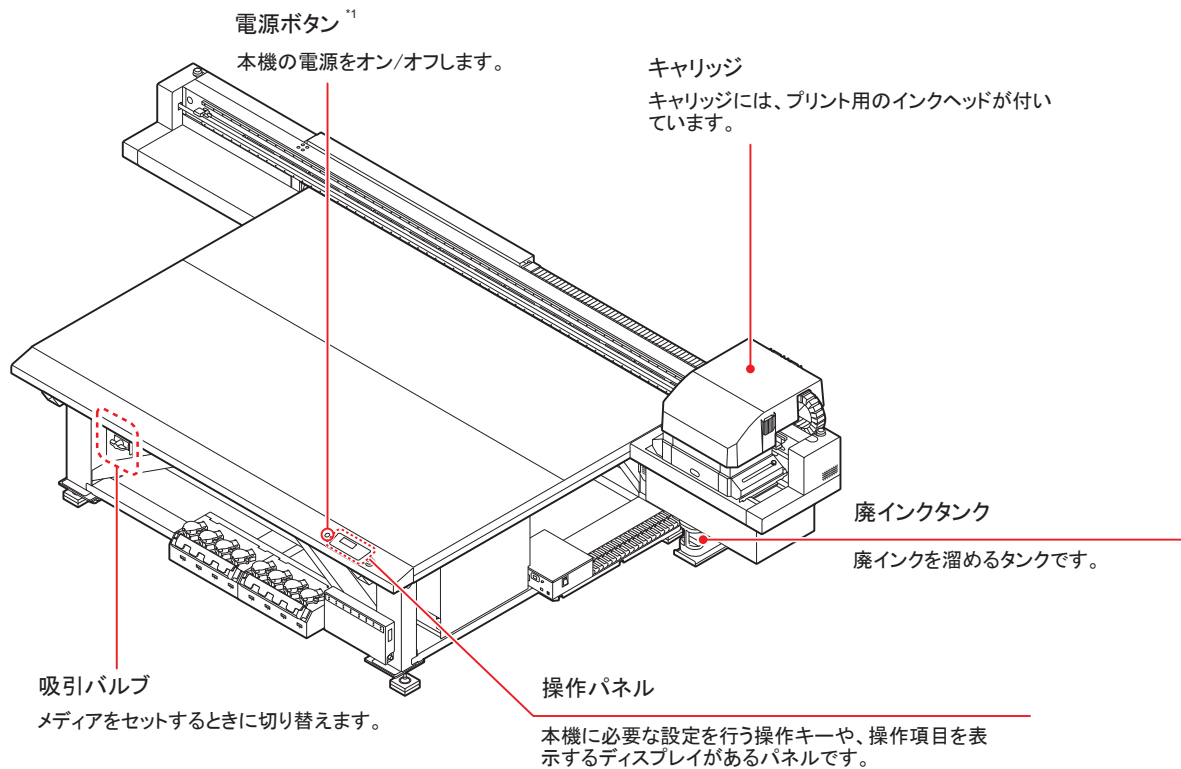
- **メンテナンスを行うときは、保護メガネと手袋を着用する**

インク交換など本機のメンテナンスを行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。また、必要によってはガスマスクを着用してください。

1.4 各部の名称とはたらきについて

装置前面

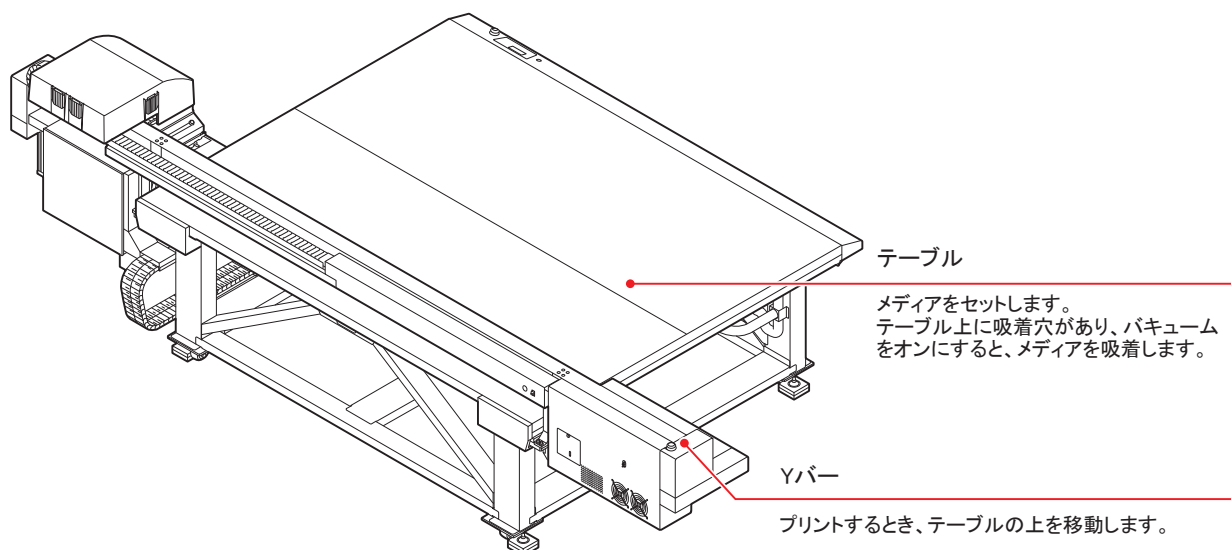
イラスト: JFX200-2513EX



*1. 電源ボタンをオンにすると緑色に点灯し、オフにすると消灯します。電源ボタンをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。（オートメンテナンス機能）

装置背面/側面

イラスト: JFX200-2513EX



操作パネル

操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。

[VACUUM]キー
メディアをテーブルに吸着させるときに押します。

[ADJUST]キー
ドットイテ補正などの調整機能を実行します。

[UP]キー
キャリッジを上げるときに押します。

[MAINT.]キー
ステーションメンテナンスなどのメンテナンス機能を実行します。

[DOWN]キー
キャリッジを下げるときに押します。

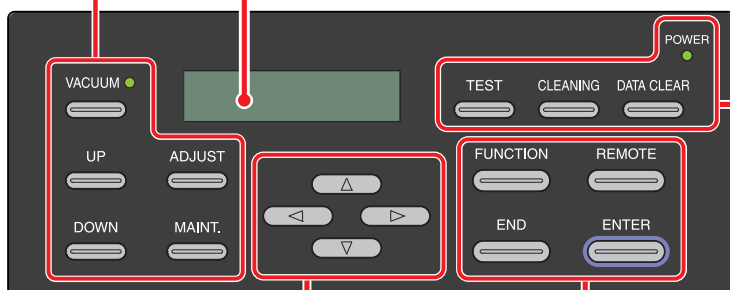
POWERランプ
電源が入っているときに点灯します。

[TEST]キー
インク詰まりなどのプリント不良がないか確認するためにテストパターンをプリントします。

[CLEANING]キー
インク詰まりを起こしている場合にヘッドクリーニングを実行します。

[DATA CLEAR]キー
本機が受信したデータを消去します。

ディスプレイ
本機の状態、設定項目、エラーなどを表示します。



ジョグキー ◀ ▶ ▲ ▼
ローカルモードでのヘッドやYバーの移動、プリント条件の項目選択に使用します。

[FUNCTION]キー
各種機能を使うときに押します。

[REMOTE]キー
[リモート]と[ローカル]を切り替えます。

[END]キー
設定が終わるときまたはキャンセルするときに押します。

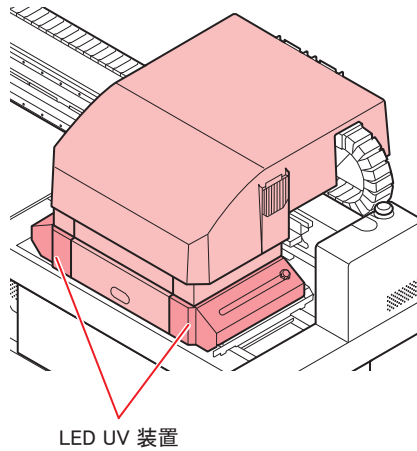
[ENTER]キー
設定を確定するときに押します。

キャリッジ

キャリッジには、プリント用のインクヘッドとLED UV装置が付いています。



- 点灯中のLED UVから出る光を直接肉眼で見ないでください。
- 点灯中や消灯直後はLED UV装置に触らないでください。熱くなっているため大変危険です。



LED UV 装置

キャッピングステーション



- キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。目にインクが入る危険があります。



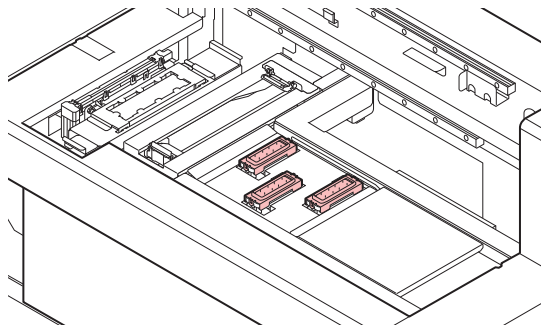
キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパーなどで構成されています。

インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。

ワイパーは、ヘッドクリーニングに使用します。

ワイパーは、消耗品です。ワイパーが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパーに交換してください。

 「ワイパーを交換する」 (P. 152)



停止スイッチ

安全上の理由で、本機を停止したいときに押します。

停止スイッチは、本機前面に1箇所、Yバーの左端と右端に1箇所ずつあります。

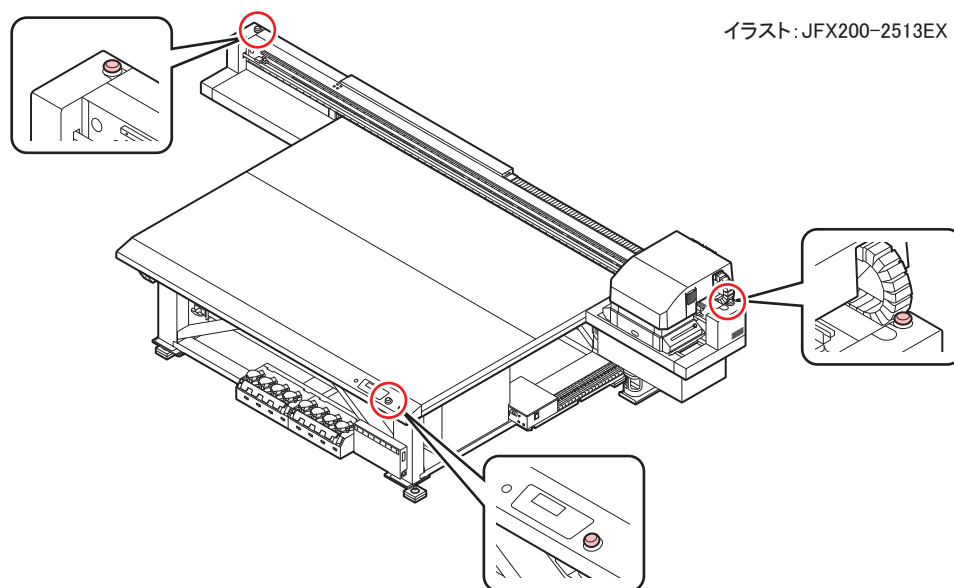


イラスト: JFX200-2513EX

停止スイッチを押して停止をした場合は、以下の手順で解除してください。

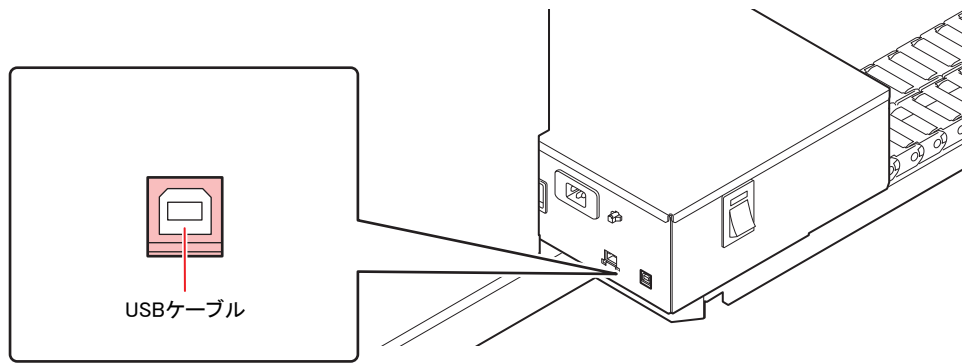
- (1) 異常原因を取り除く。
- (2) 安全確認後、停止スイッチを引っ張り上げて（または回転させて）解除する。
- (3) [ENTER]キーを押す。

1.5 ケーブルを接続する

USBケーブルを接続する

コンピュータと本機をUSB2.0インターフェイスケーブルで接続します。

- 重要!**
- ご使用のRIP がUSB2.0 インターフェイスに対応している必要があります。
 - USB2.0 インターフェイスがコンピュータに付いていない場合は、お近くのRIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。



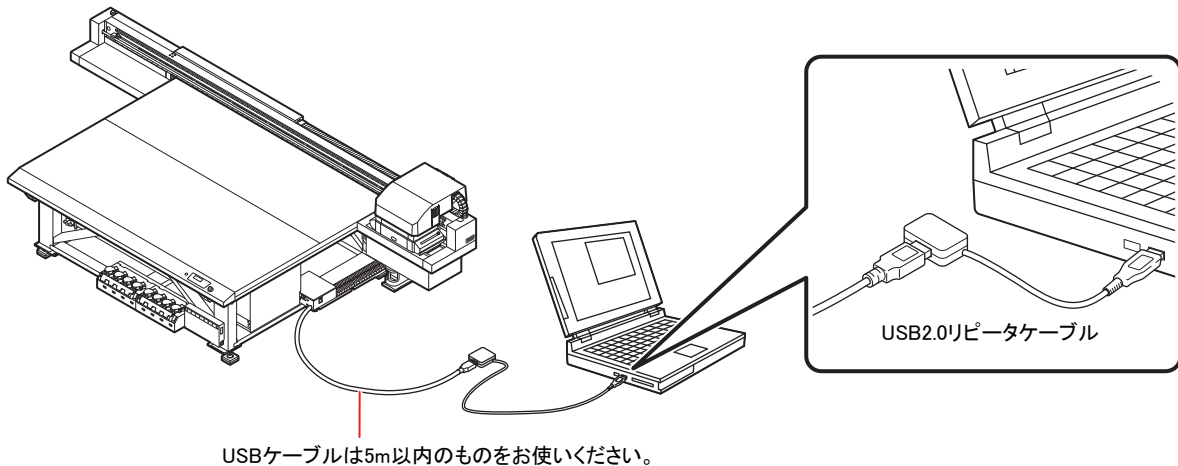
USB2.0インターフェイスについての注意事項

- 重要!**
- ご使用の RIP が、USB 2.0 に対応している必要があります。

● 1 台のパソコンに複数の本機を接続する場合

1 台のパソコンに 本機 を複数台接続する場合、正常に認識できない場合があります。

複数の USB ポートが付いているパソコンの場合は、他の USBポートに接続して 本機 を認識できるか確認してください。USBポートを変えても 本機 を認識しない場合は、市販の USB2.0リピータケーブルを使用してください。（ただし、本機からパソコンまでの距離が20m以下になるようにしてください。）



● USB ハイスピードモードの周辺機器について

本機 と USBハイスピードモードで動作する周辺機器（USBメモリ、USB-HDDなど）を併用した場合、USB機器が認識できない場合があります。

外付けの USBのハードディスクドライブなどを接続したパソコンに 本機 を接続した場合、本機 へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、プリント中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

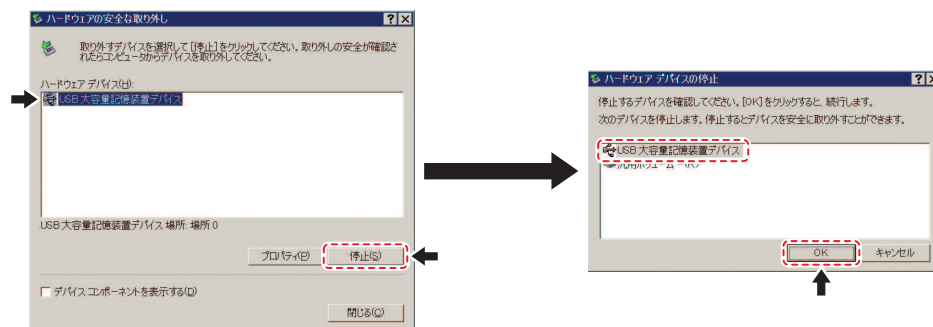
USBケーブルは5m以内としてください。5m以上必要な場合は、市販のUSB2.0リピータケーブルを使用してください。

● USBメモリの抜きかた

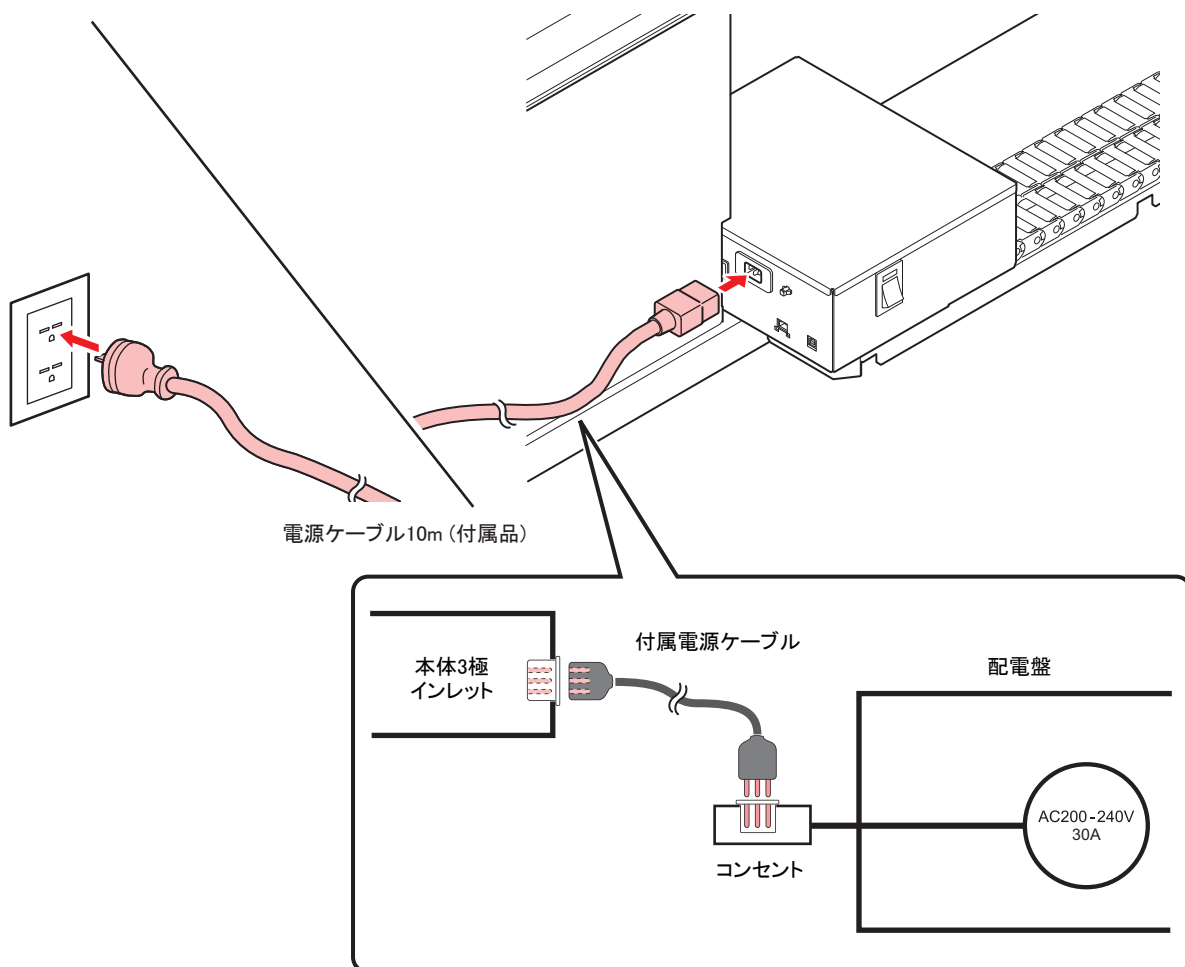
本機を接続しているパソコンにUSBメモリを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。

[ERROR 201 COMMAND] エラーの発生原因になります。

スプールデータをハードディスクにコピーした後、プリント出力してください。



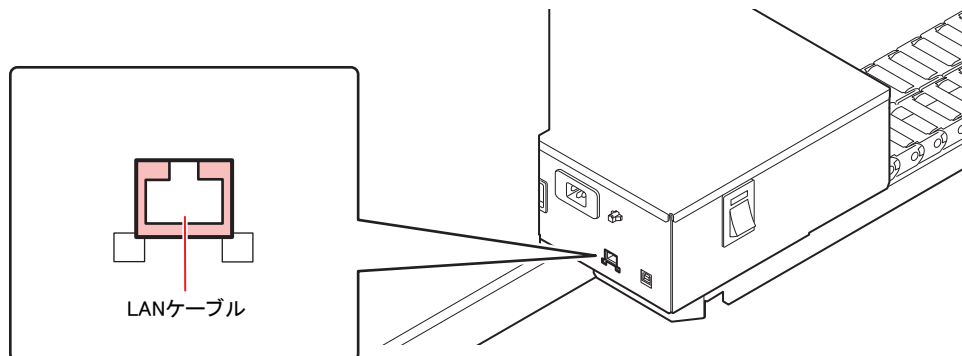
電源ケーブルを接続する



LANケーブルを接続する

LANケーブルを接続するときは、以下の注意事項を厳守してください。

- 重要!**
- カチッと音が出るまで確実に差し込んでください。
 - データ転送中は、ケーブルの抜き差しをしないでください。



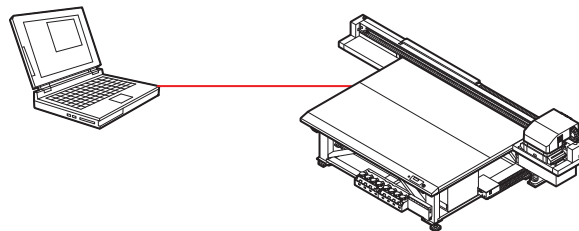
ネットワーク経由で印刷を行う場合

ネットワーク経由で印刷を行う場合、下記の環境でネットワークを構築する必要があります。
不適切な環境で構築を行うと、印刷が停止する原因となります。

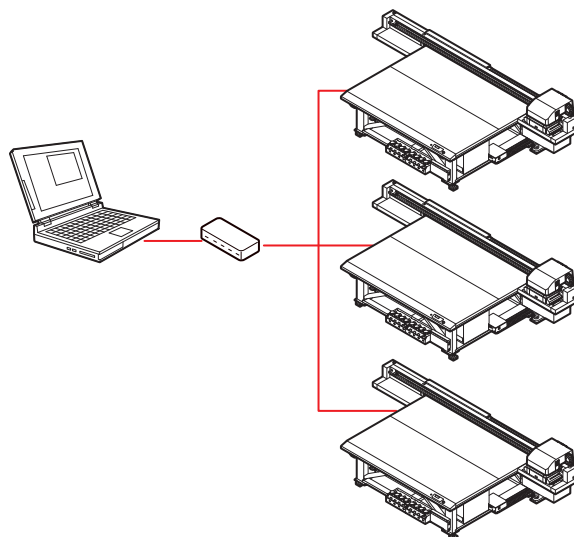
- カテゴリー6または、カテゴリー6AのLANケーブルを使用する。
- 1000BASE-T 対応のPC、スイッチングハブを使用する。

- 重要!**
- 印刷データを送信するPCとプリンタは同じネットワークとなるようにしてください。
 - ルータを経由した接続はできません。

● プリンタと直接接続する場合



● スイッチングハブを経由して接続する場合



プリンタに接続したPC、機器が1000BASE-T以外の場合、印刷できません。接続後、以下を確認してください。

1. プリンタの画面表示を確認する。
 - ローカル画面、メディア検出画面から[ENTER] キーを数回押し、情報画面を表示する。
 - LANステータスの項目に「1000Mbps」と表示されていることを確認する。

1.6 インクボトルについて

使用可能なインクの種類

本機で利用できるインクは、以下となります。

4色+ 白+ クリアモデル (LUS-150、LH-100、ELH-100、 LUS-120、LUS-350、LUS-211)	シアン・マゼンタ・イエロー・ブラックを各1本ずつ、クリア・ ホワイトを各2本ずつ使用
4色+ 白+ クリア+ プライマーモデル (LUS-150、LH-100、ELH-100、 LUS-120)	シアン・マゼンタ・イエロー・ブラック・クリア・プライマーを各 1本ずつ、ホワイトを2本使用
4色+ 白モデル (LUS-150、LH-100、ELH-100、 LUS-120、LUS-350)	シアン・マゼンタ・イエロー・ブラックを各1本ずつ、ホワイト を4本使用 (本インクセットを使用する場合は、OPT-J499が必要になりま す。)
6色+ 白モデル+クリア (LUS-150、LH-100、ELH-100)	シアン・マゼンタ・イエロー・ブラック・ライトシアン・ライトマ ゼンタを各1本ずつ、ホワイトを2本使用

使用するインクタイプによって、使用可能なクリアインクが異なります。

インクタイプ	クリアインクのインクタイプ
LUS-150, LH-100, ELH-100	LH-100, ELH-100
LUS-120	LUS-120
LUS-350	LUS-350
LUS-211	LUS-211 *

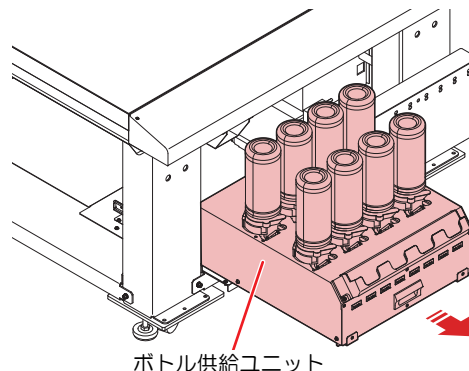
上記の組み合わせ以外は使用できませんので、ご注意ください。

*LUS211はFWバージョン2.7以降で使用可能です。

インクボトルをセットする



- JFX200-1213EXの場合、事前にテーブルの下からボトル供給ユニットを手前にスライドさせてください。インクボトルの取り外し、またはセットの際に、作業しやすくなります。



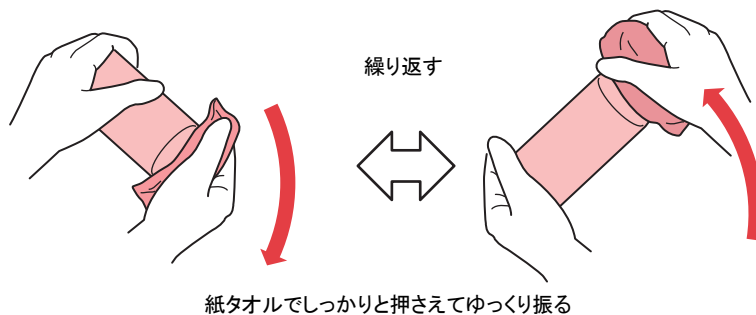
1 インクボトルを取り出し、20回以上ゆっくりと左右に振る。



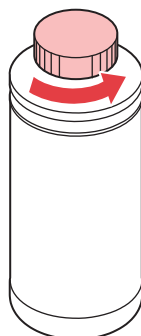
- 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、手袋を着用して紙タオルなどでインクボトルのフタをしめた状態で、ゆっくりとインクを流すように左右に20回以上振ります。

重要!

- ・フタがしっかりと閉まっていることを確認してから振ってください。
- ・強く振りすぎるとインク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- ・インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、インクボトルが縦になるまで傾けてください。



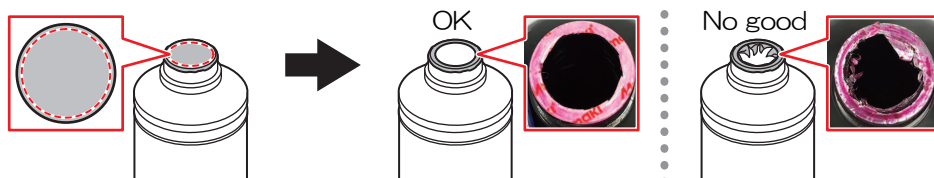
2 インクボトルのフタを外す。



重要!

インクボトルの口元にシールが付いている場合

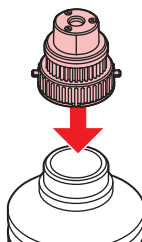
- ・カッターなどを使って、シールを丸く切り取ってください。切り残しがあると、インクが漏れる原因になります。

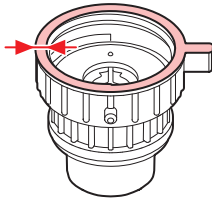
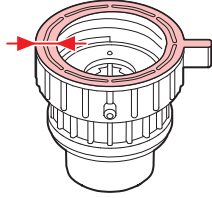
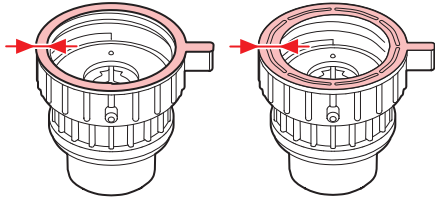


- ・インクボトルの口元を傷付けないでください。傷が付いた部分から、インクが漏れるおそれがあります。
- ・シールの破片をインクボトル内に落とさないように注意してください。シールの破片がボトル内に入ったまま使用すると、ボトルキャップに詰まってインクが供給できなくなるおそれがあります。

3 専用キャップをインクボトルにセットする。

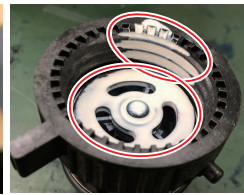
- ・セットするインクの種類によって、使用する専用キャップが異なります。



インクタイプ	キャップタイプ
• LUS-150インク	【キャップA】 
• プライマーインク • LUS-120インク • LH-100インク • ELH-100インク • LUS-350インク • LUS-211インク	【キャップB】 
• LUS-150インク • LH-100インク • ELH-100インク • プライマーインク	【キャップC】 

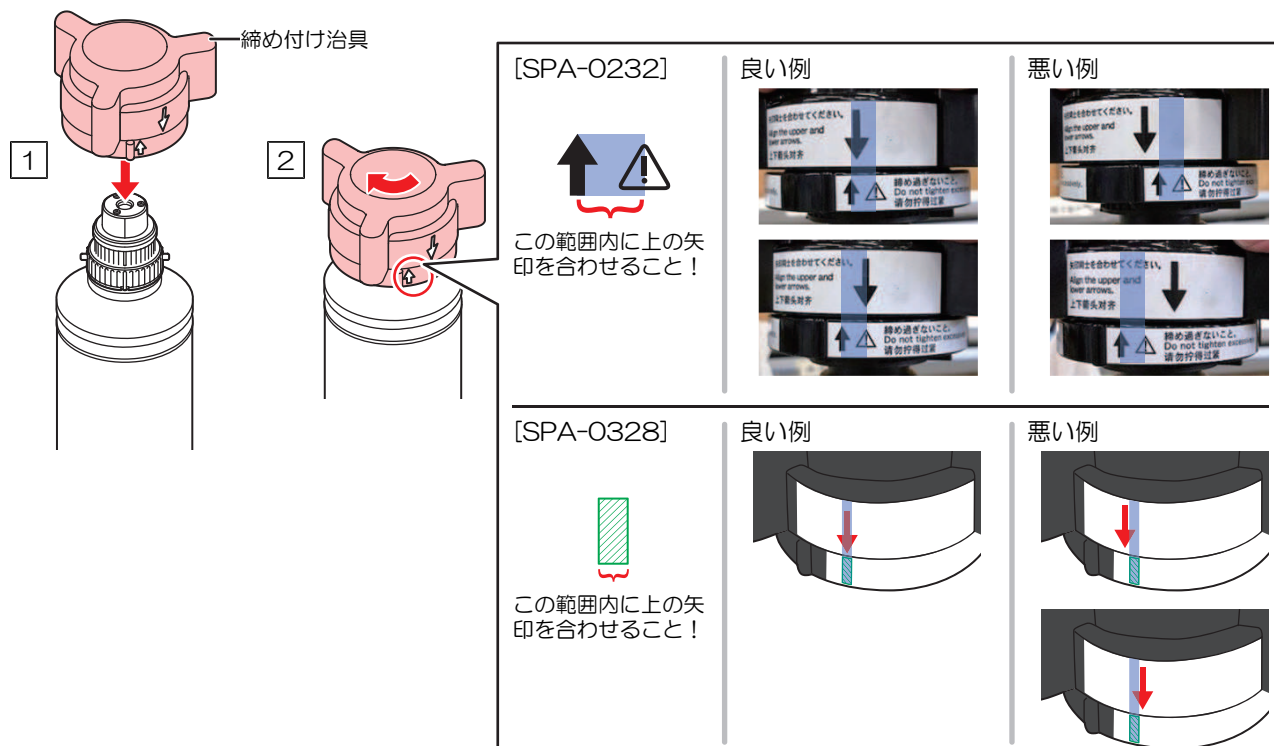


- インクボトルやボトルキャップにインクやメンテナンス液が付着しているときは、インクを拭き取ってください。ボトルキャップが空回りしてインクが漏れる原因になります。



- ボトルキャップに紙タオルの欠片やホコリなどの異物が付着していないかどうかを確認してください。異物が付いたまま使い続けると、インク経路に異物が詰まってインクが漏れる原因になります。

4 締め付け治具を使って、専用キャップを締める。



- ボトルキャップを締めすぎないでください。破損したり、空回りしたり、インクが漏れたりするおそれがあります。上記の範囲を超えた場合は、一度ボトルキャップを緩めてから、やり直してください。
- ボトルキャップを取り付けたまま、インクボトルを長時間放置しないでください。インクが硬化してしまう原因になります。

5 ボトルを逆さにして、インクが漏れないか確認する。



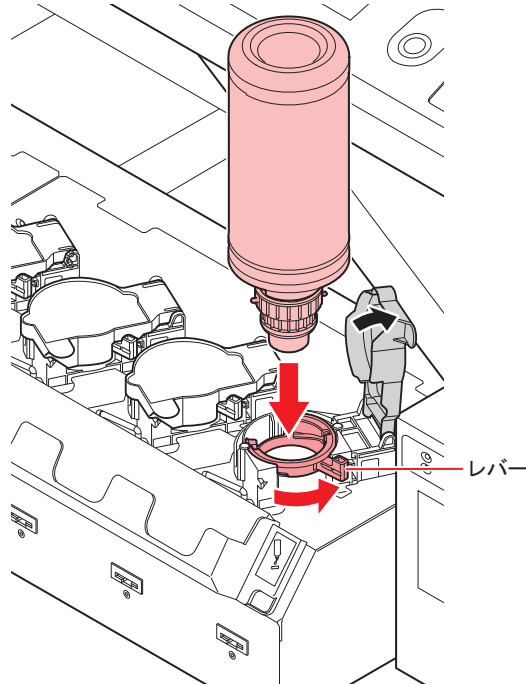
重要！

- インクボトルに専用キャップを取り付けたままで、光の当たる場所に長時間放置しないでください。ボトル内のインクが硬化する可能性があります。

6 タンクにインクボトルをセットする。

- タンク部のレバーを右端まで確実に回してから、インクボトルをセットしてください。

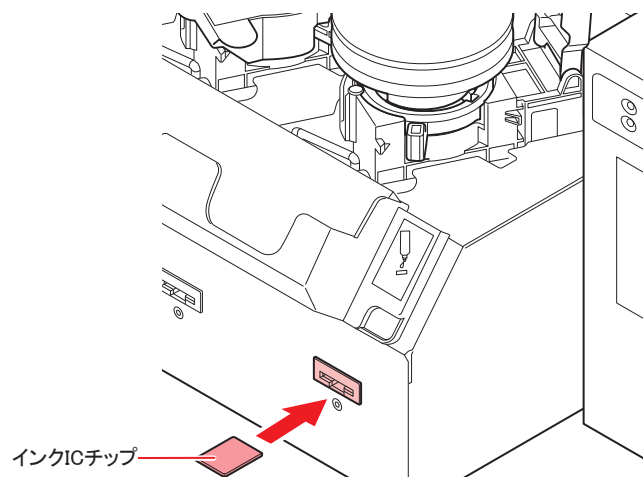
- 重要!** ・ インクボトルをタンクにセットしたら、絶対にインクボトルを回さないでください。インク漏れの原因になります。



7 タンク部のレバーを右から左へ回す。

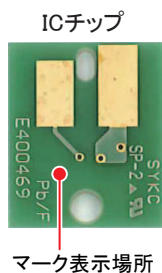
8 インクICチップを差し込む。

- ・ インクICチップは金属が付いている方を左にして差し込んでください。間違えて差し込むと、故障やインクICチップ 破損の原因となります。
- ・ インクICチップ の金属部分には触れないでください。静電気によるインクICチップ 破損や、汚れ・傷によるIC 読み取り不良の原因となります。
- ・ インクボトルのセット順は  「インクボトルのセット順」 (P. 186) を参照してください。



重要!

- ・ インクICチップには、インクカラーやインク残量・使用期限などの情報が書き込まれています。インクボトルをセットするときは、インクボトルと一緒に梱包されているインクICチップをインクカバーに付いているインクICチップ挿入口に差し込んでください。
- ・ インクボトルと対になっていないインクICチップをセットすると、画質不良などの原因となります。
- ・ インクICチップにはカラー情報を表すマークが貼られています。



インクカラー		使用するキャップ
ブラック	●	黒丸が1つ
シアン	●	青丸が1つ
マゼンタ	●	赤丸が1つ
イエロー	●	黄丸が1つ
ライトシアン	●●	青丸が2つ
ライトマゼンタ	●●	赤丸が2つ
ホワイト	○	白丸が1つ
クリア	○○	白丸が2つ
プライマー	○○○	白丸が3つ

インクボトルを交換する

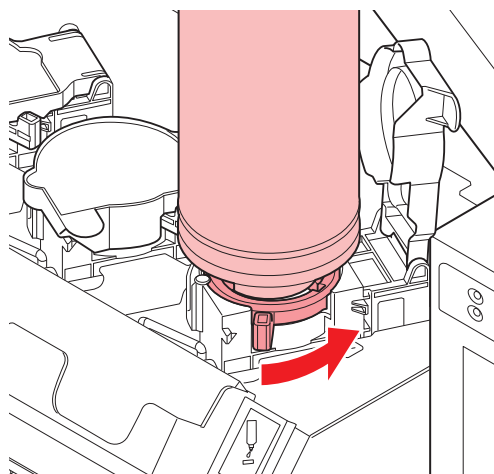
ディスプレイに[インク エンド]や[インク ニアエンド]などが表示されたときは、次のようにしてください。

[インク エンド]が表示されたとき

- 1 タンク部のレバーを左から右端まで回す。

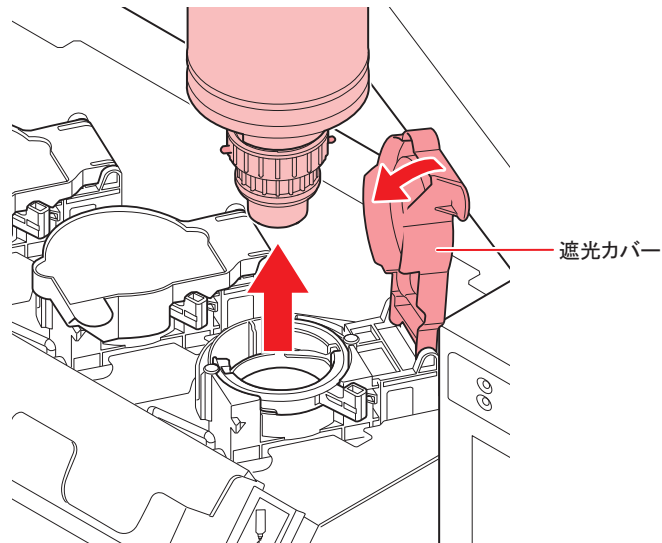
重要!

- ・ インクボトルは絶対に回さないでください。インク漏れの原因になります。

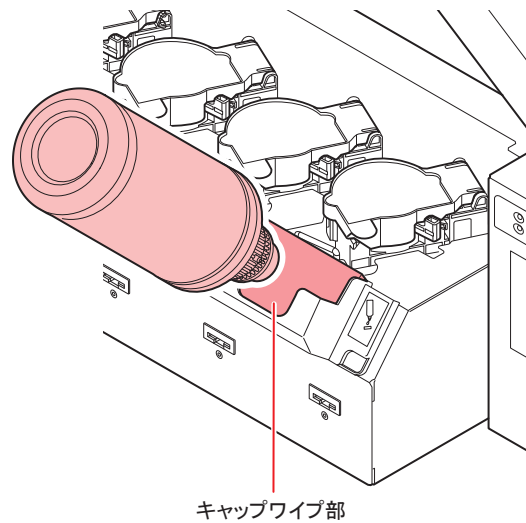


2 インクボトルを垂直に持ち上げる。

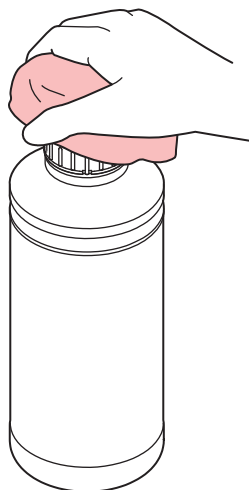
- 重要!**
- ・ インクボトルをタンクから外したとき、遮光カバーが閉まっていることを確認してください。
 - ・ フタが閉まっていない場合は、手で閉めてください。遮光カバーが開いていると、インクが硬化する原因になります。



3 拭き取りフィルタでキャップ下面に付着したインクを拭き取る。



- 4** キャップを上にしてボトルを置き、キャップに付着したインクをキムワイプなどで拭き取る。



- 5** 使用済みのインクボトルからキャップを取り外す。

- キャップが外しづらい場合は、締め付け治具を使って取り外してください。

- 6** 新しいインクボトルをセットする。

-  「インクボトルをセットする」 (P. 35)

重要! • インクボトルに専用キャップを取り付けたままで、光の当たる場所に長時間放置しないでください。ボトル内のインクが硬化する可能性があります。



- ボトルをセットする前に、キャップ部に異物が付着していないか確認してください。紙片やホコリ等が付着していると、経路つまりの原因になることがあります。
-

● **[インク ニアエンド]が表示されたとき**

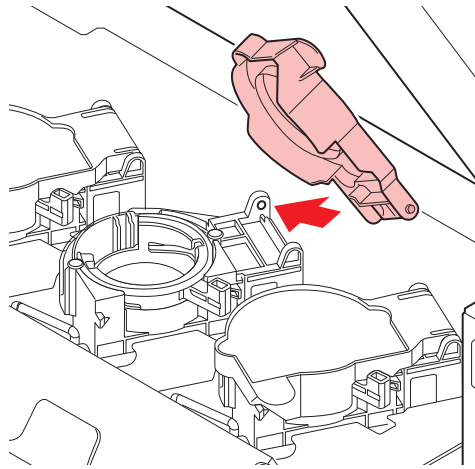
インク残量が少なくなっています。続けてプリントをすることはできますが、プリント中にインクがなくなる恐れがあります。早めにインクボトルの交換をすることをお勧めします。

ローカルで[ENTER]キーを押すと、交換対象ボトルをローカルガイドンスで確認できます。 「その他の情報を表示する」 (P. 112)

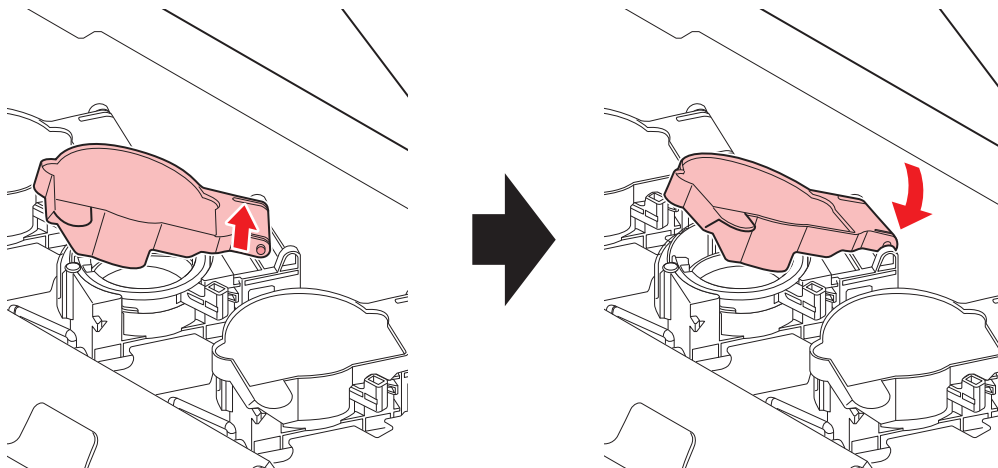
遮光カバーが外れてしまったときは

遮光カバーが外れると、タンク内部に光が当たり、インクが硬化する原因となります。
遮光カバーが外れたときは、次の手順で取り付けてください。

- 1 遮光カバーの突起（片方）をタンクの穴に差し込む。

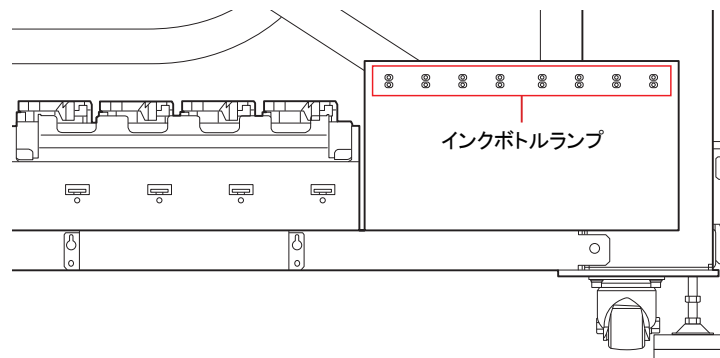


- 2 手順1で差し込んだ穴の方に押しながら、もう一方の突起を差し込む。



インクボトルランプについて

インクボトルの上にあるランプで、セット中のインクボトルの状態を確認することができます。



インクボトルランプの状態	説明
消灯	異常なし
赤色に点滅	インクボトルの残量が少ない（ニアエンド）、またはインク期限が切れて1ヶ月たっています。 まもなく使用できなくなります。
赤色に点灯	インク残量がない、または、その他のインクエラーでインクボトルが使用できません。 インクボトルに異常が発生したら
赤色に早い点滅	インク期限が切れてから2ヶ月たっているため、インクボトルが使用できません。
緑色に点灯	インクを供給していることを示します。 4色インクセットでお使いのとき、本機はインク期限の短いインクボトルからインク供給を行います。
赤色/緑色交互点滅	赤色点滅と緑色点灯の両方の状態が発生しています。

インクの使用制限について

インクボトルにインクの消費有効期限が記載されています。

インクの消費有効期限を超えると、インクの吐出不良や色みに変化を生じるおそれがあります。

消費有効期限を超えてもプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。

例）消費有効期限の記載が、2020年4月の場合

5月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。

6月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。

7月：新しいインクに交換してください。まもなくプリント不可になります。



- ・ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。

インクエンド、インクニアエンドについて

インクニアエンド（残量わずか）の場合、インクボトルランプが赤色に点滅してお知らせします。早めの交換をおすすめします。

インクエンド（残量なし）の場合、インクボトルランプが赤色に点灯してお知らせします。インクボトルを交換してください。

インクボトルの保管について

次の事項に注意して保管してください。

- ・直射日光があたらず、湿度の高くない場所に保管してください。
- ・インクボトルを落下させたりぶつけたりしないでください。
- ・インクICチップは、汚したり、静電気放電させないでください。

- ・ インクボトルとインクICチップは必ず一緒に保管してください。



インクボトルとインクICチップ

インクボトル取り扱い上のご注意



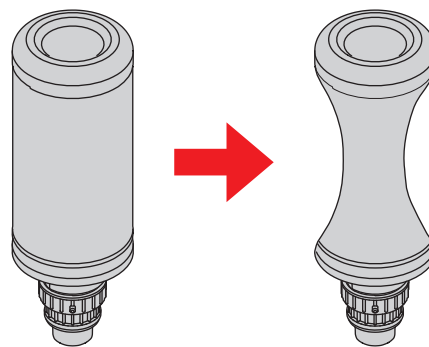
- ・ 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・ インクボトルは1m以下の場所で保管してください。1m以上の高所で保管していると、インクボトルが落下した際にキャップが外れ、中のインクが飛散する恐れがあります。
- ・ インクボトルは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・ 本機には専用のインクボトルをお使いください。本機は、専用のインクボトルを認識して動作します。インクボトル等の改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。
- ・ インクボトルを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- ・ インクボトルは冷暗所で保存してください。
- ・ 空になったインクボトルは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。
- ・ インクボトルは、開封してから3ヶ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。



- ・ インクボトルを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、ボトルからインクがもれることがあります。
- ・ インクボトルのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。
- ・ ICチップの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。

重要!

- ・ インクボトルを本機にセットしている状態でも、図のようにボトルがへこむ場合がありますが、本機の使用については問題ありません。



1.7 メディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

使用可能メディアサイズ

項目名	JFX200-2513EX	JFX200-1213EX
最大幅	2500mm	1270mm
最大長	1300mm	1300mm
最大プリント幅	2500mm	1270mm
厚さ	50mm以下	50mm以下
重量 ^{*1}	162kg以下	82kg以下

*1. 1m²あたり、50kg が目安です。

メディアの保管について

メディアは、ほこりが付きにくく直射日光が当たらない場所に保管してください。また湿度も嫌いますので高温多湿な場所での保管は避けてください。

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。

● メディアの伸縮

包装を開けて間もないシート状のメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。開封後、30分以上、使用する場所の外気にさらす必要があります。

● メディアの反り

板状メディアは、平らなもの、プリント面を上にして下に反っているもの（中央が浮いているもの）をご使用ください。上に反っているメディアは、テーブルに吸着できない場合があります。反りやすいメディアは、一回り小さめの台やパレットの上に置くなど、下反りになるように保管してください。また、吸着エリアからはみ出しているメディアについて、反りが無いようご注意ください。

● メディアの吸着

吸着効果を維持するために、メディアが覆えないテーブル上の吸着穴は、使用するメディアよりも薄いメディアで塞いでください。

● その他の注意点

- ・ コート紙の表面に物を置かないでください。コート紙によっては変色する場合があります。
- ・ 吸着しきれないカールしたメディアや、Yバー移動時にずれてしまうメディアは使用できません。テープ貼付などでメディアを固定してからご使用ください。
- ・ ロジカルシークの設定を“OFF”にしても、反りや変形が生じるメディアは使用しないでください。
- ・ 盤面は複数枚の板で構成されているため、メディアの厚みやコシによっては継ぎ目が印刷画像に反映されます。また、バキューム穴も同様に印刷画像に影響を与えることがあります。事前にテストプリントを行い、問題のないことを確認してから、印刷を行ってください。

1.8 作業環境などに関するご注意

印刷設定やメンテナンスを行う頻度については、印刷を行う作業環境や使用するメディアの条件などが大きく影響します。次の各項目を十分に理解して、本機をお使いください。

● ホコリやチリが多い環境の場合

- ・ ノズル面を清潔に保つため、約1500mm印刷毎に定期ワイピングを行うように設定してください。
☞ 「ノズル面の清掃頻度を設定する」 (P. 94)
- ・ ホコリなどの量により、定期ワイピングの設定を変更してください。

● メディアから繊維が飛び出しているなどの理由で、ヘッドギャップ値を大きく設定している場合

● ガラスや光沢金属など、UV光を反射しやすいメディアを使用している場合

- ・ 飛散ミストが多い状態でUV光がノズルに暴露する場合があります。作図中のリフレッシュレベルを上げて、定期ワイピングを設定してください。
☞ 「その他の設定」 (P. 95)
☞ 「ノズル面の清掃頻度を設定する」 (P. 94)
- ・ 各種メンテナンスを行う頻度を増やしてください。

● 使用率の低いインク（プリントヘッド）がある場合

- ・ 使用率の低いプリントヘッドは、他のプリントヘッドと比較してインクの吐出が不安定になる傾向があります。作図中のリフレッシュレベルを上げて、ヘッド使用率を一定以上にしてください。
☞ 「その他の設定」 (P. 95)

● 静電気が帯電しやすいメディアに印刷する場合

● 湿度の低い環境で印刷する場合（冬期など）

- ・ 加湿器を置くなどして、帯電対策を十分に行ってください。静電気によりミストやホコリが印刷エリアやヘッド周辺に集まりやすくなります。長時間の連続した印刷を行う場合は、定期ワイピングを設定してください。
☞ 「ノズル面の清掃頻度を設定する」 (P. 94)

● 凹凸の多いメディア（立体物）に印刷する場合

- ・ できる限りヘッドギャップが一定になるように、吸着エリア内の印刷するメディアをセットしている場所以外にも、不要のメディアなどをセットしてください。反射光によるヘッドの劣化を長期間放置すると、ヘッド交換を必要とする故障の原因となる場合があります。

第2章 基本的な使い方



この章では...

プリントするためのインク/メディアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

作業の流れ.....	50	テストプリントをする	61
電源を入れる/切る.....	51	作図不良の例	61
電源を入れる.....	51	ヘッドの配列とテストパターンの関係	62
電源を切る	51	テストプリントを行う	63
メディアをセットする.....	53	ヘッドクリーニング	65
メディアをセットする	53	データをプリントする	67
UV-LEDユニットの位置を移動する	56	プリントを開始する.....	67
UV-LEDユニットの位置.....	56	プリントを中断する.....	68
		受信したデータを消去する（データクリア）	68
		Yバーを移動させる.....	68

2.1 作業の流れ

1. 電源を入れる/切る

 「電源を入れる/切る」 (P. 51)

2. メディアをセットする

 「メディアをセットする」 (P. 53)

3. UV-LEDユニットの位置を移動する

 「UV-LEDユニットの位置を移動する」 (P. 56)

4. テストプリントをする

 「テストプリントをする」 (P. 61)

5. ヘッドクリーニング

 「ヘッドクリーニング」 (P. 65)

6. データをプリントする

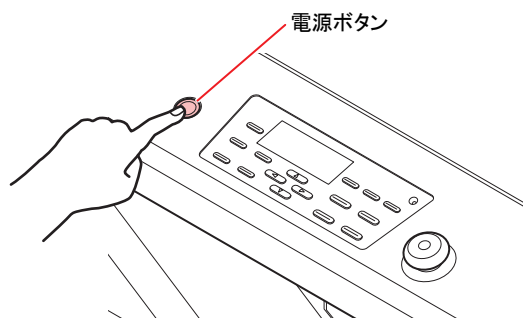
 「データをプリントする」 (P. 67)

2.2 電源を入れる/切る

電源を入れる

1 電源ボタンを押す。

- 操作パネルの左側にある電源ボタンを押します。



- 電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示します。

JFX200EX Start-up
Ver 1.00

- 初期動作を実行します。

2 ローカルになる。

<ローカル>

3 接続しているコンピュータの電源をオンにする。



- 通常、電源コンセントは差したままにしておいてください。電源コンセントを抜いたまま放置すると、ヘッドのノズルが目詰まりを起こす原因になります。症状によっては、復旧が困難になる場合があります。

電源を切る

プリンタの使用が終了したら、本機前面にある電源ボタンを押して電源をオフにします。

電源を切るときは、次のことを確認してください。

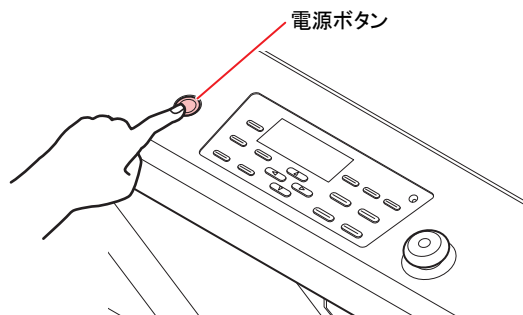
- コンピュータからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。

「エラーメッセージ」(P. 175)

1 接続してあるコンピュータの電源をオフにする。

2 電源ボタンを押して、電源を切る。

- 電源ボタンが消灯します。
- 次に、本機をご使用になるときは、電源ボタンを押して緑色ランプを点灯させてからお使いください。



電源を切るときのご注意

● 電源コンセントは抜かないでください。

電源コンセントを挿したままにしておくと、定期的に電源が入りノズル詰まり防止機能（フラッシング機能）および電源が入り圧力調整機能が働きます。

電源コンセントを抜いてしまうと、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かず、ノズル詰まりの原因となります。

● ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まりの原因となります。

このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピングステーションに戻ったことを確認してから電源を切ってください。

● プリント中は電源を切らないでください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻らないことがあります。

● 主電源をオフにしてから、ケーブルを抜いてください。

本機の移動や本機のエラー対処等で電源を切る場合、必ず、操作パネルにある電源ボタンを押してランプが消えていることを確認してから電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

● 停止スイッチを押しても、電源は切れません。

停止スイッチは停止が必要となったときに押すためのスイッチです。停止スイッチを押しても電源を切ることはできません。

2.3 メディアをセットする

本機では、リーフメディアをご使用になれます。

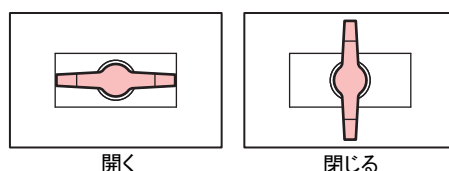
使用できるメディアについては、🔍 「使用可能メディアサイズ」 (P. 46) を参照してください。

メディアをセットする

- 重要!**
- 吸着エリア内に、メディアで塞がれない吸着穴があるときは、紙やフィルム、テープなどの薄いシート状のものを敷いて吸着穴を塞いでください。
 - メディア外周部は、熱により反り返ることがあります。補助的に粘着テープなどを使って固定してください。
 - テーブルの端（上下2辺）に、付属の位置決めピンを差し込むためのガイド穴を設けています。メディアをまっすぐにセットするためのガイドとしてお使いください。
🔍 「メディアガイド穴について」 (P. 55)

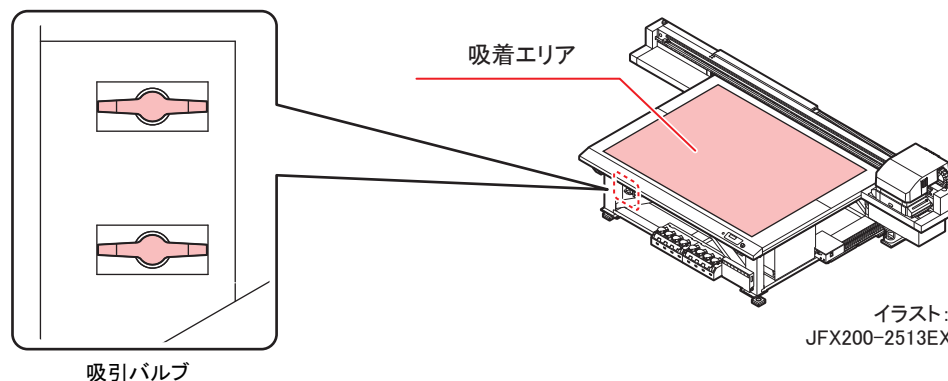
1 セットするメディアの大きさに合わせて、テーブル正面の吸引バルブを切り替える。

- バルブは、ハンドルを横にすると開き、縦にすると閉じます。



2 [VACUUM]キーを押してVACUUMランプを点灯させ、メディアを吸着する。

- 吸着エリアについて、詳しくは🔍 「吸着エリアについて」 (P. 54) をご参照ください。



● メディアセット後は、以下の設定をしてください。

- 🔍 「メディアの厚みを登録する」 (P. 74)
- 🔍 「ヘッドギャップ値について」 (P. 77)

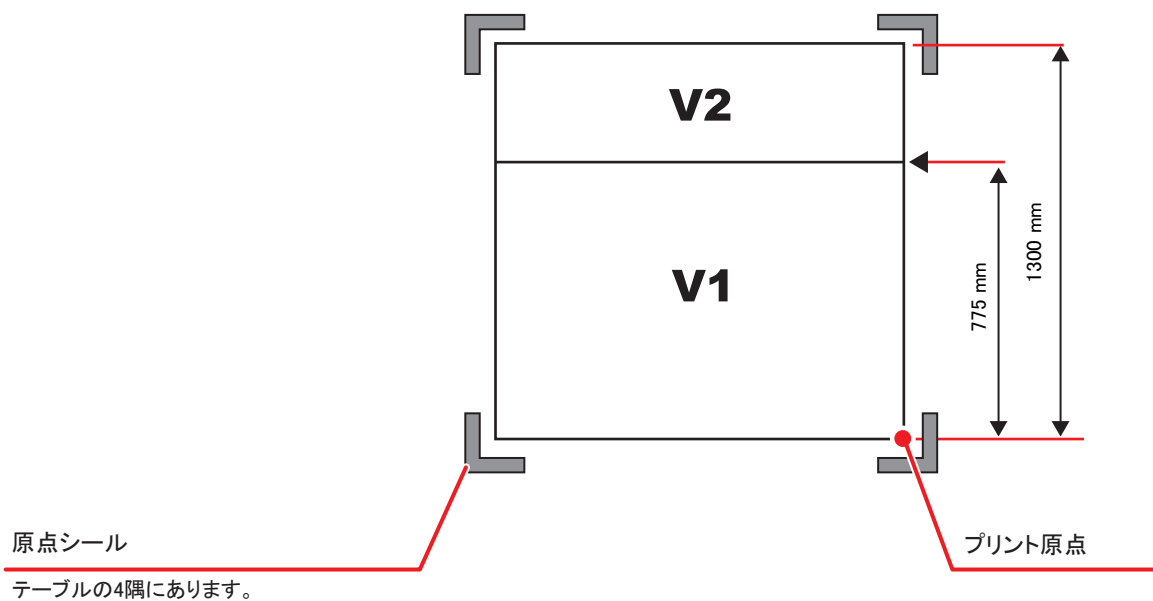


- テーブルが変形するおそれがありますので、重いメディアをテーブルに落とさないでください。

また、重さが一点に集中しないようにしてください (50kg/m²まで)
本体仕様

吸着エリアについて

吸着エリアは、下図のようになっています。



- 原点を変更したいときは、👉 「[原点を変更する](#)」 (P. 72) を参照してください。

メディアガイド穴について

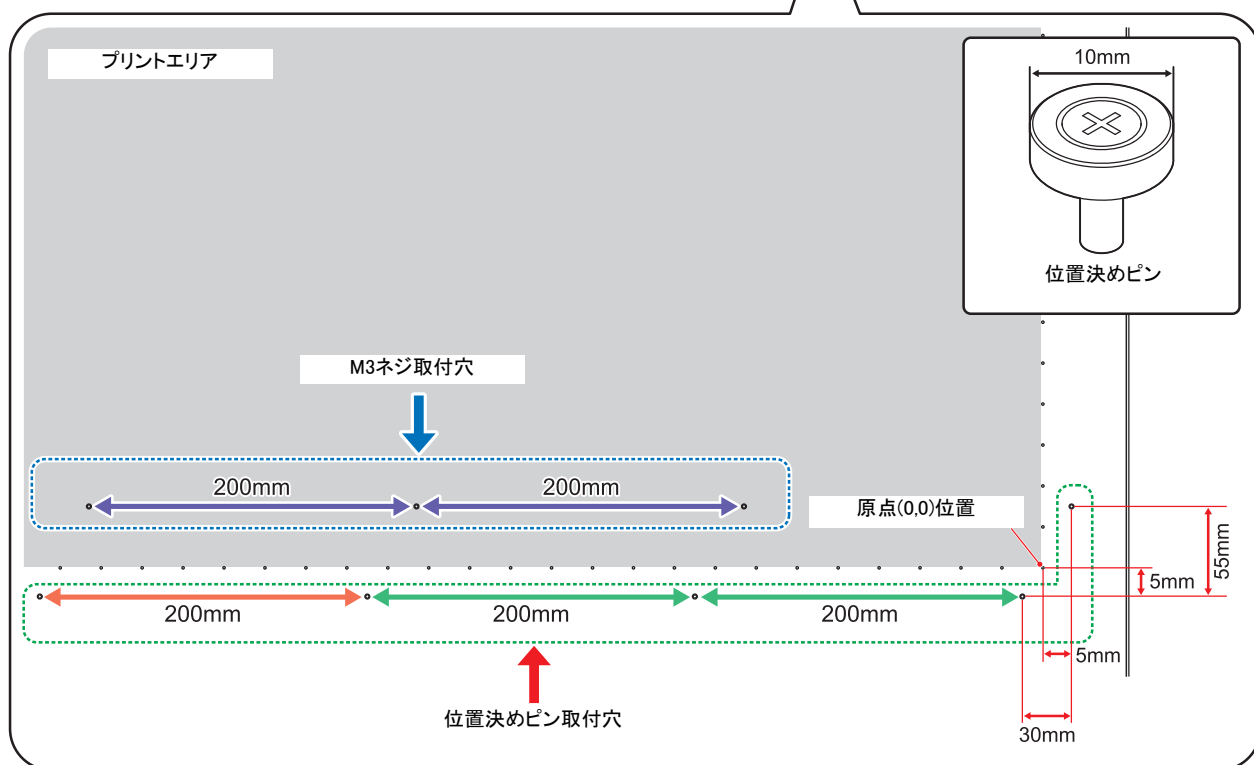
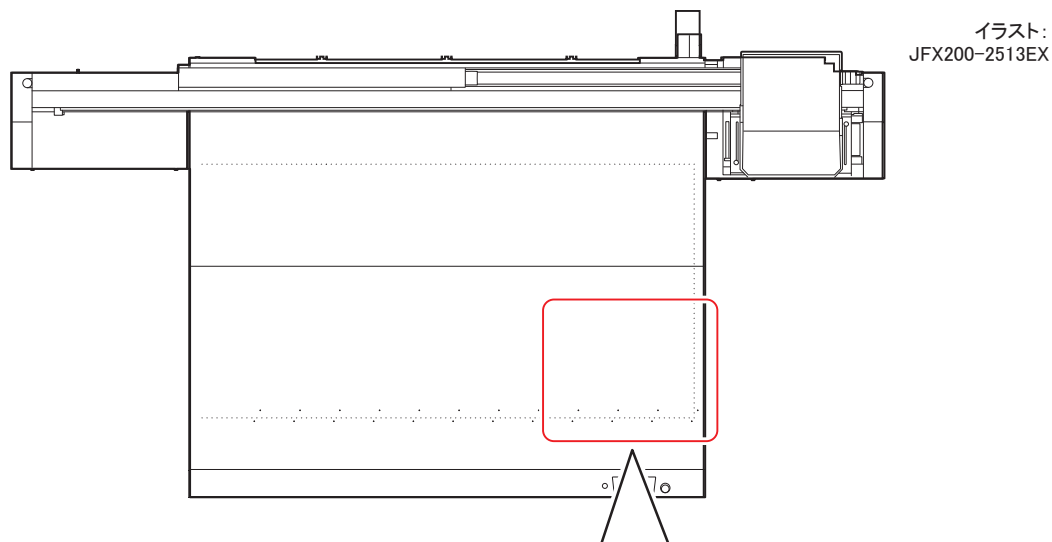
テーブルの端（上下2辺）に、付属の位置決めピンを差し込むためのガイド穴を設けています。メディアをまっすぐにセットするためのガイドとしてお使いください。



- 付属の位置決めピンの代わりに、市販のM3ネジを取り付けることができます。この場合、テーブルの左と手前の2辺にネジを取り付けることができます。

重要!

- 付属の位置決めピンの場合、メディアの厚みが5mm以下は使用できません。
- 厚みが5mm以下のメディアにプリントする場合は、テーブル上に位置決めピンが取り外されていることを確認してください。

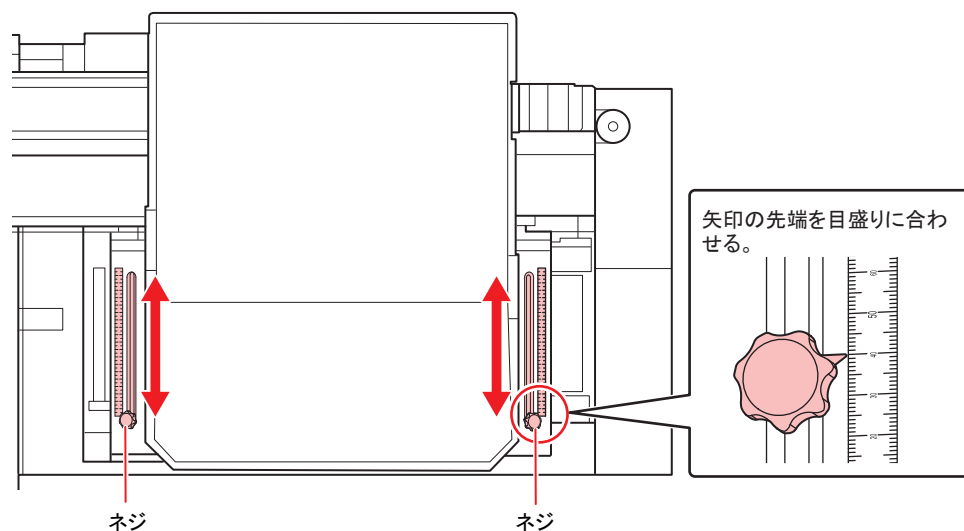


2.4 UV-LEDユニットの位置を移動する

プリントするカラーと特色によって、キャリッジ両サイドにあるネジを緩めて、UV-LEDユニットをスライドします。



- キャリッジ両サイドのUV-LEDユニットをスライドさせる溝に異物が入り込まないように注意してください。ネジなどの金属片が落下した場合、発火や発煙のおそれがあります。



UV-LEDユニットの位置

本機はカラーと特色でレイヤー（層）を別にして、「2レイヤープリント」「3レイヤープリント」をすることができます。

以下はUV-LEDユニットの位置推奨値です。プリントの途中でUV-LEDユニットの位置を変更ができない場合は、UV-LEDユニットを0mm に合わせてプリントしてください。



- RasterLinkでは、プリントの途中でUV-LEDユニットの位置を変更するジョブのときは、RasterLinkにアラートが表示されます。

● 4-color, W

プリント層	レイヤープリント	UV-LED位置 (mm)
単層		120
		65
2層	2層目: 1層目:	65
	2層目: 1層目:	65

● 4-color, W, CL (LUS-150、LH-100、ELH-100、LUS-120、LUS-350をお使いの場合)

プリント層	レイヤープリント	UV-LED位置 (mm)
単層		120
		65
		0
2層	2層目:  1層目: 	65
	2層目:  1層目: 	65
	2層目:  1層目: 	0
	2層目:  1層目: 	2層目: 0 1層目: 65
	2層目:  1層目: 	190
3層	3層目:  2層目:  1層目: 	3層目: 0 1-2層目: 65

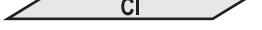
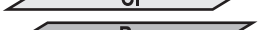
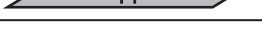
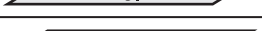
● 4-color, W, CL (LUS-211をお使いの場合)

インクタイプがLUS-211の場合は、レイヤープリントと解像度毎に、UV-LEDの推奨位置が異なります。下表の通り、UV-LEDの位置を変更してください。

プリント層	レイヤープリント	UV-LED位置 (mm)		
		解像度 (dpi) 300×300 300×450 600×600	解像度 (dpi) 600×900	解像度 (dpi) 1200×1200
単層		120	120	120
		65	65	65
		0	0	0
2層	2層目:  1層目: 	190	65	65
	2層目:  1層目: 	0	0	65
	2層目:  1層目: 	0	0	0
	2層目:  1層目: 	2層目: 0 1層目: 65	2層目: 0 1層目: 65	2層目: 0 1層目: 65
	2層目:  1層目: 	190	190	190
3層	3層目:  2層目: 	3層目: 0 1-2層目: 190	3層目: 0 1-2層目: 65	3層目: 0 1-2層目: 65

プリント層	レイヤープリント	UV-LED位置 (mm)		
		解像度 (dpi) 300×300 300×450 600×600	解像度 (dpi) 600×900	解像度 (dpi) 1200×1200
	1層目 :  W			

● 4-color, W, CL, Pr

プリント層	レイヤープリント	UV-LED位置 (mm)
単層		120
		65
		0
		0
2層	2層目 :  1層目 : 	65
	2層目 :  1層目 : 	65
	2層目 :  1層目 : 	0
	2層目 :  1層目 : 	2層目 : 0 1層目 : 65
	2層目 :  1層目 : 	65
	2層目 :  1層目 : 	2層目 : 65 1層目 : 0
	2層目 :  1層目 : 	0
	2層目 :  1層目 : 	190
3層	3層目 :  2層目 :  1層目 : 	3層目 : 0 1-2層目 : 65
	3層目 :  2層目 :  1層目 : 	0
	3層目 :  2層目 :  1層目 : 	2-3層目 : 65 1層目 : 0

● 6-color, W, CL

プリント層	レイヤープリント	UV-LED位置 (mm)
単層		120
		65
		0
2層	2層目 :  1層目 : 	65
	2層目 :  1層目 : 	65
	2層目 :  1層目 : 	0
	2層目 :  1層目 : 	2層目 : 0 1層目 : 65
	2層目 :  1層目 : 	190
3層	3層目 :  2層目 :  1層目 : 	3層目 : 0 1-2層目 : 65

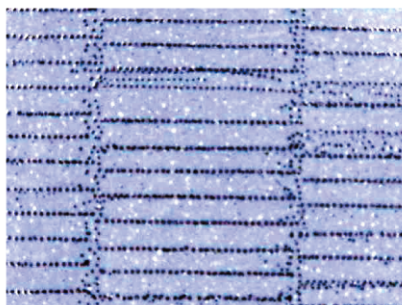
2.5 テストプリントをする

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

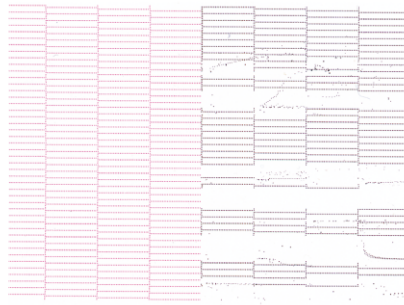
作図不良の例

ホコリなどを原因として発生するヘッド（ノズル）の吐出不良が、作図に及ぼす代表的な例を示します。このような状態で使用しないように、出力前や出力中に定期的にノズルの状態を確認してください。ノズルの状態は、本機の「テストプリント」で確認できます。

 「テストプリントをする」（P. 61）



飛行曲がり



ノズル抜け



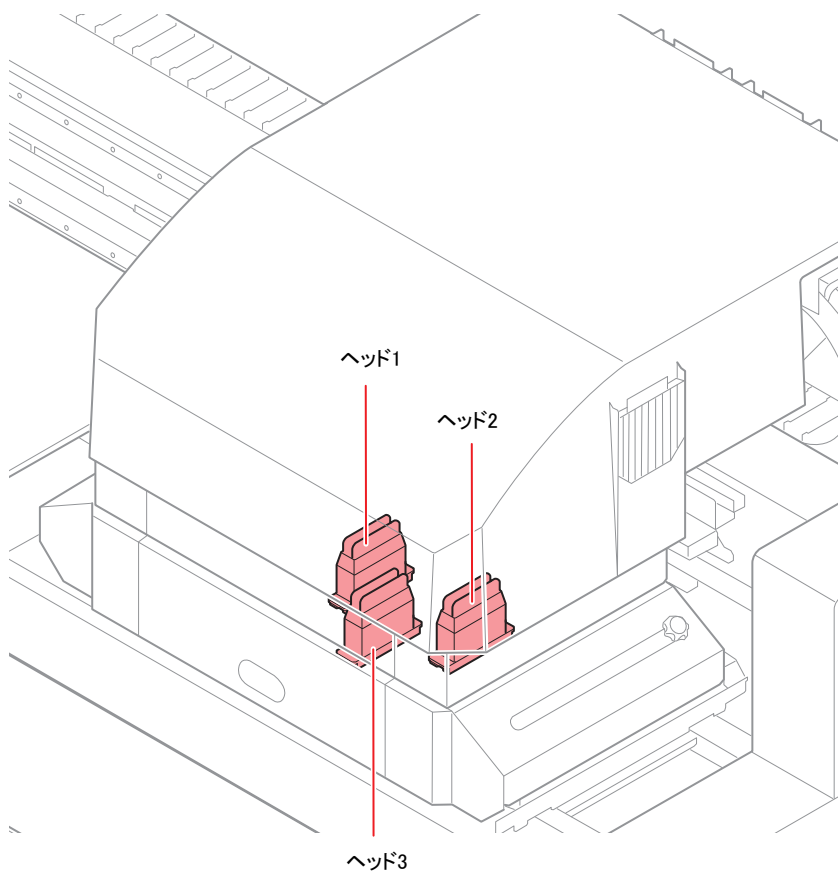
ボタ落ち



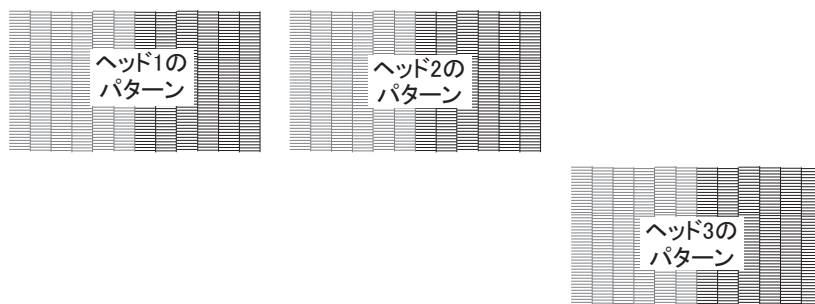
しぶき

ヘッ드의配列とテストパターンの関係

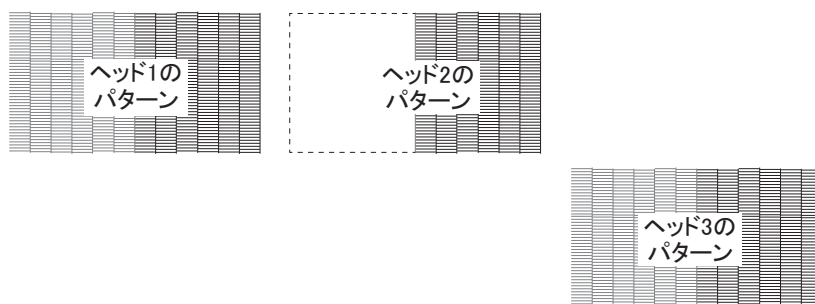
ヘッ드의配列とプリントしたテストパターンのプリント位置は、下図の通りです。



● 4C+4SPの場合



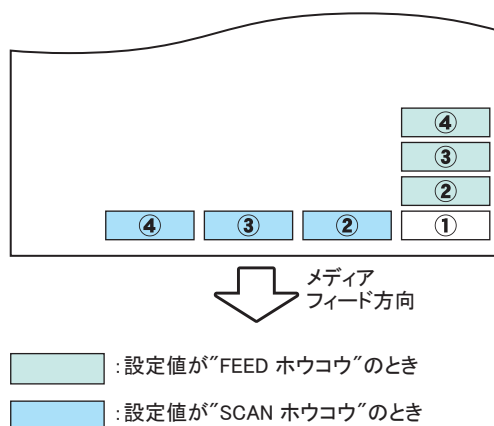
● 6C+4SPの場合



テストプリントを行う

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

また、テストプリントを繰り返し実行するときのために、プリントするテストパターンの配置方向を次の2種類から選ぶことができます。使い方に合わせて選んでください。



テストプリントの前に確認してください。

- メディアをセットしているか？
☞ 「メディアをセットする」 (P. 53)
- 原点位置をセットしているか？
☞ 「原点を変更する」 (P. 72)
- ヘッドギャップを調整しているか？
☞ 「ヘッドギャップ値について」 (P. 77)

1 ローカルで[TEST]キーを押す。

- ▲ ▼キーを押して、テストパターンの配置方向を変更できます。

テスト プリント
(FEED ホウコウ) [ENT]

2 [ENTER]キーを押す。

3 ▲ ▼キーを押して、[ノズル リカバリ]の“ON”または“OFF”を選ぶ。

- ON :
メンテナンス機能の[ノズル リカバリ]で登録した抜け等のあるノズルを他のノズルでリカバリしたパターンをプリント
- OFF :
抜け等のあるノズルをリカバリしないでパターンをプリント

テスト プリント
ノズル リカバリ : ON

重要! • この手順の操作は、メンテナンス機能の[ノズル リカバリ]を登録していない場合や、[ノズル リカバリ]の[カクニン メニュー]を“OFF”にしている場合は設定できません。

4 [ENTER]キーを押す。

- テストプリントを開始します。

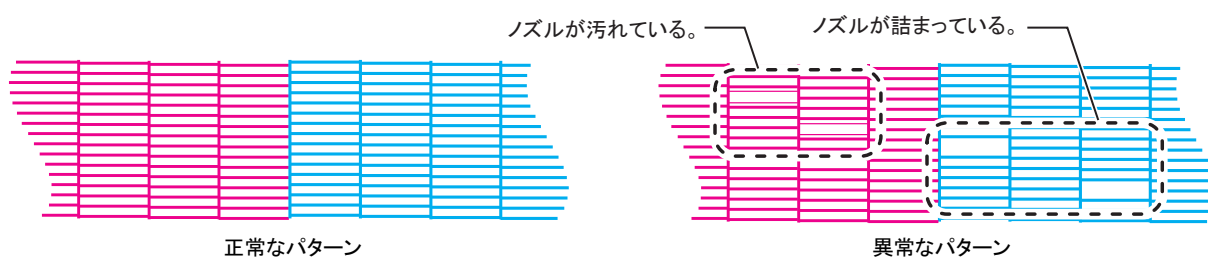
** プリント **
シバラク オマチクダサイ

- プリントが終わると、手順1の表示に戻ります。

テスト プリント
(FEED ホウコウ) [ENT]

5 印刷結果を確認する。

- 正常な場合は、操作を終了します。
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。
☞ 「ヘッドクリーニング」 (P. 65)



2.6 ヘッドクリーニング

プリントしたテストパターンの結果を確認して、症状に合わせたクリーニングを行います。
ヘッドクリーニングには、3種類あります。パターンプリントの結果によって使い分けてください。

1 ローカルモードで、[CLEANING]キーを押す。

クリーニング
ソフト [ENT]

2 ▲ ▼を押して、クリーニングタイプを選ぶ。

- ・ソフト :
線の曲がり、抜けがある時
- ・ノーマル :
線の抜けがある時、混色している時
- ・ハード :
ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時

クリーニング
ノーマル [ENT]

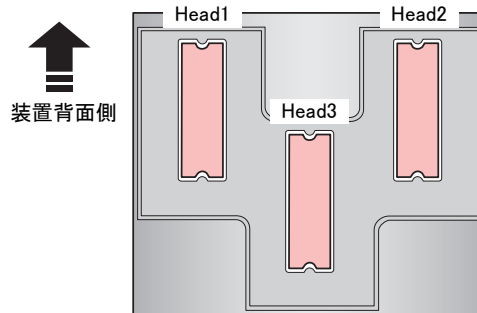
3 [ENTER]キーを押す。

ヘッド センタク
: 1 2 3

4 ▲ ▼を押して、クリーニングするヘッドを選ぶ。

- ・設定値 :
1 2 3 (全てのヘッド)
1 _ _ (ヘッド1)
_ 2 _ (ヘッド2)
_ _ 3 (ヘッド3)

ヘッド センタク
: 1 _ _



5 [ENTER]キーを押す。

** クリーニング **
シバラク オマチクダサイ

6 再度テストプリントを実行し、印刷結果を確認する。

- ・印刷結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。

● ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良されない場合

- ワイパーとインクキャップのクリーニングを行う。
☞ 「ワイパーとキャップの清掃」 (P. 120)
- ノズルリカバリの設定を行う。
☞ 「ノズル詰まりが復旧しない場合」 (P. 136)

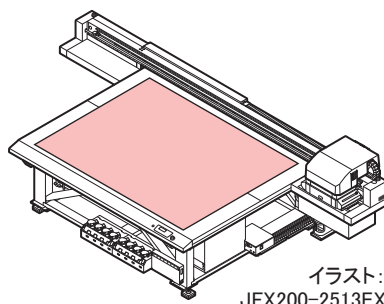
2.7 データをプリントする

プリントを開始する

1 メディアをセットする

- ☞ 「メディアをセットする」 (P. 53)

- (1) メディアのサイズに合わせて、吸引バルブを開閉する。
- (2) [VACUUM]キーを押して、VACUUM ランプを点灯させ、メディアを吸着させる。

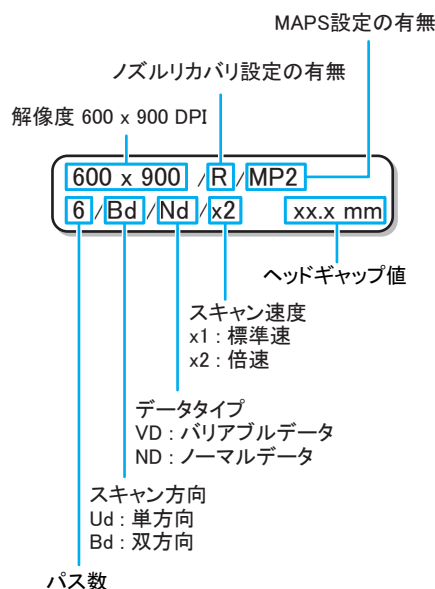


2 ローカルで、[REMOTE]キーを押す。

- ・ リモートモードになり、コンピュータからのデータを受信できるようになります。

3 コンピュータからプリントするデータを送信する。

- ・ 印刷条件を表示します。
- ・ データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。



4 プリント終了後、メディアを取り外す。

- (1) Yバーをテーブルの外に退避させる。
☞ 「Yバーを移動させる」 (P. 68)
- (2) [VACUUM]キーを押して、吸着をオフにする。
- (3) メディアを取り除く。

- 重要!** ・ プリント中にLED UVによる熱で、メディアが浮き上がり、プリントが中断されることがあります。
新しいメディアをセットし直し、プリントを開始してください。

プリントを中断する

プリントを途中で止める場合、次の操作をしてください。

1 プリント中に、[REMOTE]キーを押す。

- ・ プリント動作を中止します。
- ・ コンピュータからデータを送信している場合は、コンピュータ側でデータ送信を止めます。
- ・ 再度[REMOTE]キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。

<ローカル>
プリントデータ アリ

受信したデータを消去する（データクリア）

プリントを中止したいときは、受信済みのデータを消去してください。

1 ローカルで、[DATA CLEAR]キーを押す。

データ クリア [ENT]

2 [ENTER]キーを押す。

- ・ 受信データを消去し、ローカルに戻ります。

** データ クリア **

Yバーを移動させる

印刷結果を確認したいときなどに、Yバーを移動させることができます。

あらかじめ、Yバーの退避位置（ビュー位置）を設定してください。

ビュー位置を設定する

1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

2 [ENTER]キーを押す。

ビュー
イドウ カイシ <ent>

3 ④キーを押す。

```
ビュー
ビュー イチ セッテイ
```

4 [ENTER]キーを押す。

```
ビュー イチ セッテイ
= **** mm
```

5 ③④キーを押して、移動位置を設定する。

- ・ ③キー: 原点を中心に、テーブルの奥側へYバーが移動する。
- ・ ④キー: 原点を中心に、テーブルの前側へYバーが移動する。

```
ビュー イチ セッテイ
= 500 mm
```

6 [ENTER]キーを押す。

- ・ 値が設定され、手順2の画面に戻ります。

```
** イドウチュウ **
シバラクオマチクダサイ
```

Yバーをビュー位置へ移動させる**1** ローカルで[FUNCTION]キーを押す。

```
FUNCTION
ビュー [ENT]
```

2 [ENTER]キーを押す。

```
ビュー
イドウ カイシ <ent>
```

3 [ENTER]キーを押す。

- ・ Yバーが移動します。

```
** イドウチュウ **
シバラクオマチクダサイ
```


第3章 便利な使い方



この章では...

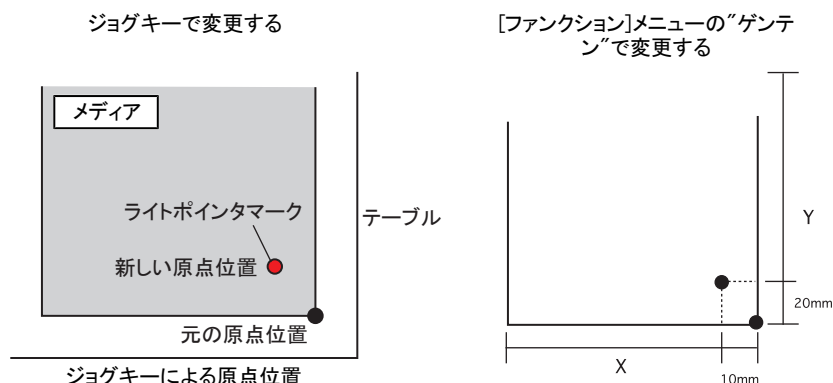
本機をより便利に使うための操作方法や、各種設定方法について説明しています。

原点を変更する	72	オートクリーニングの設定	92
ジョグキーを使ってプリント原点を変更する	72	ノズル面の清掃頻度を設定する	94
ファンクションメニューを使ってプリント原点を変更する	73	その他の設定	95
メディアの厚みを登録する	74	マシン設定	96
メディアの厚みを手動で登録する	74	オートパワーオフの設定	97
メディアの厚みを[UP]キーまたは [DOWN]キーを使って登録する	74	シコクの設定	97
メディアの厚みを自動測定する	75	タンイの設定	98
ヘッドギャップ値について	77	キープザーの設定	99
ヘッドギャップ値を登録する	77	言語の設定	100
ヘッドギャップ値を確認する	78	ネットワークの設定	101
設定機能一覧表	79	外部停止I/Fについて	102
双方向プリントのドット位置を調整する	80	ノズルチェックメニュー	104
ドット位置を補正する	80	ノズルチェックメニュー一覧	104
ロジカルシークの設定	82	印刷中ノズルチェックの流れ	104
UVモードの設定	84	「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作	105
パス間の縞を軽減する	86	印刷中ノズルチェックの設定	105
MAPS機能とは	86	自動ノズルリカバリの設定	107
MAPS2機能を設定する（4色+特色インク時）	86	判定条件の設定	107
ワークチェンジの設定	90	設定した内容を初期状態に戻す	109
イオナイザーの設定	91	本機の情報を確認する	110
		使用状況を確認する	110
		バージョン情報を確認する	111
		その他の情報を表示する	112

3.1 原点を変更する

お買い上げ時に設定されている原点の位置を変更することができます。

変更方法には次の2つがあります。



ジョグキーを使ってプリント原点を変更する

1 ローカルで、▲ ▼ ◀ ▶を押す。

- [原点設定]画面になります。
- テーブル、またはメディア上に赤い「●（ライトポイントマーク）」が映ります。

ゲンテン セッテイ
0.0

2 ▲ ▼ ◀ ▶を押して、ライトポイントマークを移動させる。

- 新しく原点を設定する位置に、ライトポイントマークを移動します。

ゲンテン セッテイ
500.0 600.0
原点位置 (前後) 原点位置 (左右)

3 プリント原点を決定したら、[ENTER]キーを押す。

- 原点が変更されます。

** ゲンテン **

重要! • ジョグキーで設定した原点は、電源を切ると設定値がクリアされます。

ファンクションメニューを使ってプリント原点を変更する

原点位置を正確に設定する場合、ファンクションメニューからX、Y 原点の設定をします。
この設定で原点を設定した場合、設定した値が原点位置（0.0）となります。

- 1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION ビュー	[ENT]
-----------------	-------

- 2 ▲ ▼を押して「ゲンテンセッテイ」を選び、[ENTER]キーを2回押す。
・ X軸のオフセット値設定画面になります。

ゲンテンセッテイ	1300 mm
Xオフセット :	1200 mm

- 3 ▲ ▼を押して、数値を入れる。
・ X軸の原点位置を設定します。

ゲンテン	1300 mm
Xオフセット :	1290 mm

- 4 [ENTER]キーを押す。

ゲンテン センタク : Xオフセット

- 5 ▲ ▼を押して「Yオフセット」を選び、[ENTER]キーを押す。

ゲンテン センタク : Yオフセット

- 6 ▲ ▼を押して、数値を入れる。
・ Y軸の原点位置を設定します。

ゲンテン	2500 mm
Yオフセット :	2090 mm

- 7 [ENTER]キーを押す。

ゲンテン センタク : Yオフセット

- 8 終了するとき、[END]キーを数回押す。

重要! ・ 設定した原点は、電源を切ってもクリアされません。

3.2 メディアの厚みを登録する

セットするメディアの厚みを登録します。

登録方法には、次の3種類があります。

- 厚みを手動で登録する方法
- [UP] [DOWN]キーで選ぶ方法
- 厚みを自動測定する方法

メディアの厚みを手動で登録する

- 1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

- 2 ▲ ▼を押して [ヘッド タカサ] を選ぶ。

FUNCTION
ヘッド タカサ [ENT]

- 3 [ENTER]キーを2回押す。

メディア アツミ
2.5mm

- 4 ▲ ▼を押してセットするメディアの厚み（0.0～50.0mm）を入力する。

メディア アツミ
10.5mm

- 5 [ENTER]キーを押す。

FUNCTION
ヘッド タカサ [ENT]

- 6 [END]キーを押して、終了する。

メディアの厚みを[UP]キーまたは [DOWN]キーを使って登録する

- 1 [UP]キーまたは[DOWN]キーを押す。

ゲンテン セッテイ
Zタカサ = 45.0

- 2 [UP]キーまたは[DOWN]キーを押して、調整する。

ゲンテン セッテイ
Zタカサ = 50.0

3 [ENTER]キーを押す。



メディアの厚みを自動測定する

メディアの厚みは、キャリッジ中央にあるギャップピンを使って自動測定します。

1 メディアをセットする。



- 必ずプリント範囲にメディアをセットしてください。メディアをセットしないで自動測定を行うと、ヘッドが破損する場合があります。

2 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

3 ▲ ▼を押して [ヘッド タカサ] を選ぶ。

FUNCTION
ヘッド タカサ [ENT]

4 [ENTER]キーを押す。

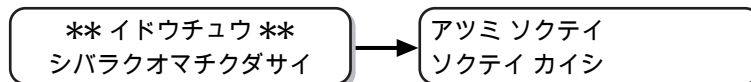
ヘッド タカサ
メディア アツミ [ENT]

5 ▲ ▼を押して [アツミ ソクテイ] を選ぶ。

ヘッドタカサ
アツミ ソクテイ [ENT]

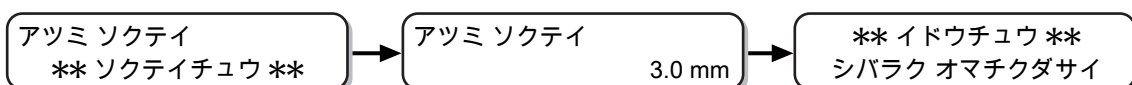
6 [ENTER]キーを押す。

- 測定準備のため、Yバーが最上点まで上昇します。
- キャリッジがプリント範囲へ移動します。



7 [ENTER]キーを押す。

- メディアの厚みを自動的に測定します。
- 測定した厚みを表示します。
- キャリッジが退避位置へ移動し、手順5の画面に戻ります。



8 終了するとき、[END]キーを数回押す。



- 自動測定 of 誤差は、 $\pm 0.1\text{mm}$ です。
-

3.3 ヘッドギャップ値について

ヘッドギャップ（メディアからヘッドノズル面までの高さ）を設定します。

プリント時やメンテナンス機能などでヘッドがテーブル上へ移動する動作が行われる際に、設定されているヘッドギャップ位置に移動します。

ヘッドギャップの上限は、メディア厚により変化します。

設定値：[1.2 mm～ 3.0 mm]（0.1 mm単位/初期値:1.5 mm）

ヘッドギャップ値を登録する

現在設定されているヘッドギャップ値を登録したいときは、次の操作をしてください。

- 1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

- 2 ▲ ▼を押して [ヘッド タカサ] を選ぶ。

FUNCTION
ヘッド タカサ [ENT]

- 3 [ENTER]キーを押す。

ヘッド タカサ
メディア アツミ [ENT]

- 4 ▲ ▼を押して [ヘッド ギャップ] を選ぶ。

セッテイ
ヘッド ギャップ [ENT]

- 5 [ENTER]キーを押す。

ヘッド ギャップ
= 2.0 mm

- 6 ▲ ▼を押して、ヘッドギャップ値を設定する。

- ・ 設定値：1.2～3.0mm

ヘッド ギャップ
= 3.0 mm

- 7 [ENTER]キーを押す。

セッテイ
ヘッド ギャップ [ENT]

- 8 終了するとき、[ENTER]キーを数回押す。



- ・ ヘッドギャップ値に適正な値が設定されていないと、プリント中、メディアに大きなインク滴が落ちるなど、プリント品質に影響が出ることがあります。

ヘッドギャップ値を確認する

現在設定されているヘッドギャップ値を確認したいときは、次の操作をしてください。

- 1 ローカルで[ENTER]キーを押す。
- 2 [ENTER]キーを数回押して、[ヘッド ギャップ]を表示させる。
 - ・ 現在設定されているヘッドギャップ値が表示されます。

3.4 設定機能一覧表

各設定機能の概要と設定値について説明します。

重要！ 初期値「ホスト」の機能について

- RIPソフトウェアで指定した設定値によって、動作させることができます。「ホスト」以外に設定した場合、RIPソフトウェアからの指示によらずその設定値で動作します。
- RIPソフトウェアによっては指示できない機能があります。その場合、「RIPからの指示がない場合」の設定値で動作します。
- RIPソフトウェアでの指定方法については、RIPソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

機能名称			設定値*1	RIP から指示がない場合*2	概要
ドットイチ ホセイ ☞ 「ドット位置を補正する」 (P. 80)			-40.0～ <u>0.0</u> ～40.0	——	往復プリントにおける、着弾位置の調整を行います。
ロジカルシーク ☞ 「ロジカルシークの設定」 (P. 82)			<u>ホスト</u> /ON/OFF	ON	プリント中のスキャン可動範囲を設定します。
カサネヌリ ☞ 「その他の設定」 (P. 95)			<u>ホスト</u> /1～9	1	インクの重ね塗りを行います。
UV モード ☞ 「UVモードの設定」 (P. 84)			<u>ホスト</u> /MANUAL	MANUAL	プリント中のUV照射パターンの指定をします。
リフレッシュ ☞ 「その他の設定」 (P. 95)			<u>ホスト</u> /Lv.0 (リフレッシュ間隔長い) ～ 3 (間隔短い)	Lv.3	プリント中に、インクヘッドのリフレッシュを行います。
MAPS ☞ 「MAPS機能とは」 (P. 86)			OFF/ <u>MAPS2</u>	——	パス間の縞を軽減する設定をします。
	MAPS2	AUTO		——	
		MANUAL	パターン (1～7/AUTO)スムージングレベル (AUTO/5～100%)	——	
ワークチェンジ ☞ 「ワークチェンジの設定」 (P. 90)			<u>ホスト</u> /ON/OFF	——	プリント終了時の動作を設定します。
イオナイザー ☞ 「イオナイザーの設定」 (P. 91)			<u>ON/OFF</u>	——	オプションのイオナイザーを設定します。
オートクリーニング ☞ 「オートクリーニングの設定」 (P. 92)			OFF/ <u>ページ</u>	——	プリント前またはプリント中に行う、ヘッドの自動クリーニング動作を設定します。
	ページ	カンカク	1～ <u>3</u> ～1000	——	
		タイプ	<u>ノーマル</u> / <u>ソフト</u> /ハード	——	
ティキワイピング ☞ 「ノズル面の清掃頻度を設定する」 (P. 94)			<u>ON/OFF</u>	——	プリント中に行う、ワイピング動作を設定します。

*1. お買い上げ時は、下線の値に設定されています。

*2. 本機のタイプ登録で“ホスト”を設定しているのに、RIP ソフトウェア（ホスト）側で設定値の指定がないまたは、装置側の設定値を優先する設定にしている場合の、プリント時に使用される設定値です。

3.5 双方向プリントのドット位置を調整する

印刷条件（メディアの厚み/ヘッドの高さなど）を変えたときは、次の操作をして双方向（Bi）プリント時のインクの落下位置を補正し、適正な印刷結果を得られるようにしてください。

ドット位置を補正する

1 メディアをセットし、プリント原点を設定する。

-  「メディアをセットする」（P. 53）

2 ローカルで、[ADJUST]キーを2回押す。

ドット イチ ホセイ
[ENT]

3 [ENTER]キーを押す。

ドット イチ ホセイ
: Y300 dpi

4 を押して、解像度を選ぶ。

- 設定値：Y300dpi / Y600dpi / Y1200dpi
- すべての解像度において補正を行ってください。

ドット イチ ホセイ
: Y600 dpi

5 [ENTER]キーを押す。

ドット イチ ホセイ
プリントカイシ [ENT]

6 [ENTER]キーを押して、パターンプリントを開始する。

- テストパターンをプリントします。（プリント順にパターン1,2,3... と呼ぶ）

** プリント **
シバラク オマチクダサイ

7 ㊦ ㊧を押して、パターン1～のドット位置を補正する。

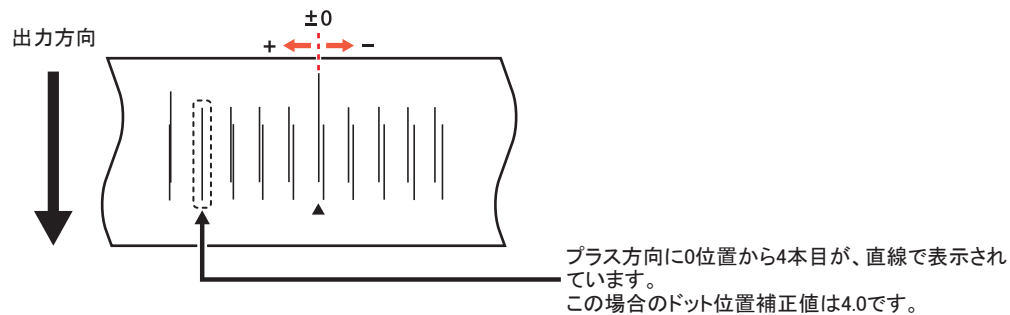
- 補正值：-40.0～40.0

パターン1

=

0.0

- テストパターンを確認し、往路と復路が1本の直線になっている位置が補正值となります。
- 補正值が-40.0～40.0の間でない場合は、ヘッドの高さを調整後、手順2から操作をし直してください。



8 [ENTER]キーを押す。

- 次のパターンの入力を表示します。
- 手順7を繰り返し行います。

9 終了するとき、[END]キーを数回押す。

[ADJUST]キーを使わないでドット位置補正をするには

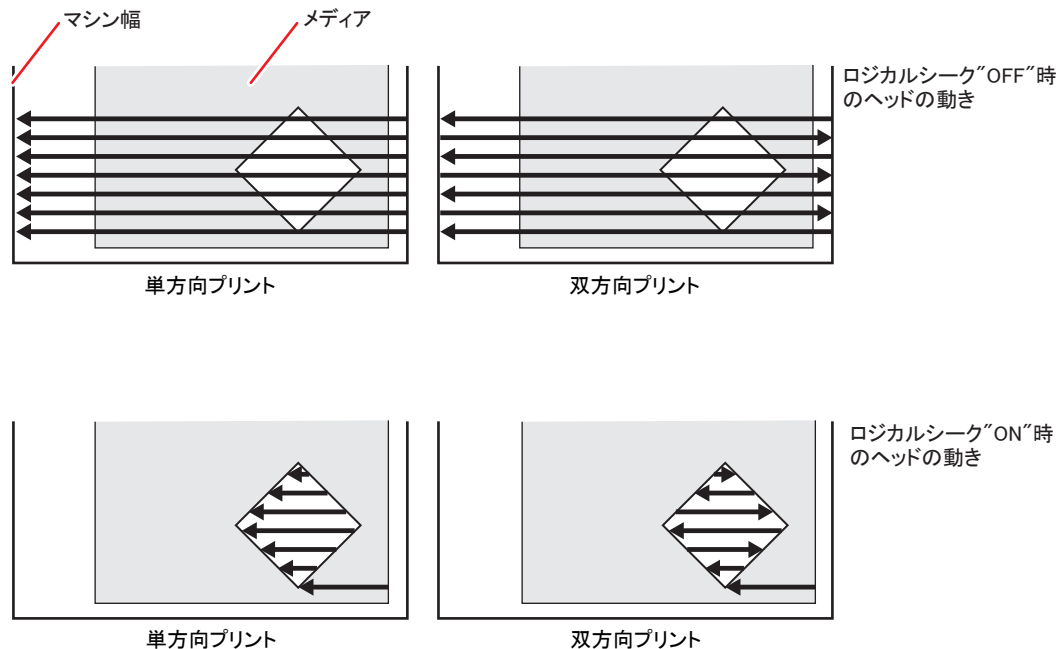
[ADJUST]キーを押さなくても、ローカルから[FUNCTION]キーを使ってドット位置補正を選ぶことができます。

- ローカルで[FUNCTION]キーを押す。
- ㊦ ㊧を押して[セッテイ]を選び、[ENTER]キーを押す。
- ㊦ ㊧を押して[ドットイチ ホセイ]を選び、[ENTER]キーを押す。
 - ローカルから[ADJUST]キーを押したときと同じ状態になります。

3.6 ロジカルシークの設定

ロジカルシークの設定により、ヘッドの動作が変わります。

- 重要!** • ロジカルシークの設定については、RasterLink側での指定ができません。本機の設定で"ホスト"に設定した場合は、プリント時にロジカルシークが"ON"の状態ですべてのページがプリントされます。



- 1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

- 2 ▲ ▼を押して、[セッテイ]を選ぶ。

FUNCTION
セッテイ [ENT]

- 3 [ENTER]キーを押す。

セッテイ
ドットイチ ホセイ [ENT]

- 4 ▲ ▼を押して、[ロジカルシーク]を選ぶ。

セッテイ
ロジカルシーク [ENT]

- 5 [ENTER]キーを押す。

ロジカルシーク
: ホスト

6 ▲ ▼を押して、設定値を選ぶ。

- ・ 設定値：ホスト/ON/OFF

ロジカルシーク
: ON

7 [ENTER]キーを押す。

セッテイ
ロジカルシーク [ENT]

8 終了するとき、[END]キーを数回押す。

3.7 UVモードの設定

プリント中のUV LEDの照射パターンおよび照度を設定します。

- 1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

- 2 ▲ ▼を押して、[セッテイ]を選び、[ENTER]キーを押す。

セッテイ
ドットイチ ホセイ [ENT]

- 3 ▲ ▼を押して、[UV モード]を選ぶ。

セッテイ
UVモード [ENT]

- 4 [ENTER]キーを押す。

UV モード
: ホスト

- 5 ▲ ▼を押して、設定値を選ぶ。

UV モード
: MANUAL

- ホスト:
アプリケーションで設定したUV照射パターンとUV照度の組み合わせで照射します。
- MANUAL :
設定したパターンとUV照度の組み合わせで照射します。

- 6 [ENTER]キーを押す。

- 手順5で"ホスト"を選んだ場合は手順7へ、"MANUAL"を選んだ場合は手順8へ進んでください。

- 7 ▲ ▼を押して照度（光量）を調整し、[ENTER]キーを押す。

UV モード
コウリョウ チョウセイ: 0%

- 8 ▲ ▼を押して設定するインク種を選び、[ENTER]キーを押す。

- 設定値 :
カラー/ホワイト/クリアインク

UV モード
: カラー

- 9 ▲ ▼を押してスキャン方向を選び、[ENTER]キーを押す。

- 設定値 : Bi（双方向）/Uni（単方向）

UV モード
: Bi

10 ▲ ▼を押してプリントするパターンを選び、[ENTER]キーを押す。

- 設定値：
パターン1, 2 ~インサツナシ
- “インサツナシ”を選ぶと、プリントデータを送ってもUVランプの照射のみ行います。

UV モード
: パターン1

11 ▲ ▼を押して照射レベルを選び、[ENTER]キーを押す。

- 設定値：
レベル0~15（数字が大きくなるに従って、照度が高くなります。）

UV モード
レベル : 10

12 終了するとき、[END]キーを数回押す。

3.8 パス間の縞を軽減する

MAPS機能とは

MAPS（Mimaki Advanced PassSystem）機能とは、メディア補正をしても送り縞が解消できない場合に、MAPS機能を使いパスの境界を分散させることにより、送り縞が目立ちにくくさせる機能です。

本機では、MAPS2機能をお使いになることができます。



- MAPS機能を有効にすると、無効にしているときと比べ色味の変化がみられる場合があります。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。
- プリントする画像によってはMAPS機能の効果が得られない場合があります。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。
- 4+4SPインクセットの場合、最低パス数で印刷すると、特色のMAPS機能は無効となります。

MAPS2機能を設定する（4色+特色インク時）

- 1** ローカルで、[FUNCTION]キーを4回押す。

FUNCTION
セッテイ [ENT]

- 2** [ENTER]キーを押す。

セッテイ
ドットイチ ホセイ [ENT]

- 3** ▲ ▼を押して、[MAPS]を選ぶ。

セッテイ
MAPS [ENT]

- 4** [ENTER]キーを押す。

MAPS
: OFF

- 5** ▲ ▼を押して、[MAPS2]を選び、[ENTER]キーを押す。

- 設定値：MAPS2、OFF
- "OFF"を選んだ場合、手順19へ進みます。

MAPS 2
: AUTO

6 ▲ ▼を押して、"AUTO"または"MANUAL"を選ぶ。

- AUTO:
印刷条件に合わせて自動的に設定を行います。
- MANUAL:
設定値を調整することができます。

MAPS 2
: MANUAL

重要! • AUTO設定で送り縞、濃度ムラが改善されなかった場合、MANUAL設定で調整してください。

7 [ENTER]キーを押す。

- 手順6で"AUTO"を選んだ場合、手順19へ進みます。
- 手順6で"MANUAL"を選んだ場合、手順8へ進みます。

COLOR >
パターン : 1

8 ▲ ▼を押して、[COLOR]の設定を行う。

- AUTO:
印刷条件に合わせて、自動的にパターンを設定します。
- パターン1~5:
選んだパターンをプリントします。

COLOR >
パターン : AUTO

9 [ENTER]キーを押す。

- [スムージングレベル]の設定画面が表示されます。

COLOR >
スムージング レベル : AUTO

10 ▲ ▼を押して、[スムージングレベル]の設定を行う。

- AUTO:
印刷条件に合わせて、自動的にスムージングのレベルを設定します。
- 5~100%:
設定値を上げると、MAPS2の効果が強くなり、設定値を下げるとMAPS2の効果が弱くなります。

COLOR >
スムージング レベル : 50%

11 ▶を押す。

- [SPOT]の設定画面が表示されます。

< SPOT >
パターン : AUTO

12 ▲ ▼を押して、[SPOT]の設定を行う。

- AUTO:
印刷条件に合わせて、自動的にパターンを設定します。
- パターン1～7/AUTO:
選んだパターンをプリントします。

< SPOT >
パターン : 1

13 [ENTER]キーを押す。

- [スモーキングレベル]の設定画面が表示されます。

< SPOT >
スモーキング レベル : AUTO

14 ▲ ▼を押して、[スモーキングレベル]の設定を行う。

- AUTO:
印刷条件に合わせて、自動的にスモーキングのレベルを設定します。
- 5～100%:
設定値を上げると、MAPS2の効果が強くなり、設定値を下げるとMAPS2の効果が弱くなります。

< SPOT >
スモーキング レベル : 50%

15 [END]キーを押し、▶を押す。

- [CLEAR]の設定画面が表示されます。

< CLEAR >
パターン : AUTO

16 ▲ ▼を押して、[CLEAR]の設定を行う。

- AUTO:
印刷条件に合わせて、自動的にパターンを設定します。
- パターン1～7:
選んだパターンをプリントします。

< CLEAR >
パターン : 1

17 [ENTER]キーを押す。

- [タイプレベル]の設定画面が表示されます。

< CLEAR >
タイプレベル : AUTO

18 ▲ ▼を押して、[タイプレベル]の設定を行う。

- TYPE1 10～100% :
印刷条件に合わせて、設定します。
- TYPE2 10～100% :
印刷条件に合わせて、設定します。

< CLEAR
タイプレベル : AUTO

重要! ・ プリントする画像によって、MAPS2の効果は異なります。プリントパターンを変更し、あらかじめ効果の確認を行った上でMAPS2機能を使用してください。

19 [ENTER]キーを押す。

セッテイ
MAPS [ENT]

20 終了するとき、[END]キーを数回押す。

3.9 ワークチェンジの設定

オンライン作図を終了したとき、ローカルに戻るかリモートのままとするかを設定します。

- 1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

- 2 ▲ ▼を押して、[セッテイ]を選ぶ。

FUNCTION
セッテイ [ENT]

- 3 [ENTER]キーを押す。

セッテイ
ドットイチ ホセイ [ENT]

- 4 ▲ ▼を押して、[ワークチェンジ]を選ぶ。

セッテイ
ワークチェンジ [ENT]

- 5 [ENTER]キーを押す。

ワークチェンジ
: OFF

- 6 ▲ ▼を押して、設定値を選ぶ。

- OFF:
オンライン作図後、リモート状態を保持（次の作図データを受信している場合は、重ね書きされます。）
- ON:
オンライン作図後Yバーが退避し、ローカルに戻ります。
- ホスト:
RasterLink7の実行画面で“印刷回数”の指定を2以上にした場合、印刷終了ごとにYバーが退避し、ローカルに戻ります。

ワークチェンジ
: ON



- Yバーが退避する位置は、 「ビュー位置を設定する」（P. 68）で設定した位置になります。

- 7 [ENTER]キーを押す。

セッテイ
ワークチェンジ [ENT]

- 8 終了するとき、[END]キーを数回押す。

3.10 イオナイザーの設定

オプションのイオナイザーを装着したときの動作を設定します。

- 重要!** ・ オプションのイオナイザーを装着していない場合は、本設定は表示されません。イオナイザーを装着しているのに、本設定が表示されない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

2 ▲ ▼を押して、[セッテイ]を選ぶ。

FUNCTION
セッテイ [ENT]

3 [ENTER]キーを押す。

セッテイ
ドットイチ ホセイ [ENT]

4 ▲ ▼を押して、[イオナイザー]を選ぶ。

セッテイ
イオナイザー [ENT]

5 [ENTER]キーを押す。

イオナイザー
: ON

6 ▲ ▼を押して、設定値を選ぶ。

- ・ ON: 通常印刷時、印刷開始前および印刷動作中にイオナイザーの電源を入れ除電動作を行います。リバーズ印刷時は、印刷開始前に除電動作を行います。[ビュー]移動中にイオナイザーの電源を入れます。
- ・ OFF: 除電しません。

イオナイザー
: OFF

7 [ENTER]キーを押す。

セッテイ
イオナイザー [ENT]

8 終了するとき、[END]キーを数回押す。

3.11 オートクリーニングの設定

プリント終了後に今までプリントしたファイル数または長さをカウントし、クリーニングが必要な場合は自動的にクリーニングを行うように設定できます。

ヘッドを常に清潔に保つことで、安定した出力結果を持続することができます。

- 1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

- 2 ▲ ▼を押して、[セッテイ]を選ぶ。

FUNCTION
セッテイ [ENT]

- 3 [ENTER]キーを押す。

セッテイ
ドットイチ ホセイ [ENT]

- 4 ▲ ▼を押して、[オート クリーニング]を選ぶ。

セッテイ
オート クリーニング [ENT]

- 5 [ENTER]キーを押す。

オート クリーニング
: OFF

- 6 ▲ ▼を押して、オートクリーニングの種類を選ぶ。

- [オート クリーニング]の"ページ"を選びます。設定した回数のプリントが終了したら、次のプリント開始前に自動的にヘッドクリーニングを行います。
- [オート クリーニング]の設定をしない場合は、"OFF"を選んでから手順11へ進んでください。

オート クリーニング
: ページ

- 7 [ENTER]キーを押す。

- 8 ▲ ▼を押して、クリーニング間隔を設定する。

- 設定値：1～1000ページ

カンカク
= 1 page

- 9 [ENTER]キーを押す。

タイプ
: ソフト

10 ▲ ▼を押して、クリーニングタイプを設定する。

- ・ 設定値: ノーマル/ソフト/ハード

タイプ
: ノーマル

11 [ENTER]キーを押す。

12 終了するとき、[END]キーを数回押す。

-
- 重要!** ・ ヘッド等の状態によっては、本機能を実行してもプリント不良が復旧しない場合があります。この場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
-

3.12 ノズル面の清掃頻度を設定する

プリント開始前またはプリント中に、自動的にヘッドのノズル面の清掃を行い、ノズル面に付着したインク滴を取り除きます。

- 1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

- 2 ▲ ▼を押して、[セッテイ]を選ぶ。

FUNCTION
セッテイ [ENT]

- 3 [ENTER]キーを押す。

セッテイ
ドットイチ ホセイ [ENT]

- 4 ▲ ▼を押して、[ティキ ワイピング]を選ぶ。

セッテイ
ティキ ワイピング [ENT]

- 5 [ENTER]キーを押す。

セッテイ
ティキ ワイピング [ENT]

- 6 ▲ ▼を押して、定期ワイピングの種類を選ぶ。

- [ティキ ワイピング]の"ページ"を選ぶと、設定した回数のプリントが終了したら、次のプリント開始前に自動的にヘッドノズルの清掃を行います。
- [ティキ ワイピング]の"ジカン"を選ぶと、プリント時間が設定した時間を越えたら、自動的にヘッドノズルの清掃を行います。
- [ティキ ワイピング]の設定をしない場合は、"OFF"を選んでから手順9へ進んでください。

ティキ ワイピング
: ページ

- 7 [ENTER]キーを押す。

- 8 ▲ ▼を押して、ワイピング間隔を設定する。

- 設定値（ページ）：1～100ページ
- 設定値（ジカン）：3～50分

カンカク
= 1 page

- 9 [ENTER]キーを押す。

3.13 その他の設定

使い方に合わせて設定を変えてください。

- 1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

- 2 ▲ ▼を押して、[セッテイ]を選ぶ。

FUNCTION
セッテイ [ENT]

- 3 [ENTER]キーを押す。

セッテイ
ドットイチ ホセイ [ENT]

- 4 ▲ ▼を押して設定する項目を選ぶ。

-  「設定機能一覧表」(P. 79) を参照して選んでください。

- 5 [ENTER]キーを押す。

- 6 ▲ ▼を押して設定値を選ぶ。

-  「設定機能一覧表」(P. 79) を参照して選んでください。

- 7 [ENTER]キーを押す。

- 8 終了するとき、[END]キーを数回押す。

重要! ・ 設定した値は、電源をオフにしても保持しています。

3.14 マシン設定

本機を快適に使用するための各種設定です。
マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。

項目		設定値	内容
オートパワーオフ 🔧 「オートパワーオフの設定」 (P. 97)		ナシ/10～30～600min	設定した時間、操作がない場合、自動で電源をオフにします。
ジコクセッテイ 🔧 「ジコクの設定」 (P. 97)		+4h～-20h (日本時間)	現在の日付と時刻を設定します。
タンイ 🔧 「タンイの設定」 (P. 98)	オンド	°C (摂氏) / °F (華氏)	温度の表示単位を設定します。
	ナガサ	mm/inch	長さ、面積の表示単位を設定します。
キーブザー 🔧 「キーブザーの設定」 (P. 99)		ON/OFF	キーを押したときのブザー音を設定します。
LANGUAGE 🔧 「言語の設定」 (P. 100)		English 二ホンゴ Deutsch Français Español Italiano Português	表示言語を変更します。
ネットワーク 🔧 「ネットワークの設定」 (P. 101)	ネットワークの設定をします。		
	IPアドレス確認	現在、本機が使用中のIPアドレスが表示されます。	
	MACアドレス確認	現在、本機が使用中のMACアドレスが表示されます。	
	DHCP	ON/OFF	オンの場合、DHCPサーバーより与えられたIPアドレスを使用します。
	AutoIP	ON/OFF	オンの場合、AutoIPプロトコルにより使用するIPアドレスを決定します。ただし、DHCPがオンの場合はDHCPを優先します。
	IPアドレス ^{*1}	本機が使用するIPアドレスを設定します。	
	デフォルトゲートウェイ ^{*1}	本機が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。	
	DNSアドレス ^{*1}	本機が使用するDNSサーバーのアドレスを設定します。	
	サブネットマスク ^{*1}	本機が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。	
外部停止I/F 🔧 「外部停止I/Fについて」 (P. 102)		ON/OFF	リモート状態で外部停止I/Fが変化した場合、ワーニングを表示しローカルモードへ移行します。
リセット 🔧 「設定した内容を初期状態に戻す」 (P. 109)		——	すべての設定項目を初期値に戻します。

*1. [DHCP]、[AutoIP] が両方オフの場合のみ設定可能

オートパワーオフの設定

設定した時間、操作がない場合、自動で電源をオフにします。

- 1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

- 2 ▲ ▼を押して、[マシン セッテイ]を選ぶ。

FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]

- 3 [ENTER]キーを2回押す。

オート パワーオフ
= 30min

- 4 ▲ ▼を押して、電源をオフにする時間を設定する。

・ 設定値：ナシ, 10～600min

オート パワーオフ
= 60min

- 5 [ENTER]キーを押す。

マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT]

- 6 終了するとき、[END]キーを数回押す。

重要! ・ オートパワーオフした状態でパソコンからデータを受信すると電源オンしますが、自動でプリントを開始しません。

ジコクの設定

お使いの国に合わせた時刻（時差）に設定することができます。

- 1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

- 2 ▲ ▼を押して、[マシン セッテイ]を選ぶ。

FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]

- 3 [ENTER]キーを押す。

マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT]

4 ▲ ▼を押して、[ジコク セッテイ]を選ぶ。

マシン セッテイ
ジコク セッテイ [ENT]

5 [ENTER]キーを押す。

ジコク セッテイ
2018.10.05 21:30:00

6 ▲ ▼ ◀ ▶を押して、時刻を入力する。

- ・ 年月日時分の選択：◀ ▶で選ぶ。
- ・ 年月日時分の入力：▲ ▼で入力。

7 [ENTER]キーを押す。

- ・ 入力した時刻が表示されます。

ジコク セッテイ
2018.10.05 15:30:00

8 終了するとき、[END]キーを数回押す。



- ・ -20～+4時間の間で、設定できます。

タニイの設定

本機で使用する単位を設定します。

1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

2 ▲ ▼を押して、[マシン セッテイ]を選ぶ。

FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]

3 [ENTER]キーを押す。

マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT]

4 ▲ ▼を押して、[タニイ]を選ぶ。

マシン セッテイ
タニイ [ENT]

5 [ENTER]キーを押す。

オンド
: °C [ENT]

6 ▲ ▼ を押して、温度の単位を選ぶ。

- 設定値 : °C/°F

7 [ENTER]キーを押す。

ナガサ
: mm

8 ▲ ▼ を押して、長さの単位を選ぶ。

- 設定値 : mm/inch

9 [ENTER]キーを押す。

マシン セッテイ
タンイ [ENT]

10 終了するとき、[END]キーを数回押す。**キーブザーの設定**

キーを押したときのブザー音を消すことができます。

1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

2 ▲ ▼ を押して、[マシン セッテイ]を選ぶ。

FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]

3 [ENTER]キーを押す。

マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT]

4 ▲ ▼ を押して、[キー ブザー]を選ぶ。

マシン セッテイ
キー ブザー [ENT]

5 [ENTER]キーを押す。

キー ブザー
: ON

- 6 ▲ ▼を押して、"ON"または"OFF"を選ぶ。

キー ブザー
: OFF

- 7 [ENTER]キーを押す。

マシン セッテイ
キー ブザー [ENT]

- 8 終了するとき、[END]キーを数回押す。



- 設定を"OFF"にしても、エラー/ 警告/ 動作完了などのブザー音を消すことはできません。

言語の設定

表示言語を変更します。

- 1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

- 2 ▲ ▼を押して、[マシン セッテイ]を選ぶ。

FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]

- 3 [ENTER]キーを押す。

マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT]

- 4 ▲ ▼を押して、[LANGUAGE]を選ぶ。

マシン セッテイ
LANGUAGE [ENT]

- 5 [ENTER]キーを押す。

LANGUAGE
: English

- 6 ▲ ▼を押して、言語を選ぶ。

- 設定値:
ニホンゴ/English/Deutsch/Français/Español/Italiano/Português

LANGUAGE
: ニホンゴ

7 [ENTER]キーを押す。

マシン セッテイ
LANGUAGE [ENT]

8 終了するとき、[END]キーを数回押す。

ネットワークの設定

1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

2 ▲ ▼を押して[ネットワーク]を選び、[ENTER]キーを押す。

マシン セッテイ
ネットワーク [ENT]

3 [ENTER]キーを押す。

- [IP アドレス カクニン]が選択されます。
- 現在、本機で使用中のIPアドレスが表示されます。
- 確認が終わったら[ENTER] キーを押してください。

ネットワーク
IP アドレス カクニン



- ネットワークに接続後、IPアドレスが確定するまで時間がかかります。IPアドレス未確定の場合、「0.0.0.0」と表示します。

4 ▼を押して、[ENTER]キーを押す。

- [MAC アドレス カクニン]が選択されます。
- 現在、本機で使用中のMACアドレスが表示されます。
- 確認が終わったら[ENTER] キーを押してください。

ネットワーク
MAC アドレス カクニン

5 ▼を押して、[ENTER]キーを押す。

- [DHCP]が選択されます。

ネットワーク
DHCP

6 ▲ ▼を押して"ON"または"OFF"を選び、[ENTER]キーを押す。

DHCP
= ON

- 設定値：ON/OFF
- "ON"の場合、DHCPサーバーより与えられたIPアドレスを使用します。

7 ▼を押して、[ENTER]キーを押す。

- [AutoIP]が選択されます。

ネットワーク
AutoIP

8 ▲ ▼を押して設定値を選び、[ENTER]キーを押す。

- 設定値：ON/OFF
- "ON"の場合、AutoIPプロトコルにより使用するIPアドレスを決定します。ただし、DHCPが"ON"の場合はDHCPを優先します。

AutoIP
= ON

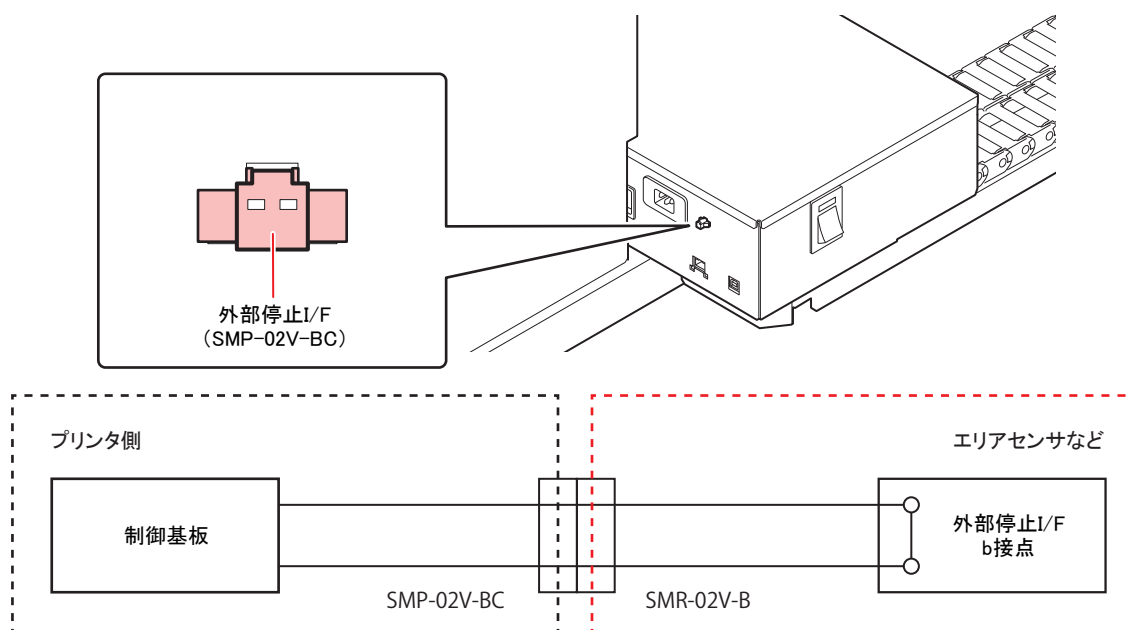
9 終了するとき、[END]キーを数回押す。



- ネットワークの設定を反映するには、一度電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。

外部停止I/Fについて

本機では下図I/F（SMP-02V-BC）に外部停止I/Fを接続することができます。



- 接続コネクタ（SMR-02V-B）をご用意ください。
外部停止I/F仕様：b接点（ノーマリークローズ）



- 外部停止I/Fの電源など、センサライン以外は絶対に接続しないでください。

外部停止I/Fの設定

外部停止I/Fに停止センサーを接続した場合の動作を設定します。

1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

2 ▲ ▼を押して、[マシン セッテイ]を選ぶ。

FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]

3 [ENTER]キーを押す。

マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT]

4 ▲ ▼を押して、[ガイブ I/F]を選ぶ。

マシン セッテイ
ガイブ I/F [ENT]

5 [ENTER]キーを押す。

ガイブ I/F
: OFF

6 ▲ ▼を押して、"ON"または"OFF"を選ぶ。

- ON：外部停止I/Fを使用する。
- OFF：外部停止I/Fを使用しない。

ガイブ I/F
: ON

7 [ENTER]キーを押す。

マシン セッテイ
ガイブ I/F [ENT]

8 終了するとき、[END]キーを数回押す。



- リモート状態で外部停止I/Fが変化した場合は、下記ワーニングを表示してローカルモードに移行します。

ERROR 513
ショウガイブツ センサー

- 障害物を感知した状態では、ワーニングを表示してリモート状態には切り替わりません。
- 内蔵パターン（ノズルチェック、ドット位置補正など）の印刷動作は外部停止I/Fの状態にかかわらず動作を継続します。
- ローカル状態では、外部停止I/Fの検出は常に"OFF"になります。
- お使いになるセンサがI/Fに適合するか分からない場合は、弊社サポートまでご相談ください。

3.15 ノズルチェックメニュー

ノズル抜け検出機能に関するオペレーションを設定します。

ノズルチェックメニュー一覧

項目			設定値	内容
インサツチュウ チェック ☞ 「印刷中ノズルチェックの設定」 (P. 105)			ON/ <u>OFF</u>	オンライン印刷の開始時にノズルチェックしたい場合、オンに設定します。
(ON)	チェック カンカク	ファイル	1～ <u>30</u> ～100ファイル	設定した距離毎にノズルチェックを行います。
		キヨリ	0.1～ <u>30</u> ～50.0m	設定したファイル数毎にノズルチェックを行います。*1
	プリント ケイゾク		ON/ <u>OFF</u>	
	フッキュウ ドウサ	クリーニング	ノーマル/ハード/ <u>ソフト</u>	復旧動作時に行うクリーニングの種類を設定します。
		リトライ カイスウ	<u>0</u> ～3回	設定回数分、リトライ動作を繰り返します。
ジドウ ノズル リカバリ ☞ 「自動ノズルリカバリの設定」 (P. 107)			ON/ <u>OFF</u>	自動でノズルリカバリしたい場合に設定します。
ハンテイ ジョウケン ☞ 「判定条件の設定」 (P. 107)		C, M, Y, K, Lc, Lm, W, Cl, Pr	<u>1</u> ～64	色ごとに何本のノズル抜けを検出したら「ノズル抜け」と判定するか設定します。(1ノズル列最大16本)*2

*1. プリントの途中で設定した距離に達した場合は、次のプリント開始時にノズルチェックを行います。

*2. プリント条件により、ノズルリカバリが適用されない場合があります。

印刷中ノズルチェックの流れ

プリント開始時に以下の流れでノズルチェックを行います。

- 重要!**
- 「印刷中ノズルチェック」の設定を"ON"にすると、有効になります。
 - リトライ、自動ノズルリカバリの設定は、設定が有効な場合のみ行います。

1. ノズルチェック→判定

ノズル抜けを検出します。

2. 復旧動作→ノズルチェック→判定

ノズルチェック後「判定条件」以上のノズル抜けがあった場合、クリーニングを行ってから再度ノズルチェックを行います。

3. リトライ→判定

復旧動作後「判定条件」以上のノズル抜けがあった場合、再度復旧動作を行います。

- 「リトライ回数」の設定を1回以上にすると、有効になります。

4. 自動ノズルリカバリ→判定

ノズル抜け判定最終的に「判定条件」以上のノズル抜けがあった場合は、プリント継続不可能と判定して、プリントを停止します。

- 「自動ノズルリカバリ」の設定を"ON"にすると、有効になります。

5. ノズル抜け判定

最終的に「判定条件」以上のノズル抜けがあった場合は、プリント継続不可能と判定して、プリントを停止します。

「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作

- 「ノズル抜け」と判定された場合プリントを停止します。
 - プリントを停止します。
- ノズルチェック実施中にエラーが発生した場合
 - 印刷を停止し、自動的に「印刷中ノズルチェック」を"OFF"に設定します。エラーから復旧後は、再度「印刷中ノズルチェック」の設定を行ってください。

印刷中ノズルチェックの設定

オンライン印刷の開始時にノズルチェックしたい場合、"ON"に設定します。

1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

2 ▲ ▼を押して、[ノズルチェック]を選ぶ。

FUNCTION
ノズルチェック [ENT]

3 [ENTER]キーを押す。

ノズルチェック
:インサツチュウ チェック

4 ▲ ▼を押して、"ON"を選び、[ENTER]キーを押す。

- ・ 設定値：ON/OFF
- ・ "OFF"を選ぶと、印刷中ノズルチェックは設定されません。

インサツチュウ チェック
= ON

5 [ENTER]キーを押して、[チェック カンカク]を選ぶ。

インサツチュウ チェック
: チェック カンカク

6 ▲ ▼を押して、設定項目を選び、[ENTER]キーを押す。

- ・ 設定値：キヨリ/ファイル
- ・ キヨリ:
プリントした距離が設定した長さに達すると、ノズルチェックを行う。
- ・ ファイル:
プリントしたファイル数が設定した数に達すると、ノズルチェックを行う。

セッテイ
= ファイル

7 ▲ ▼を押して、設定値を選び、[ENTER]キーを押す。

- ・ キヨリ: 0.1～50.0
- ・ ファイル: 1～100

カンカク
= 30

8 ▲ ▼を押して、[プリント ケイソク]を選び、[ENTER]キーを押す。

- ・ [プリント ケイソク]の設定画面が表示されます。

インサツチュウ チェック
: プリント ケイソク

9 ▲ ▼を押して、"ケイソク"または"テイシ"を選び、[ENTER]キーを押す。

- ・ 設定値：ケイソク/テイシ

プリント ケイソク
= ケイソク

10 ▲ ▼を押して、[フッキュウ ドウサ]を選び、[ENTER]キーを押す。

インサツチュウ チェック
: フッキュウ ドウサ

11 ▲ ▼を押して、設定値を選び、[ENTER]キーを押す。

- ・ 設定値：ノーマル/ハード/ソフト

クリーニング
= ソフト

12 ▲ ▼を押して、設定値を選び、[ENTER]キーを押す。

- ・ 設定値：0～3

リトライ カイスウ
= 1

13 終了するとき[END]キーを押す。**自動ノズルリカバリの設定****1** ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

2 ▲ ▼を押して、[ノズルチェック]を選ぶ。

FUNCTION
ノズルチェック [ENT]

3 ▲ ▼を押して、[ジドウ ノズル リカバリ]を選ぶ。

ノズルチェック
: ジドウ ノズル リカバリ

4 ▲ ▼を押して、"ON"を選び、[ENTER]キーを押す。

- ・ 設定値：ON/OFF
- ・ "OFF"を選ぶと、自動ノズルリカバリは設定されません。

ジドウ ノズル リカバリ
= ON

5 終了するとき[END]キーを押す。**判定条件の設定****1** ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

2 ▲ ▼を押して、[ノズルチェック]を選ぶ。

FUNCTION
ノズルチェック [ENT]

3 ▲ ▼を押して、[ハンティ ジョウケン]を選ぶ。

ノズルチェック
:ハンティ ジョウケン

4 ▲ ▼を押して、設定値を選び、[ENTER]キーを押す。

- 設定値：1～64
- [ENTER]キーを押すごとに対象の色が切り替わります。

C
= 1



• インクセットにより、表示される色は異なります。

5 終了するとき[END]キーを押す。

3.16 設定した内容を初期状態に戻す

[セッテイ][メンテナンス][マシン セッテイ]で設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- 1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

- 2 ▲ ▼を押して、[マシン セッテイ]を選ぶ。

FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]

- 3 [ENTER]キーを押す。

マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT]

- 4 ▲ ▼を押して、[リセット]を選ぶ。

マシン セッテイ
リセット [ENT]

- 5 [ENTER]キーを押す。

セッテイチスベテリセットサレマス
ヨロシイデスカ? [ENT]

- 6 [ENTER]キーを押す。
 - ・ 設定を初期化します。

リセット
ジッコウ [ENT]

- 7 終了するとき、[END]キーを数回押す。

3.17 本機の情報を確認する

本機の情報を確認できます。

確認できる情報は、次の項目です。

項目		内容
ショウ ジョウキョウ  「使用状況を確認する」 (P. 110)	ワイピング	本機の使用状況を確認します。
	プリント チョウ	
	プリント メンセキ	
	ショウ ジカン	
	ハイ インクタンク	
	UV ランプ	
バージョン  「バージョン情報を確認する」 (P. 111)		本機のファームウェアバージョンを確認します。

使用状況を確認する

ワイピング情報や本機でプリントした長さなど、本機の情報を確認できます。

1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

2 ▲ ▼を押して、[ジョウホウ]を選ぶ。

FUNCTION
ジョウホウ [ENT]

3 [ENTER]キーを押す。

ジョウホウ
ショウ ジョウキョウ [ENT]

4 [ENTER]キーを押す。

- ・ワイピング情報を表示します。
- ・[ENTER]キーを押すごとに、次の情報が順次が表示されます。

ワイピング
= 0

ワイピング	ワイピング情報を表示	ワイピング = 0
プリント チョウ	これまでにプリントした長さを表示	プリント チョウ = 0m
プリント メンセキ	これまでにプリントした面積を表示	プリント メンセキ = 0m²

ハイ インクタンク	廃インクタンクの使用量をを表示	ハイ インクタンク = 0%
UV ランプ	UVランプ1, 2 の使用時間を表示	UVランプ1 : LED A = 0h
ショウジカン	総電源ON時間を表示	ショウジカン = 0h

バージョン情報を確認する

- 1 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
ビュー [ENT]

- 2 ▲ ▼を押して、[ジョウホウ]を選ぶ。

FUNCTION
ジョウホウ [ENT]

- 3 [ENTER]キーを押す。

ジョウホウ
シヨウ ジョウキョウ [ENT]

- 4 ▲ ▼を押して、[バージョン]を選ぶ。

ジョウホウ
バージョン [ENT]

- 5 [ENTER]キーを押す。

- ・ [エラーリレキ]を選んだ場合、本機のエラー履歴情報を表示します。
- ・ [バージョン]を選んだ場合、本機のバージョン情報を表示します。
- ・ [リスト]を選んだ場合、本機の設定内容がプリントされます。
- ・ [インクコウカンレポート]を選んだ場合、本機で使用したインクの履歴がプリントされます。

表示される情報について

表示させた情報の見方を説明します。

エラーリレキ	発生年月日を表示	[00000] 2018/07/19 22:13:00
	◀ ▶でエラー内容を表示	ERROR 12a ***** HDC SPEED
バージョン	ファームウェアなどのバージョン情報を表示	JFX200-2513EX V1.00 MRL-III V2.20

その他の情報を表示する

1 ローカルで、[ENTER]キーを押す。

***インク	MMCCYYKK
ザンリョウ	99999999

2 [ENTER]キーを押すごとに、情報が順次表示される。

- 以下のような情報が表示されます。
- インク残量

ボトル 1-C : キゲン	25/11
ザンリョウ	48%

- インクセット

インクセット	
CMWWYKPCL	(PR-200)

- ヘッドギャップ

ヘッド ギャップ	
=	2.0 mm

- メディア厚さ

メディア アツサ	
=	2.5mm

- XYゲンテン

XYゲンテン	
X=0	Y=430

- シリアル番号

シリアル No.	
: ****	****

- バージョン

JFX200-2513EX	V1.00
MRL-III	V2.20

- メイン基板情報

MAIN PCB	EPL**
----------	-------

- LANステータス

LANステータス	
セツゾクナシ	

- ノズルチェック

ノズルチェック	C
=	0

3 [ENTER]キーを押して、ローカルに戻る。

電源オフ中の循環動作・攪拌動作を停止するには

白インク搭載時、本機の電源がオフになっていても、定期的に本機を起動してインクの沈降を防止するための循環動作や攪拌動作を行います。（動作中はディスプレイ下段に残り時間を表示します。）

循環動作中

ジュンカン チュウ
0 : 09 : 40

攪拌動作中

カクハン チュウ
0 : 12 : 35

循環または攪拌動作を中止し、本機を使用可能な状態にしたいときは、[END]キーを押してください。
[END]キーを押すと、動作の継続/中断の選択画面を表示します。

循環動作中

ジュンカン チュウ
ケイゾク < >チュウシ

攪拌動作中

カクハン チュウ
ケイゾク < >チュウシ

- 循環・攪拌動作を継続する場合:
◀を押す（動作中の表示に戻ります）
- 循環・攪拌動作を中断する場合:
▶を押す（初期動作後、ローカル画面になります）

第4章 メンテナンス



この章では...

日常行っていただくお手入れ方法やインクカートリッジのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

日常のお手入れ	116	オートメンテナンス機能	150
お手入れのご注意	116	リフレッシュ間隔を設定する	150
メンテナンス液について	116	クリーニング間隔を設定する	151
お手入れを行うタイミング	117	消耗品の交換	152
外装のお手入れ	118	ワイパーを交換する	152
テーブルのお手入れ	118	キャリッジフィルターの交換	153
MBISのお手入れ	119	廃インクの廃棄	154
LMガイドの清掃	119	廃インクタンク確認メッセージが表示される 前に廃インクタンクを交換する場合 (1)	157
イオナイザーのお手入れ	119		157
キャッピングステーションのメンテナンス	120	廃インクタンク確認メッセージが表示される 前に廃インクタンクを交換する場合 (2)	158
ワイパーとキャップの清掃	120		158
NCUの清掃	126	インクボトルキャップの交換	158
ステーション周辺の清掃	127	冷却水の補充について	159
インク排出路の洗浄	128	冷却水を補充する	160
長期間使用しない場合	129	フラッシングフィルターについて	162
ヘッド周辺のメンテナンス	132	フラッシングフィルターを交換する	162
LED UVユニットの清掃	133	交換メッセージが表示される前にフラッシン グフィルターを交換する	162
ヘッドノズル面のメンテナンス	134		
ノズル詰まりが復旧しない場合	136		
サブタンクからヘッドまでのインク充填を行 う	136		
ヘッドノズルの洗浄	137		
ヘッドノズルの洗浄(PR-200インク使用時)	139		
空気抜きを行う	142		
ノズルリカバリ機能	146		

4.1 日常のお手入れ

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れのご注意

本機のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。



- LED UV装置は非常に高温になります。メンテナンスを行う時は、LED UV装置消灯後、十分温度が下がってから行ってください。やけどのおそれがあります。



- 電源ボタンをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。
- 長期間使用しない場合は、必ず電源ケーブルをコンセントから抜き、セットしてあるメディアを取り除いてください。



- インク、メンテナンス用洗浄液を取り扱う場合は、換気に十分注意して、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入るおそれがあります。



- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。
- メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。
- UVインク（紫外線硬化インク）は、水やアルコールと混ざると凝集物が発生します。ノズル面およびヘッド周辺やキャップ、ワイパーなどへは、水またはアルコールを付着させないようにご注意ください。



- 本機やインクボトルの分解・改造は、絶対に行わないでください。感電や故障の原因になります。



- 本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。

メンテナンス液について

メンテナンス液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス液
UVインク	- F-200/LF-200 メンテナンス液（品番：SPC-0568） - F-200/LF-200 メンテナンス液キット（品番：SPC-0569）

お手入れを行うタイミング

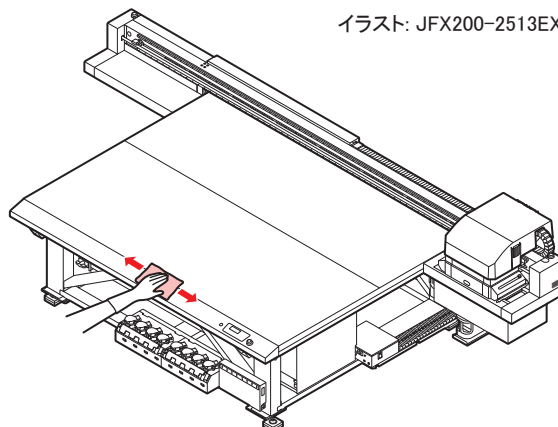
お手入れを行うタイミング	お手入れ項目（参照ページ）
毎日（1日の作業終了後）	☞ 「ヘッド周辺のメンテナンス」 （P. 132）
	☞ 「ヘッドノズル面のメンテナンス」 （P. 134）
	☞ 「ワイパーとキャップの清掃」 （P. 120）
	☞ 「NCUの清掃」 （P. 126）
1週間に2回	☞ 「ヘッドノズルの洗浄(PR-200インク使用時）」 （P. 139）（PR-200Ver.2の場合）
1週間に1回（週末の作業後）	☞ 「外装のお手入れ」 （P. 118）
	☞ 「テーブルのお手入れ」 （P. 118）
	☞ 「インク排出路の洗浄」 （P. 128）
	☞ 「廃インクを廃棄する」 （P. 155）
	☞ 「ステーション周辺の清掃」 （P. 127）
1~2週間に1回程度	☞ 「キャリッジフィルターの交換」 （P. 153）
	☞ 「MBISのお手入れ」 （P. 119）
1ヶ月に1回	☞ 「ヘッドノズルの洗浄(PR-200インク使用時）」 （P. 139）（PR-200Ver.3の場合）
エラーが表示された場合	☞ 「冷却水を補充する」 （P. 160）
	☞ 「ワイパーを交換する」 （P. 152）
必要に応じて行うお手入れ	☞ 「LED UVユニットの清掃」 （P. 133）
	☞ 「イオナイザーのお手入れ」 （P. 119）
	☞ 「インクボトルキャップの交換」 （P. 158）

お手入れに必要な道具	
F-200/LF-200 メンテナンス洗浄液（品番：SPC-0568）	PR-200 メンテナンス洗浄液（品番：C-ML013-Z-B2-1-KW） *PR-200インク使用時
綿棒	ヘッド周辺用クリーンスティック（品番：SPC-0527）
柔らかい布	手袋

外装のお手入れ

使用環境により、本体の外装には塵や砂埃が付着することがあります。ヘッド移動部へのホコリの進入を防ぐために、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってからふき取ってください。

イラスト: JFX200-2513EX



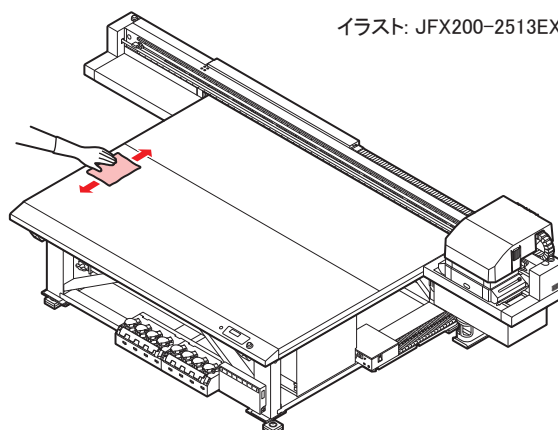
テーブルのお手入れ



- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。

汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

イラスト: JFX200-2513EX



- テーブル清掃に、アセトン等の有機溶剤を使用しないでください。テーブルが破損する恐れがあります。テーブルが破損した場合は現場での修復は不可能です。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

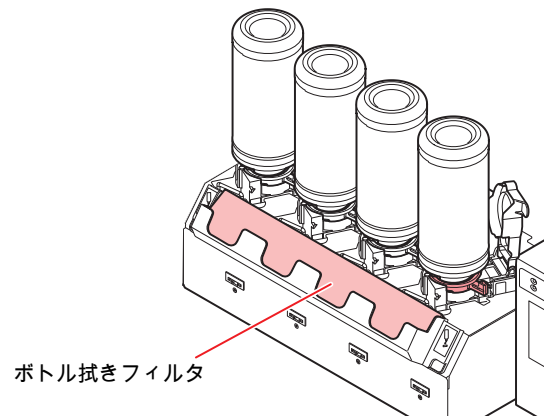


- どうしてもIPAやエタノールを使用してテーブル面に付着したインクや色移りを清掃したい場合は、柔らかい布または、ペーパータオル等に有機溶剤を少量含ませてからふき取ってください。この時、テーブル内部に有機溶剤が絶対に染み込まないように注意してください。
- やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで、ゴミやインク固形物などをこまめに除去してください。
- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。
- テーブル周囲の溝やネジ穴などは、特に汚れがたまりやすいため、こまめに清掃をしてください。
- 板面に硬化してしまったインクを、ヘラ等を使って除去することも可能ですが、板面をキズ付けないよう十分注意してください。

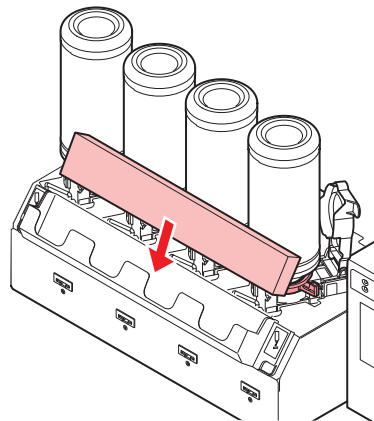
MBISのお手入れ

ボトル拭き取りフィルタ（品番：SPC-0820）の汚れが気になるときに交換してください。

1 ボトル拭き取りフィルタを取り出す。



2 新しいボトル拭き取りフィルタ（品番：SPC-0820）を取り付ける。



LMガイドの清掃

LMガイドが汚れたときは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。

重要! ・ エタノールで拭かないでください。

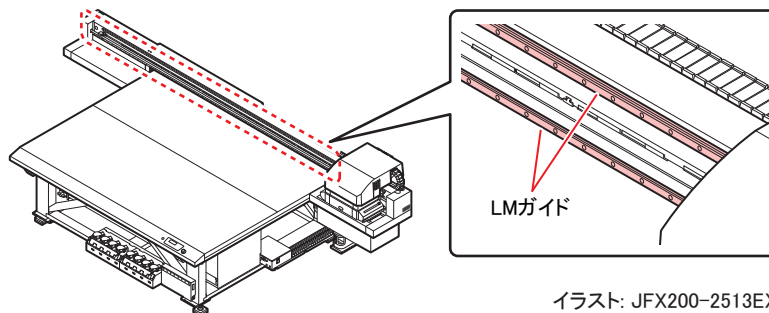


イラスト: JFX200-2513EX

イオナイザーのお手入れ

イオナイザー（オプション）の取扱説明書に従って、メンテナンスを行ってください。

4.2 キャッピングステーションのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパーなどのメンテナンスをします。（ステーションメンテナンス）

インクキャップやワイパーは、それぞれ次のような働きをしています。

- ワイパー：
ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
- インクキャップ：
ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する

本機を使用していると、インクやホコリなどでワイパーやインクキャップが汚れてきます。

ヘッドクリーニングを実行（）「ヘッドクリーニング」（P. 65）しても、ノズル抜けが解消されない場合は、メンテナンス用洗浄液とクリーンスティックを使用して清掃を行います。

メンテナンスに必要な道具	• F-200/LF-200 メンテナンス用洗浄液（品番：SPC-0568）	• 保護メガネ
	• ヘッド周辺用クリーンスティック（品番：SPC-0527）	• 手袋



- キャッピングステーションのメンテナンスを行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。



- キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、[MAINT.]キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。
 「ワイパーとキャップの清掃」（P. 120）（手順1～2）
- キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパーは、必ず毎日メンテナンスをおこなってください。汚れたままにした場合、ノズル面に汚れが付着したり、ノズルにゴミや凝固インクをこすりつけ、吐出不良が発生する恐れがあります。

ワイパーとキャップの清掃

重要!

- 週に2回程度（プリンタの使用頻度により異なります）、ワイパーと周辺の清掃をしてください。
- ワイパーの汚れ、曲がりなどがひどい場合は、新しいワイパーと交換してください。
 「ワイパーを交換する」（P. 152）
- 清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、プリント不良の原因になります。

1 ローカルで、[MAINT.]キーを押す。

キャリッジ アウト

[ENT]

2 [ENTER]キーを押す。

イドウイチ

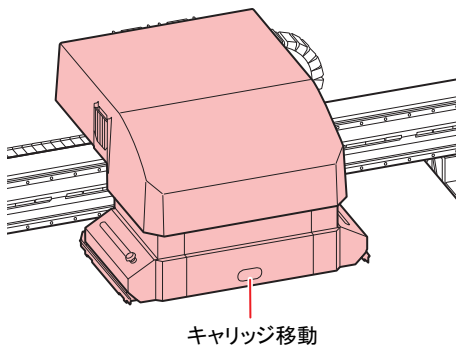
: ステーション メンテナンス

3 ▲ ▼を押して、[ステーション メンテナンス]を選ぶ。

イドウイチ
: ステーション メンテナンス

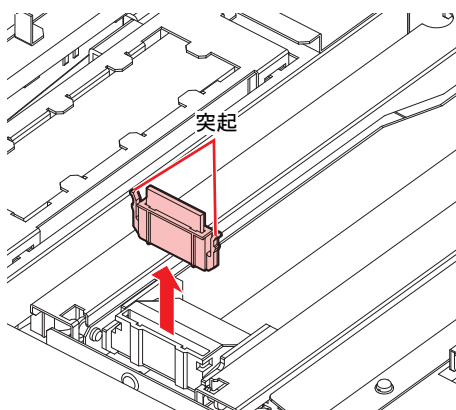
4 [ENTER]キーを押す。

- キャリッジがテーブル上に移動します。



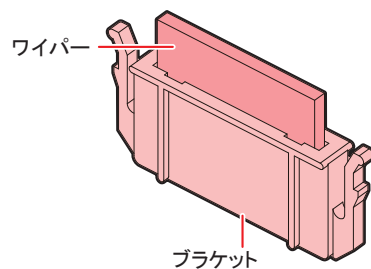
5 ワイパーを取り出す。

- ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



6 ワイパーとブラケットを清掃する。

- ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス用洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス用洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



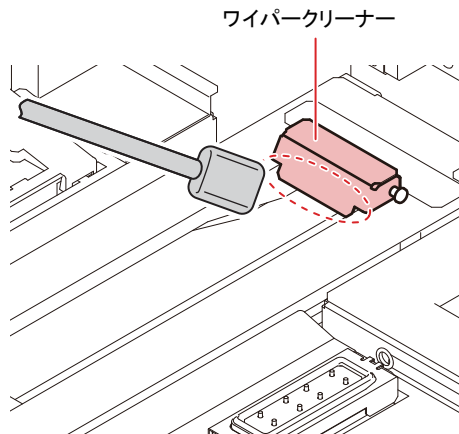
-
- 重要!** ・ 写真のような状態になるまで、清掃してください。



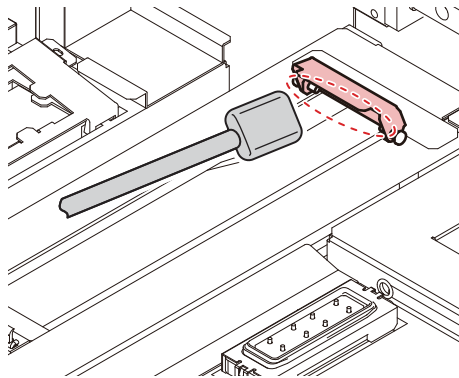
- ・ 清掃後はワイパーとブラケットが水平になっていることを確認してください。
-

7 ワイパークリーナーを清掃する。

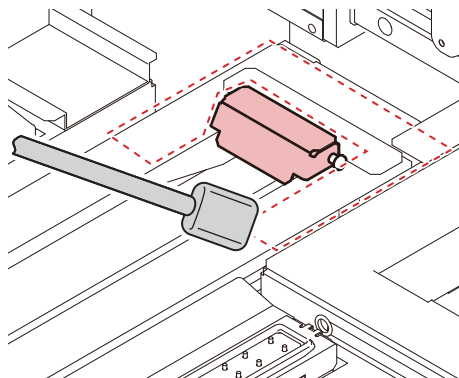
- ワイパークリーナーの先端をクリーンスティックで拭き取ります。



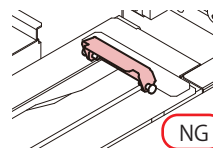
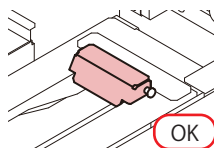
- ワイパークリーナーを上へ持ち上げて、内部に付着したインクをクリーンスティックで清掃します。



- ワイパークリーナーの周辺を清掃します。

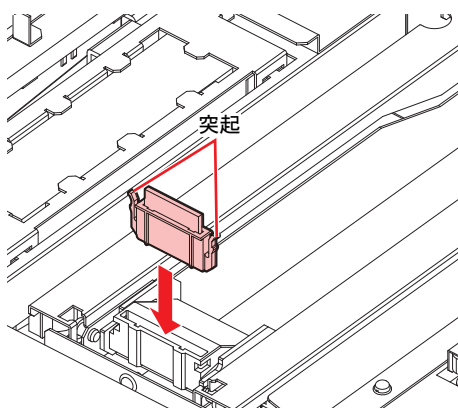


- ワイパークリーナーはブラケットから取り外さないでください。
- ワイパークリーナーのワイパーは、表面のみ清掃します。(裏面は清掃の必要はありません)
- ワイパークリーナー清掃後は、クリーナーが上を向いていないことを確認してください。



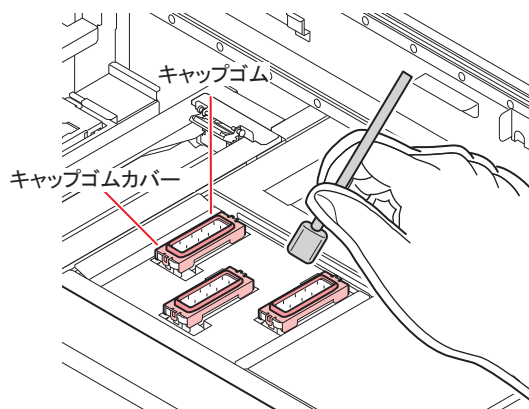
8 ワイパーを元の位置に戻す。

- ワイパーの両端を持って差し込みます。

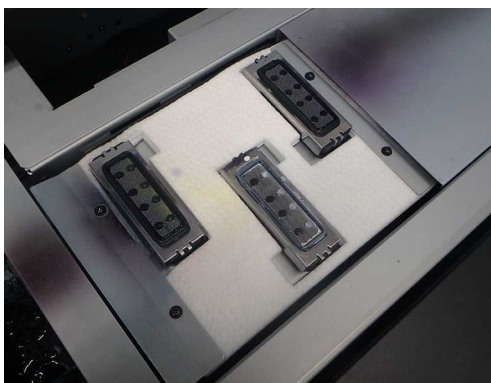


9 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する。

- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス用洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
メンテナンス用洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



重要! ・写真のような状態になるまで、清掃してください。



- 清掃後は、キャップゴムやキャップ内メッシュが外れていないことを確認してください。

10 清掃が終了したら、[ENTER]キーを押す。

- 初期動作後、手順1の表示に戻ります。

[MAINT.]キーを使わずにステーションメンテナンスをするには

[MAINT.]キーを押さずに、ローカルから[FUNCTION]キーを使って[ステーション メンテナンス]を選ぶことができます。

- 1 ローカルで[FUNCTION]キーを押す。
- 2 ▲ ▼を押して[メンテナンス]を選ぶ。
- 3 [ENTER]キーを2回押す。
 - ローカルから[MAINT.]キーを押したときと同じ状態になります。

NCUの清掃

NCUにはインクやホコリが付着します。

インクやホコリが付着していると、正常な動作ができなくなる場合があります。

- 1 ローカルで、[MAINT.]キーを押す。

キャリッジ アウト

[ENT]

- 2 [ENTER]キーを押す。

イドウ イチ

: ステーション メンテナンス

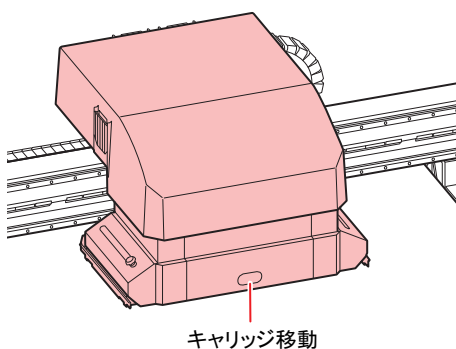
- 3 ▲ ▼を押して、[ステーション メンテナンス]を選ぶ。

イドウ イチ

: ステーション メンテナンス

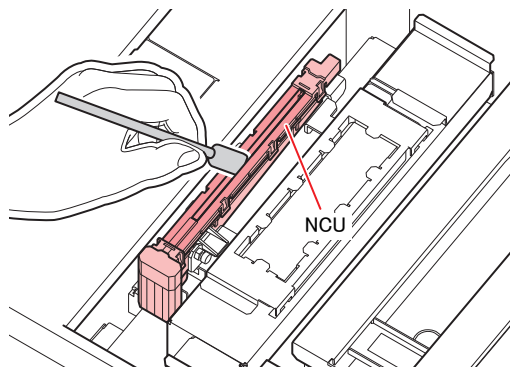
- 4 [ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがテーブル上に移動します。



- 5 NCUに付着したインクやホコリを拭き取る。

- ・ メンテナンス用洗浄液を含ませたクリーンスティック（SPC-0421）で、表面と内側を拭き取ります。
- ・ メンテナンス用洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



- 6 清掃が終了したら、[ENTER]キーを押す。

- ・ 初期動作後、手順1の表示に戻ります。

ステーション周辺の清掃

画質や本機の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。

- 重要!**
- 週に2回程度（プリンタの使用頻度により異なります）、ステーション周辺の清掃をしてください。
 - 廃インクトレイに残っているインクがUV光により硬化すると、フラッシング時に吐出したインクが廃インクボトルに移動できなくなります。廃インクトレイはこまめに清掃されることをお勧めします。

1 ローカルで、[MAINT.]キーを押す。

キャリッジ アウト

[ENT]

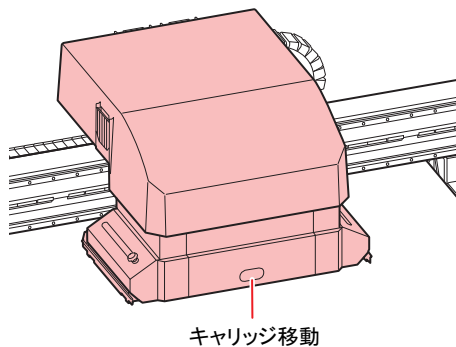
2 [ENTER]キーを押す。

イドウ イチ

: ステーション メンテナンス

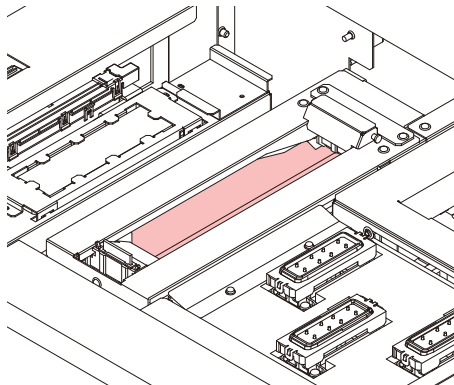
3 ▲ ▼を押して、[ステーション メンテナンス]を選び、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがテーブル上に移動します。
- 廃インクトレイを清掃してください。



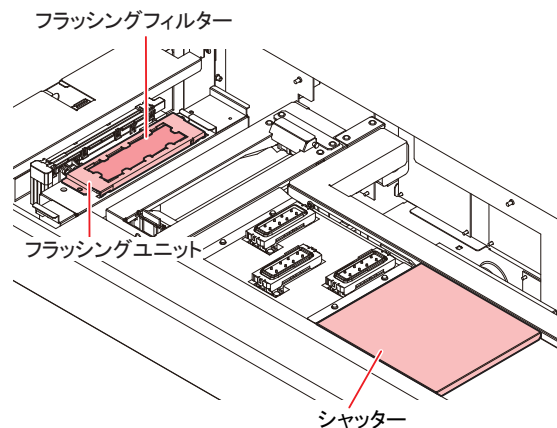
4 ウェスなどを使って、廃インクトレイ周辺に付着したインクを拭き取る。

- 下図の灰色部分を清掃してください。
- インクが固着して拭き取れない場合は、へらなどを使ってこそぎ落としてください。



5 フラッシングユニットやシャッター部に付着したインクを拭き取る。

- ・ クリーンスティックにメンテナンス用洗浄液を含ませ、付着したインクを拭き取ります。メンテナンス用洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



- 重要!**
- ・ フラッシングフィルターの表面が毛羽立っている場合は、メンテナンス用洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ってください。
 - ・ 汚れがひどいときや、硬化してしまった場合は、フラッシングフィルターを交換してください。☞ [「フラッシングフィルターについて」](#) (P. 162)

6 清掃が終了したら、[ENTER]キーを押す。

- ・ 初期動作後、手順1の表示に戻ります。

インク排出路の洗浄

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的にインク排出路の洗浄をしてください。

1 ローカルで、[MAINT.]キーを押す。

キャリッジ アウト

[ENT]

2 ▲ ▼を押して、[ハイロ センジョウ]を選ぶ。

ハイロ センジョウ

[ENT]

3 [ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがテーブル上に移動します。
- ・ 空吸引動作を洗浄の作業が終わるまで繰り返し行います。

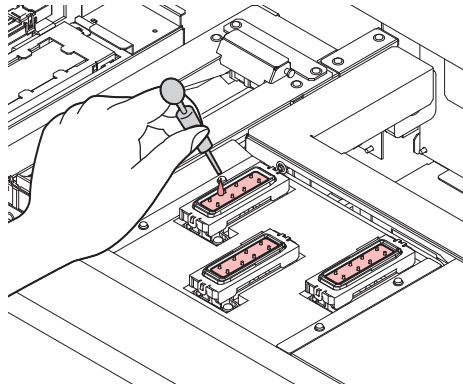
ハイロ センジョウ

シュウリョウ

[ENT]

4 スポイトにメンテナンス用洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす。

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



5 [ENTER]キーを押す。

- 30秒間空吸引を実行した後、手順2の表示に戻ります。

ハイロ センジョウ
シバラク オマチクダサイ

長期間使用しない場合

1週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排出路をクリーニングしてください。その後、本機を保管してください

事前に確認してください

[インク エンド]は表示していませんか？

- 洗浄動作の際に、インクの吸引を行います。このとき、インクエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。
- インクエンドを、未検出のインクボトルに交換してください。

1 ローカルで、[MAINT.]キーを押す。

キャリッジ アウト

[ENT]

2 ▲ ▼を押して、[ホカン センジョウ]を選ぶ。

ホカン センジョウ

[ENT]

3 [ENTER]キーを押す。

- キャリッジがテーブル上に移動します。

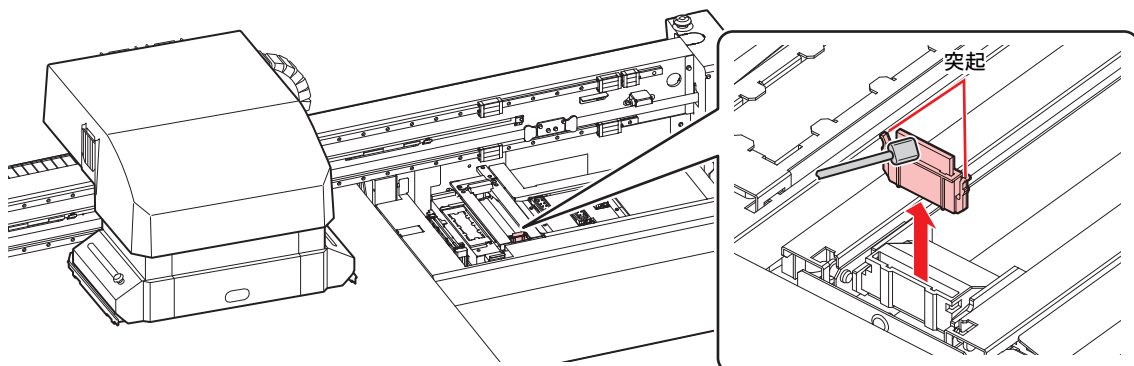
ワイパー クリーニング

シュウリョウ(ツギへ) [ENT]

(重要!) • ワイパーとブラケットの清掃が終了するまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギへ) :ENT] が表示されます。手順4の作業が完了してから[ENTER]キーを押してください。クリーニングが終了する前に[ENTER]キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4 ワイパーとブラケットを清掃する。

- (1) ワイパー両端の突起を持って引き抜く。
- (2) クリーンスティックにメンテナンス用洗浄液を含ませて清掃する。
 - ・ メンテナンス用洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む。



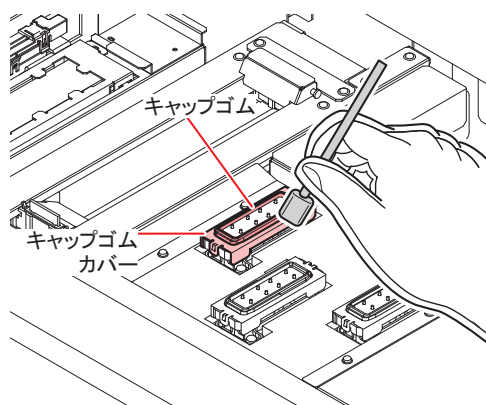
5 [ENTER]キーを押す。

キャップ クリーニング
シュウリョウ(ツギへ) [ENT]

- 重要!** ・ キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギへ):ENT]が表示されます。手順6の作業が完了してから[ENTER]キーを押してください。クリーニングが終了する前に[ENTER]キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

6 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する。

- ・ キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス用洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
メンテナンス用洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- ・ このとき、自動的に排出路が洗浄されます。



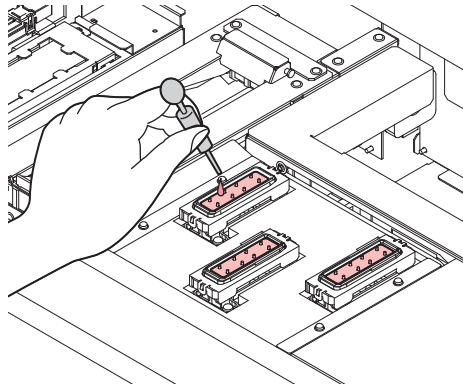
7 [ENTER]キーを押す。

センジョウエキ ラミタス
シュウリョウ(ツギへ) [ENT]

- 重要!** ・ 洗浄液を満たすまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギへ):ENT]が表示されます。手順8の作業が完了してから[ENTER]キーを押してください。洗浄液を満たす前に[ENTER]キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

8 スポイトにメンテナンス用洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす。

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



9 ▲ ▼を押して放置時間を入力します。（F/W Ver2.6以降より対応）

10 [ENTER]キーを押す。

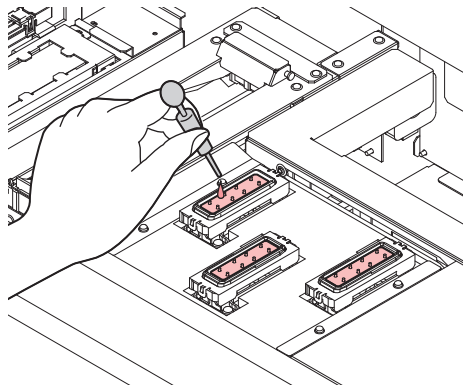
- ノズルの洗浄を実行します。
- ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドが移動します。

シバラク オマチクダサイ
00:00

** クリーニング **
シバラク オマチクダサイ

11 スポイトにメンテナンス用洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす。

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



12 [ENTER]キーを押す。

- 初期動作後、手順2の表示に戻ります。

ハイロ センジョウ
シバラク オマチクダサイ

重要!

- 本機はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用（出力）されないときには、定期的に微量のインクを吐出（フラッシング）させる必要があります。
- 保管洗浄機能の実行後は、前面の電源ボタンのみをオフにしてください。右側面の主電源スイッチはオン（Iの状態）およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。

4.3 ヘッド周辺のメンテナンス

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。

スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具	ヘッド周辺用クリーンスティック（品番：SPC-0527）	保護メガネ	手袋
----------	--	---	--



- インクが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに石けんや水で洗い流してください。万一インクが目に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。



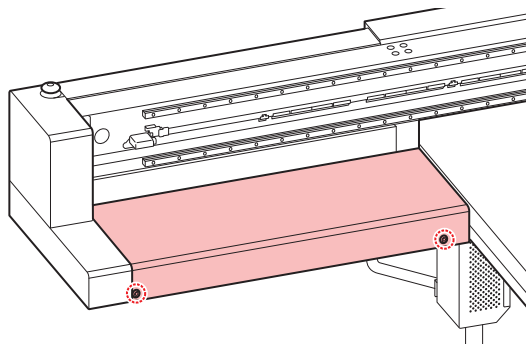
- インク、メンテナンス用洗浄液を取り扱う場合は、換気に十分注意して、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入るおそれがあります。



- キャリッジ下面がインクやホコリの付着により汚れないように、必ず毎日清掃をおこなってください。汚れたままの状態にしておくと、ヘッドクリーニング時のワイブ動作でノズルにゴミや凝固インクをこすり付けてしまう恐れがあります。
- キャリッジ下面を清掃する場合、ノズル面をこすらないよう、十分に注意してメンテナンスをおこなってください。

1 Yバー左側のカバーを外す。

- ネジ（2箇所）を外して、カバーを取り外します。



2 ローカルで、[MAINT.]キーを押す。

キャリッジ アウト

[ENT]

3 [ENTER]キーを押す。

イドウ イチ

: ステーション メンテナンス

4 ▲ ▼を押して、[ヘッド メンテナンス]を選ぶ。

イドウ イチ

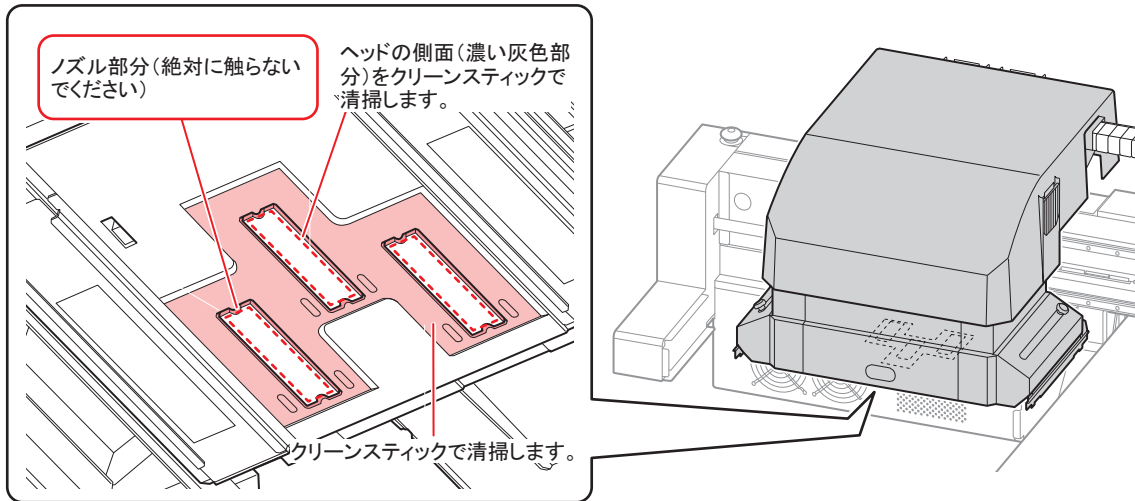
: ヘッド メンテナンス

5 [ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジが、本機の左端まで移動します。

6 ヘッドの側面やキャリッジ下面などに付着したインクをクリーンスティックで拭き取る。

- ・ ノズル部分は、絶対にこすらないでください。



- 重要!**
- ・ 写真のような状態になるまで、清掃してください。
 - ・ ノズル面にキャップゴムの形が付いている場合、ノズル面も清掃してください。
 - ・ メンテナンス途中で席を離れる場合、[ENTER]キーを押して清掃を終了してください。そのまま放置すると、外光の影響でインクが硬化し、ノズル詰まり等の弊害を及ぼす恐れがあります。



7 清掃が終了したら、[ENTER]キーを押す。

ヘッド メンテナンス
シュウリョウ [ENT]

LED UVユニットの清掃

LED UVに付着したインクやホコリなどを定期的に清掃してください。

- 重要!**
- ・ LED UVの清掃時には、ユニット下面の照射部を傷つけないように注意して、丁寧に清掃してください。照射部に一定以上の汚れや遮光物があると、インクの硬化不良によるバンディングが発生する原因になります。

4.4 ヘッドノズル面のメンテナンス

吐出の抜けや曲がりの予防としてヘッドノズル面をメンテナンス液11、またはメンテナンス液15で清掃してください。



- ヘッドノズル面の清掃は、メンテナンス液11、メンテナンス液15以外は使用しないでください。本機の故障や吐出不良の原因になります。



- プリントヘッドは非常に繊細なメカニズムを採用しております。お手入れの際には十分に注意してください。

清掃に必要な道具

- ヘッド周辺用クリーンステック（品番：SPC-0527）
- メンテナンス液11
- メンテナンス液15



- インクが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに石けんや水で洗い流してください。万一インクが目に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。



- インク、メンテナンス用洗浄液を取り扱う場合は、換気に十分注意して、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入るおそれがあります。

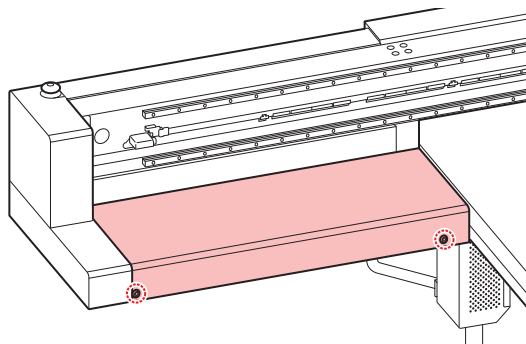


1 ヘッドクリーニング[ノーマル]を実施する。☞「ヘッドクリーニング」（P. 65）

- ノズル面にインクの付着がないように、メンテナンス前にクリーニングを実施してください。

2 Yバー左側のカバーを外す。

- ネジ（2箇所）を外して、カバーを取り外します。



3 ローカルで、[MAINT.]キーを押す。

キャリッジ アウト

[ENT]

4 [ENTER]キーを押す。

イドウ イチ

: ステーション メンテナンス

5 ▲ ▼を押して、[ヘッド メンテナンス]を選ぶ。

イドウ イチ

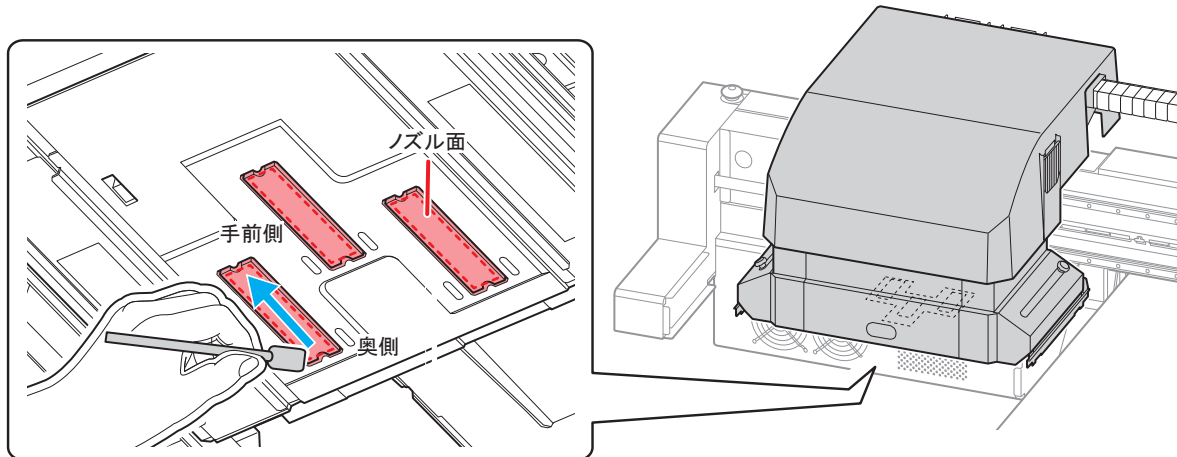
: ヘッド メンテナンス

6 [ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジが、本機の左端まで移動します。

7 クリーンスティックにメンテナンス液を染み込ませる。**8** プリントヘッドノズル面を清掃する。

- ・ ヘッドの奥側から手前に向けて、クリーンスティックでヘッドノズル面を清掃してください。



- ・ 必ずクリーンスティックで清掃してください。
- ・ ノズル面をこすったり、スポンジ部を指で強く押さえつけたりしないでください。ノズル面が傷つき、吐出不良の原因になります。
- ・ 一度使用したクリーンスティックは再利用しないでください。ノズル詰まりの原因になります。

9 清掃が終了したら、[ENTER]キーを押す。

ヘッド メンテナンス
シュウリョウ

[ENT]

10 ヘッドクリーニング[ノーマル]を実施する。☞ 「ヘッドクリーニング」 (P. 65)

4.5 ノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニング^④「ヘッドクリーニング」(P. 65)をしても、ノズル詰まりが改善しない場合、次の機能を実行してください。

ヘッド ジュウテン	ヘッドにインクを充填します。 サブタンクからヘッドまでのインク充填を行う
ノズル センジョウ	ヘッドノズルを洗浄します。 ^④「ヘッドノズルの洗浄」(P. 137)
ノズル リカバリ	ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルでプリントします。 ^④「ノズルリカバリ機能」(P. 146)

サブタンクからヘッドまでのインク充填を行う

1 [メンテナンス]メニューの[ヘッド ジュウテン]を選ぶ。

- (1) ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。
- (2) ^④ ^④を押して[メンテナンス]を選び、[ENTER]キーを押す。
- (3) ^④ ^④を押して[ヘッド ジュウテン]を選ぶ。
- (4) [ENTER]キーを押す。

2 [ENTER]キーを押す。

サブタンク センタク
:CMYKYMCCICIWW

3 [ENTER]キーを押す。

** イドウチュウ **
シバラクオマチクダサイ

4 [ENTER]キーを押す。

- ヘッドにインクを充填する動作を開始します。

** ジュウテン **
シバラク オマチクダサイ

- 充填が完了すると、下の画面を表示します。

ヘッド ジュウテン
シュウリョウ< >リトライ

5 ^④を押して、"シュウリョウ"を選ぶ。

- 再度充填を行う場合は、^④を押して、手順2からの操作をしてください。

6 終了するとき、[END]キーを数回押す。

ヘッドノズルの洗浄

インクの凝固によるインク詰まりのを防止するため、ヘッドノズルの洗浄を行います。

事前に確認してください

[インク エンド]は表示していませんか？

- 洗浄動作の際に、インクの吸引を行います。このとき、インクエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。
- インクエンドを検出していない、新品のインクボトルに交換してください。

1 ローカルで、[MAINT.]キーを押す。

キャリッジ アウト

[ENT]

2 ▲ ▼を押して、[ノズル センジョウ]を選ぶ。

ノズル センジョウ

[ENT]

3 [ENTER]キーを押す。

- キャリッジが移動します。

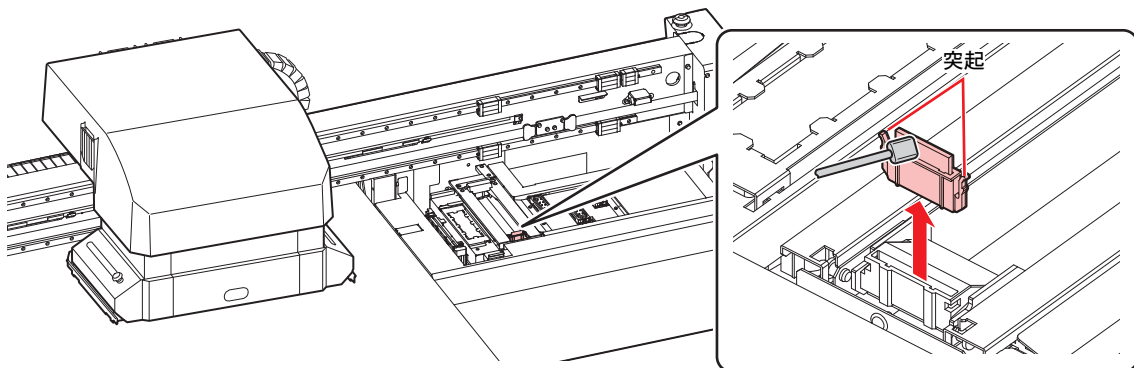
ワイパー クリーニング

シュウリョウ(ツギへ) [ENT]

重要! • ワイパーのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギへ) : ENT]が表示されます。手順4の作業が完了してから[ENTER]キーを押してください。クリーニングが終了する前に[ENTER]キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4 ワイパーとブラケットを清掃する。

- (1) 右メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く。
- (2) クリーンスティックにメンテナンス用洗浄液を含ませて清掃する。
 - メンテナンス用洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む。



5 [ENTER]キーを押す。

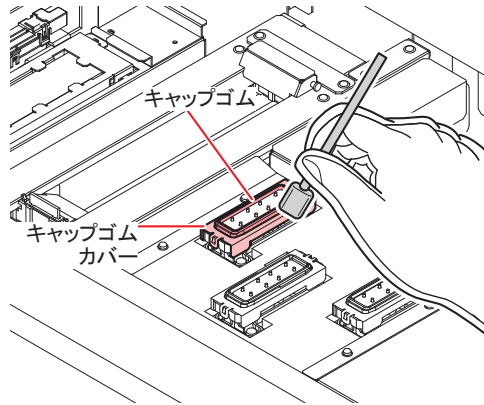
キャップ クリーニング

シュウリョウ(ツギへ) [ENT]

- 重要!** ・ キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギへ) : ENT] が表示されます。手順6の作業が完了してから[ENTER]キーを押してください。クリーニングが終了する前に[ENTER]キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

6 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する。

- ・ キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス用洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス用洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- ・ このとき、自動的に排出路が洗浄されます。



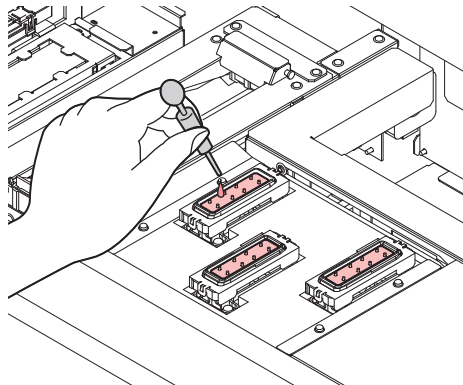
7 [ENTER]キーを押す。

センジョウエキ ラミタス
シュウリョウ(ツギへ) [ENT]

- 重要!** ・ 洗浄液を満たすまで、ディスプレイには[シュウリョウ (ツギへ) : ENT] が表示されます。手順8の作業が完了してから[ENTER]キーを押してください。洗浄液を満たす前に[ENTER]キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

8 スポイトにメンテナンス用洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす。

- ・ キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



9 ④ ⑤を押して放置時間を入力します。(F/W Ver2.6以降より対応)

- ・ ML007洗浄液をお使いの場合：推奨時間は1分
- ・ ML016洗浄液をお使いの場合：推奨時間はノズル状態に応じて10分

10 [ENTER]キーを押す。

- キャップに満たした洗浄液を吸引します。
- キャップに洗浄液を放置している間、右の画面を表示します。
- 放置時間が過ぎると、手順2の表示に戻ります。

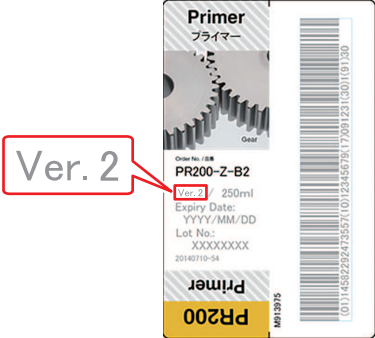
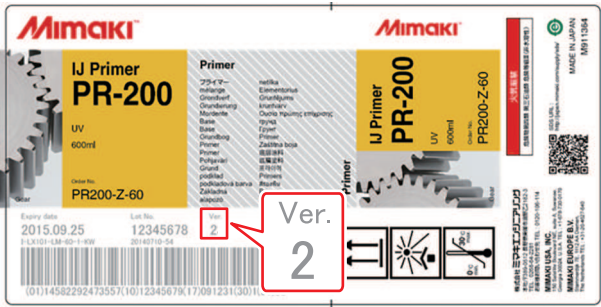
シバラク オマチクダサイ
00 : 00

** クリーニング **
シバラク オマチクダサイ

- 重要!** • この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

ヘッドノズルの洗浄(PR-200インク使用時)

PR-200 を搭載している機種は、ノズル詰まりが発生することがあります。PR-200インクカートリッジ・パック・ボトルのラベルに表記されているVer.を確認し、Ver.2の場合は1週間に2回、Ver.3の場合は月1回の頻度でノズルを洗浄してください。

ラベル Ver. 表記位置	
220mL カートリッジ	250mL ボトル
	
600mL パック	1L ボトル
	
必要なメンテナンス液	• F-200/LF-200メンテナンス液 (SPC-0568) • PR-200メンテナンス液 (C-ML013-Z-B2-1-KW)

1 ローカルで、[MAINT.]キーを押す。

キャリッジ アウト

[ENT]

2 ▲ ▼を押して、[ノズル センジョウ]を選ぶ。

ノズル センジョウ

[ENT]

3 [ENTER]キーを押す。

- キャリッジが移動します。

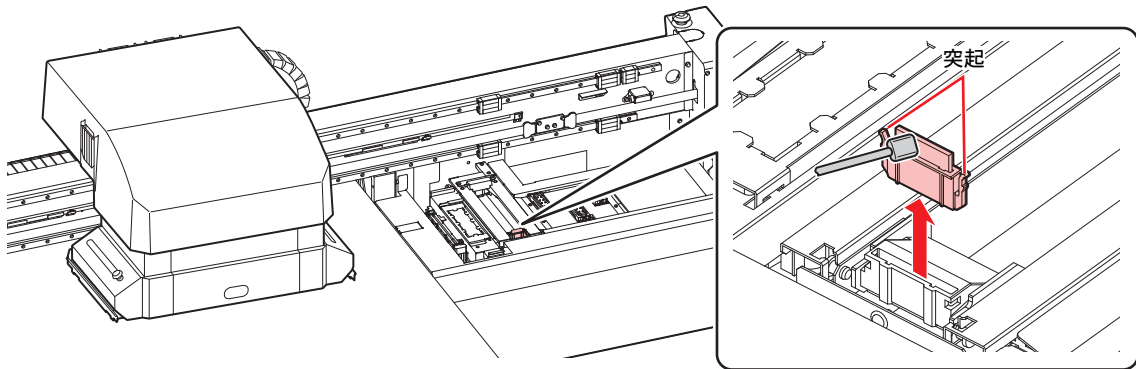
ワイパー クリーニング
シュウリョウ(ツギへ) [ENT]

- 重要!** • ワイパーのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギへ) : ENT]が表示されます。手順4の作業が完了してから[ENTER]キーを押してください。クリーニングが終了する前に[ENTER]キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4 ワイパーとブラケットを清掃する。

- (1) 右メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く。
- (2) クリーンスティックにF-200/LF-200メンテナンス液(SPC-0568)を含ませて清掃する。
 - F-200/LF-200メンテナンス用洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む。

- 重要!** • ワイパー、ブラケット、キャップゴム、キャップゴムカバーの清掃には必ずF-200/LF-200メンテナンス液を使い、PR-200メンテナンス液(C-ML013-Z-B2-1-KW)は使用しないようにしてください。



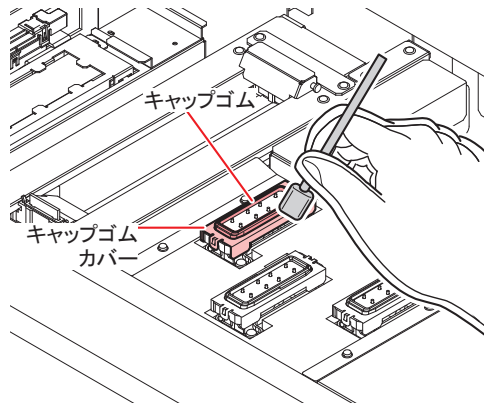
5 [ENTER]キーを押す。

キャップ クリーニング
シュウリョウ(ツギへ) [ENT]

- 重要!** • キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギへ) : ENT]が表示されます。手順6の作業が完了してから[ENTER]キーを押してください。クリーニングが終了する前に[ENTER]キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

6 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する。

- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、F-200/LF-200メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。F-200/LF-200メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排出路が洗浄されます。



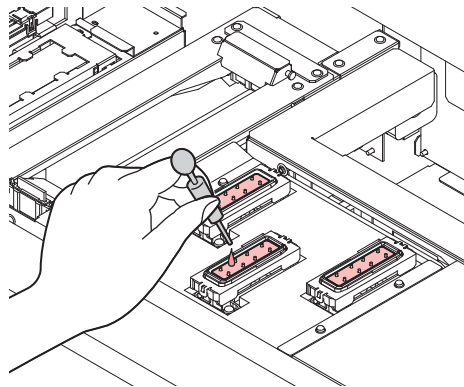
7 [ENTER]キーを押す。

センジョウエキラミタス
シュウリョウ(ツギへ) [ENT]

- 重要!** • 洗浄液を満たすまで、ディスプレイには[シュウリョウ (ツギへ) : ENT] が表示されます。手順8の作業が完了してから[ENTER]キーを押してください。洗浄液を満たす前に[ENTER]キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

8 スポイトにPR-200メンテナンス液(C-ML013-Z-B2-1-KW)をとり、PR-200搭載ヘッドのキャップにのみ一杯に満たす。

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



9 ▲ ▼を押して放置時間を入力します。(F/W Ver2.6以降より対応)

- 推奨時間は1分です。

10 [ENTER]キーを押す。

- キャップに満たした洗浄液を吸引します。
- キャップに洗浄液を放置している間、右の画面を表示します。
- 放置時間が過ぎると、手順2の表示に戻ります。

シバラク オマチクダサイ
00 : 00

** クリーニング **
シバラク オマチクダサイ

11 PR-200搭載ヘッドに、ヘッドクリーニング(ハード)を1回実施する。

- (1) [END]キーを押して、ローカル画面を表示する。
- (2) [CLEANING]キーを押して、▲▼でクリーニング:ハードを選び、[ENTER]キーを押す。
- (3) ヘッドセンタクで、▲▼でヘッド3のみを選んで、[ENTER]キーを押す。

ヘッド	センタク
--	3

12 テストプリントをして、ノズルの状態を確認する。

- ・ ノズル抜けが見られる場合は、再度ノズルクリーニング(ハード)を実行し、ノズルの状態を確認してください。

重要!

- ・ この洗浄を3回繰り返してもノズル抜けが解消されない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

空気抜きを行う

ヘッド内でインクが混色してしまった場合や空気の混入によるノズル抜けが発生した場合は、ヘッド内のインクや混入してしまった空気をポートから押し出してください。



- ・ ノズル抜けを未然に防ぎ、快適にご使用いただくため、1ヶ月に1回程度のエア抜き実施を推奨します。

1 メンテナンスメニューの[クウキヌキ]を選ぶ。

- (1) ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。
- (2) ▲ ▼を押して[メンテナンス]を選び、[ENTER]キーを押す。
- (3) ▲ ▼を押して[クウキヌキ]を選ぶ。

2 [ENTER]キーを押す。

クウキヌキ	センタク
1<	3 v >2

3 ◀ ▶を押して、空気抜きするポートを選ぶ。

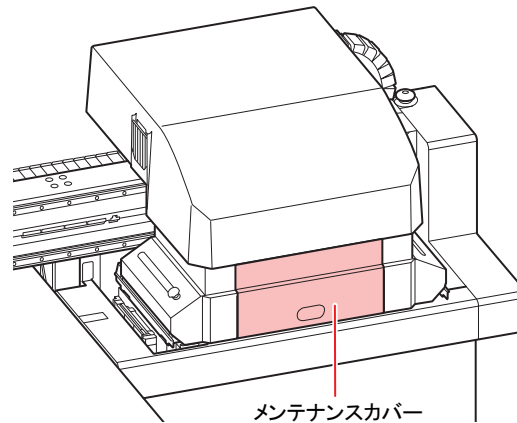
- ・ ◀：左側のポートを選択
- ・ ▼：中央のポートを選択
- ・ ▶：右側のポートを選択
- ・ Yバーが一番手前まで移動してから、キャリッジがワイパー上に移動します。
- ・ [ENTER]キーを押すと、その位置で停止します。

イドウ チュウ シバラク オマチクダサイ

ジグ ラ ツナグ カイシ

[ENT]

4 メンテナンスカバーを開ける。



- 重要!** • 取り外したカバーは作業終了後、速やかに取り付けてください。長時間放置すると、紫外線によるインクへの影響が出る可能性があります。

5 [ENTER]キーを押す。

ジグ ラツナグ
カンリョウ [ENT]

- 重要!** • エア抜き治具をセットするまで、ディスプレイには[カンリョウ：ENT]が表示されます。手順8までの作業が完了してから[ENTER]キーを押してください。

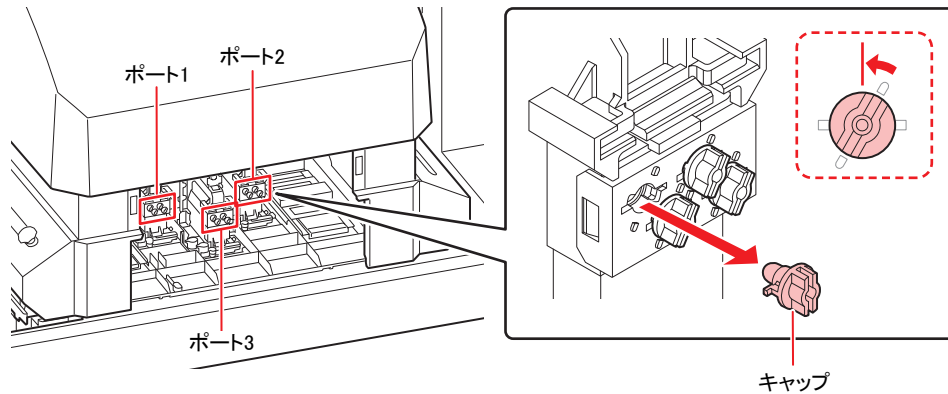
6 対象となるポートのキャップを外す。

- ポートのレイアウトは下図の通りです。

	ヘッド1	ヘッド2	ヘッド3
4色+W+CI			
4色+W+Pr+CI			
4色+W (本インクセットを使用する場合は、OPT-J499が必要になります。)			

6色+W			
------	--	--	--

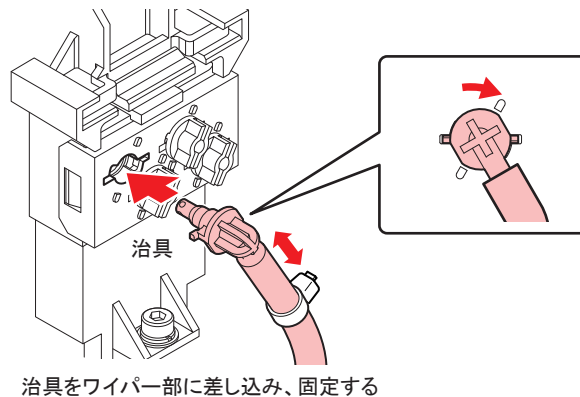
- キャップは反時計方向へ30° 程回してから外してください。
- 外したキャップにはインクが付着しています。周囲を汚さないよう、ペーパータオルなどの上に仮置きしてください。
- 空気抜きはヘッドごとに行います。ヘッド1の空気抜きを行う際は、ヘッド2、ヘッド3のキャップを外さないでください。



- キャップを外しても、内部の機構によりインクがあふれ出すことはありません。

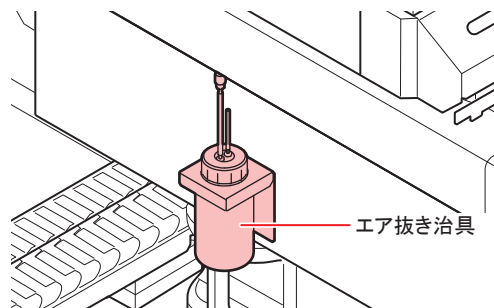
7 治具をポートの接続する。

- 治具の接続はキャップ同様、先端をポートに押し込み、時計方向へ30° 回転させてください。



重要!

- エア抜き治具のボトルにはマグネットが付いています。本機にボトルをつけるときは、なるべく下の位置にボトルを取り付けてください。



8 [ENTER]キーを押す。

クウキヌキ カイシ	[ENT]
--------------	-------

9 混色したインクや混入した空気を排出させる。

- [ENTER]キーを押すと、本機は大気解放状態となり、インク等が勢いよく排出されます。
- 混色したインクや混入した空気が完全に無くなるまで排出させてください。完全に排出されると、混色していないインクが排出されます。
- インク排出中は、ブザー音が一定間隔で鳴り続けます。

クウキヌキ カンリョウ	[ハイシュツ] [ENT]
----------------	------------------

10 空気抜きを行う全てのポートに対して、手順9の作業を行う。

- キャリッジが素早く移動する場合があります。手、頭や体等をキャリッジに近づけないよう注意してください。

11 [ENTER]キーを押す。

クウキヌキ カンリョウ	[ENT]
----------------	-------

12 [ENTER]キーを押す。

ジグ ラ ハズス カイシ	[ENT]
-----------------	-------

13 治具を取り外し、キャップを取り付ける。

- 治具を取り外したら、素早くキャップを取り付けてください。

14 キャップを取り付けたら、[ENTER]キーを押す。

- 負圧制御が再開し、ワイピングを始めます。

ジグ ラ ハズス カンリョウ	[ENT]	→	シバラク オマチクダサイ
-------------------	-------	---	--------------

15 ▲ ▼を押して、“シュウリョウ”または“リトライ”を選ぶ。

- “シュウリョウ”を選んだ場合は、クリーニングを行います。クリーニングが終了したら、手順1の[クウキヌキ]の画面に戻ります。
- “リトライ”を選んだ場合は、手順5の画面に戻ります。手順3で選択したヘッドの空気抜きが完了していないポートに対して空気抜きの作業をしてください。

クウキヌキ シュウリョウ< >リトライ

16 終了するとき、[END]キーを数回押す。**17** メンテナンスカバーを閉じる。

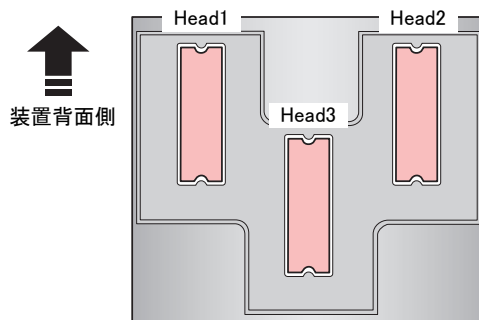
- 重要!** • 取り外したカバーは作業終了後、速やかに取り付けてください。長時間放置すると、紫外線によるインクへの影響が出る可能性があります。

ノズルリカバリ機能

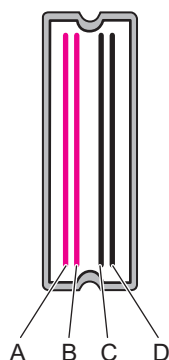
特定ノズルのノズル抜けが直らない場合、そのノズルは使用せず他の正常なノズルをかわりに使用（ノズルリカバリ）してプリントすることができます。

本機のヘッドは下のよう構成されています。

ノズルリカバリ機能では、H1-3（ヘッド1-3）それぞれのノズル列を指定して、リカバリの設定をすることができます。



- 本機は、1つのヘッドに対して4つのノズル列（A列・B列・C列・D列）で構成されています。



1 メンテナンスメニューの[ノズル リカバリ]を選ぶ。

- (1) ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。
- (2) ▲ ▼を押して[メンテナンス]を選び、[ENTER]キーを押す。
- (3) ▲ ▼を押して[ノズル リカバリ]を選ぶ。
- (4) [ENTER]キーを押す。

2 ▲ ▼を押して [プリント] を選び、[ENTER]キーを押す。

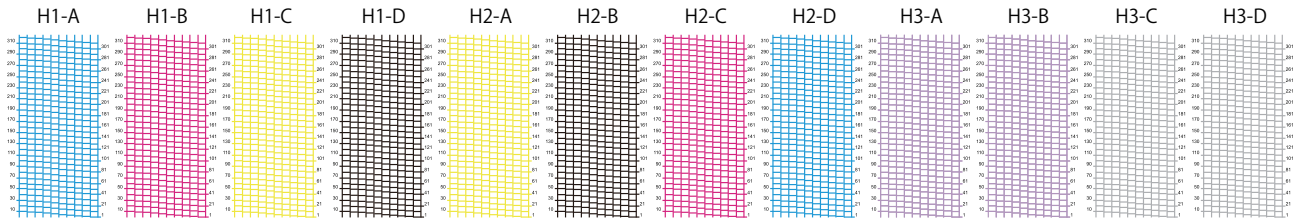


3 [ENTER]キーを押して、プリントを開始する。

- ・ ノズルパターンがプリントされます。
- ・ 手順2で[トウロク]を選んだときは、ノズルパターンのプリントをしないでノズル列選択手順（手順5）に移ります。

** プリント **
シバラク オマチクダサイ

・ ノズルパターン



4 ▲ ▼を押してノズルリカバリをするノズル列を選び、[ENTER]キーを押す。

ノズル センタク

: H1-A

ノズル列 : A, B, C, D

ヘッド番号 : H1~H3

5 リカバリが必要なノズル番号を登録し、[ENTER]キーを押す。

H1-A

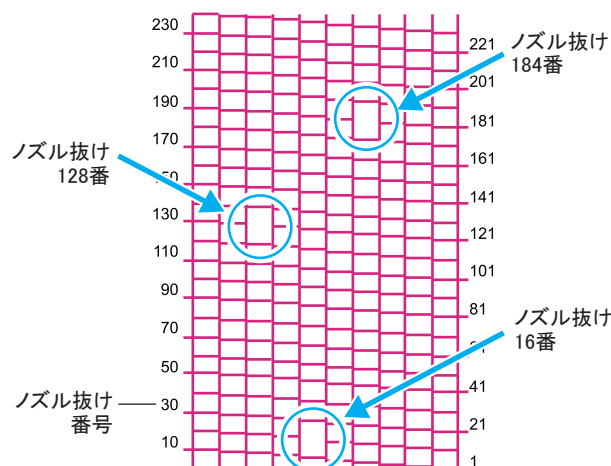
No. 1: 184

リカバリノズル番号
(1 ~ 320) またはOFF

登録番号 : 1 ~ 10

- (1) ▲ ▼を押して登録番号（1~10）を選び、[ENTER]キーを押す。
- (2) ▲ ▼を押してリカバリするノズル番号を登録し[ENTER]キーを押す。

・ リカバリノズル登録例



登録番号	リカバリノズル番号	状態
1	16	ノズルリカバリする
2	128	ノズルリカバリする

3	184	ノズルリカバリする
4	OFF	登録無し
5	OFF	登録無し

6 終了するとき、[END]キーを数回押す。



- 1ノズル列あたり10個までノズルを登録できます。
- 本機能を使用しても、プリント時間は変わりません。
- 印刷条件の最低パス数では、ノズルリカバリ機能は無効です。
- ノズルリカバリを登録しても、テストプリントなどのパターンはリカバリされません。



- 白インクを使用している場合、透明フィルムに印刷して確認してください。

登録したノズルがリカバリされているか確認する

登録したノズルが正常にリカバリされているかを確認することができます。

次の設定を“ON”にしておけば、テストプリントの「**テストプリントをする**」(P. 61)をするときに、リカバリしたノズルを使用してテストパターンをプリントします。

1 メンテナンスメニューの[ノズル リカバリ]を選ぶ。

- (1) ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。
- (2) ▲ ▼を押して[メンテナンス]を選び、[ENTER]キーを押す。
- (3) ▲ ▼を押して[ノズル リカバリ]を選ぶ。
- (4) [ENTER]キーを押す。

2 ▲ ▼を押して [カクニン メニュー] を選び、[ENTER]キーを押す。

ノズル リカバリ
: カクニン メニュー

3 ▲ ▼を押して、“ON”を選び、[ENTER]キーを押す。

カクニン メニュー
: ON

4 終了するとき、[END]キーを数回押す。



- [ノズル リカバリ]を登録したノズルをリカバリしてテストプリントしたい場合は、**テストプリントをする** (P. 61) の手順3で“ON”を選んでください。

プリント開始時に、リカバリできないノズルがあるかチェックする

設定している印刷条件によっては、[ノズル リカバリ]を登録してもリカバリできない場合があります。

本設定をしておけば、プリント開始時にリカバリできるかどうかの確認と、リカバリできない場合の動作を選ぶことができます。

1 メンテナンスメニューの[ノズル リカバリ]を選ぶ。

- (1) ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。
- (2) ▲ ▼を押して[メンテナンス]を選び、[ENTER]キーを押す。
- (3) ▲ ▼を押して[ノズル リカバリ]を選ぶ。
- (4) [ENTER]キーを押す。

- 2 ▲ ▼を押して [プリント カイシジ チェック]を選び、[ENTER]キーを押す。

ノズル リカバリ
: プリント カイシジ チェック

- 3 ▲ ▼を押して設定値を選び、[ENTER]キーを押す。

- 設定値:
OFF、ケイソク、テイシ

プリント カイシジ チェック
: OFF

- OFF:
プリント開始時にチェックを行いません。
- ケイソク:
プリント開始時にチェックを行います。リカバリできない場合は、3秒間下の画面を表示し、その後プリントを開始します。

1200 x 1200 32P Hi Bi
リカバリ フカ

- テイシ:
プリント開始時にチェックを行います。リカバリできない場合は、プリント確認画面を表示します。プリントする場合は、[ENTER]キーを押してください。

1200 x 1200 32P Hi Bi
リカバリ フカ [ENT]

- 4 終了するとき、[END]キーを数回押す。

設定値をクリアする

- 1 メンテナンスメニューの[ノズル リカバリ]を選ぶ。

- ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。
- ▲ ▼を押して[メンテナンス]を選び、[ENTER]キーを押す。
- ▲ ▼を押して[ノズル リカバリ]を選ぶ。
- [ENTER]キーを押す。

- 2 ▲ ▼を押して [クリア] を選び、[ENTER]キーを押す。

ノズル リカバリ
: クリア

- 3 ▲ ▼を押して、設定値をクリアするノズル列を選び、[ENTER]キーを押す。

クリアノズル センタク
: H1-A

H1-A クリア?
ジッコウ [ENT]

- 4 [ENTER]キーを押す。

- 5 終了するとき、[END]キーを数回押す。

4.6 オートメンテナンス機能

本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナンスを行うように設定できます。

ここでは、各種自動メンテナンスの実行間隔を設定します。

定期的に自動メンテナンスを行うことにより、インク詰まりなどのトラブルを防止することができます。
(オートメンテナンス機能)

オートメンテナンス機能には、以下の項目があります。

- 重要!** ・ 手動で各種メンテナンスを行った場合、手動メンテナンス終了後、オートメンテナンス機能で設定した時間が経過したら自動的に各種メンテナンスを開始します。

機能名	説明
リフレッシュ	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します。
クリーニング	クリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します。

- 重要!** ・ 下のメッセージが表示されている場合、オートメンテナンス機能で設定した動作は実行されません。必要に応じて「[廃インクを廃棄する](#)」(P. 155)の操作をしてください。

<ローカル>
ハイインクタンクカクニン[MNT]

- ・ 本機前面の電源ボタンをオフにする場合は、廃インクタンクの確認をしてください。

リフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定します。

1 メンテナンスメニューの[オート メンテナンス]を選ぶ。

- (1) ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。
- (2) ▲ ▼を押して[メンテナンス]を選び、[ENTER]キーを押す。
- (3) ▲ ▼を押して[オート メンテナンス]を選ぶ。

2 [ENTER]キーを押す。

オート メンテナンス
リフレッシュ [ENT]

3 [ENTER]キーを押す。

リフレッシュ
: Lv. 1

4 ▲ ▼を押して、リフレッシュ間隔を設定する

- ・ 設定値:OFF、Lv.1、Lv.2、Lv.3

リフレッシュ
: Lv. 2

5 [ENTER]キーを押す。

オート メンテナンス
リフレッシュ [ENT]

6 終了するとき、[END]キーを数回押す。

クリーニング間隔を設定する

クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

1 メンテナンスメニューの[オート メンテナンス]を選ぶ。

- (1) ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。
- (2) ▲ ▼を押して[メンテナンス]を選び、[ENTER]キーを押す。
- (3) ▲ ▼を押して[オート メンテナンス]を選ぶ。
- (4) [ENTER]キーを押す。

2 ▲ ▼を押して、[クリーニング]を選ぶ。

オート メンテナンス
クリーニング [ENT]

3 [ENTER]キーを押す。

クリーニング
: Lv. 1

4 ▲ ▼を押して、クリーニングを行う間隔を設定する。

- ・ 設定値 : Lv.1、Lv.2、Lv.3
- ・ レベルを上げるごとに動作間隔は短くなります。

クリーニング
: Lv. 2

5 [ENTER]キーを押す。

- ・ 手順4で“OFF”以外に設定したとき、クリーニングタイプの選択画面が表示されます。

タイプ
: ノーマル

6 ▲ ▼を押して、クリーニングタイプを選ぶ。

- ・ 設定値 : ノーマル、ソフト、ハード

タイプ
: ソフト

7 [ENTER]キーを押す。

オート メンテナンス
クリーニング [ENT]

8 終了するとき、[END]キーを数回押す。

4.7 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。

消耗品は、弊社ホームページにてご覧になれます。

<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>

ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。下のメッセージが表示されたら、速やかにワイパーを交換してください。

また、スライダー下面に付着したインクの清掃をしてください。

<ローカル>
ワイパー コウカン [MNT]

重要! ・ クリーニングワイパーは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

1 メッセージが表示されたら、[ENTER]キーを押す。

ワイパー コウカン
ジッコウ [ENT]

2 [ENTER]キーを押す。

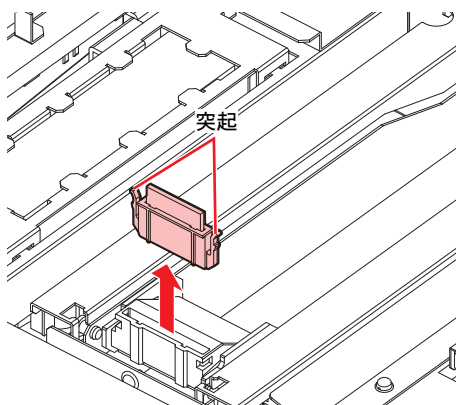
- ・ キャリッジがテーブル上に移動します。

ワイパー コウカン
シュウリョウ [ENT]

重要! ・ 交換作業が終了するまで、ディスプレイには[シュウリョウ :ENT] が表示されます。
手順4までの作業が完了してから[ENTER]キーを押してください。

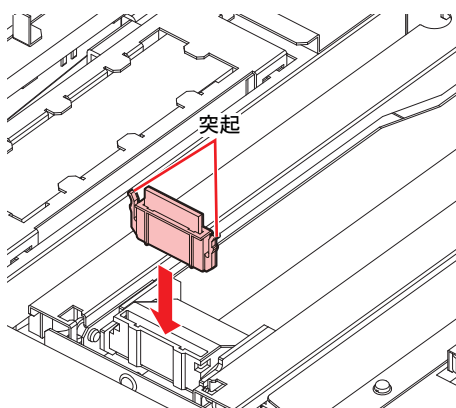
3 ワイパーを取り出す

- ・ ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



4 新しいワイパーを差し込む

- ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。



5 [ENTER]キーを押す。

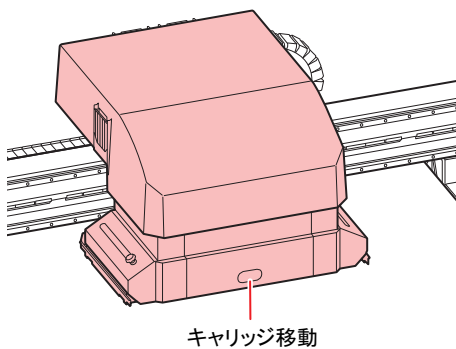
- 初期動作後、ローカルに戻ります。

* ショキカ チュウ *
シバラク オマチクダサイ

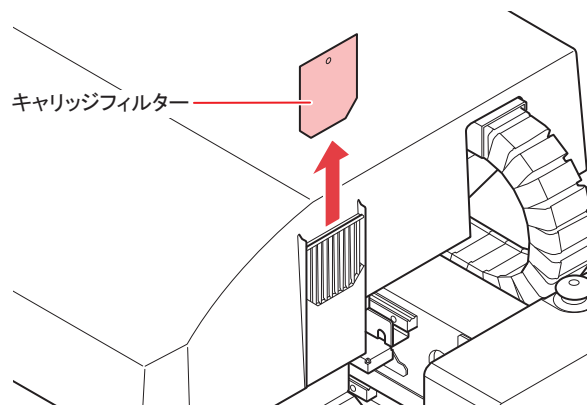
キャリッジフィルターの交換

1～2週間に一度交換してください。

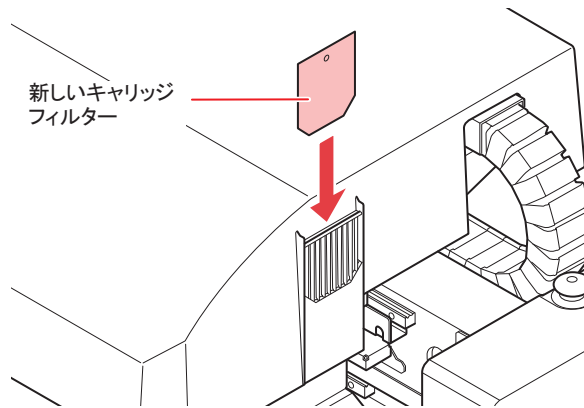
1 キャリッジを移動させる。



2 使用済みのキャリッジフィルターを取り外す。



3 新しいキャリッジフィルター（品番：SPC-0851）を取り付ける。



- 重要!** ・ キャリッジフィルターはキャリッジの左右と背面にあります。
交換するときは、全てのフィルターを同時に交換してください。

4 交換が終了したら、[ENTER]キーを押す。

廃インクの廃棄

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機の右下にある廃インクタンクにたまります。本機では、インクの排出量を累積カウントし、一定の量になったら確認を促すメッセージが表示されます。廃インクタンク交換の目安としてお使いください。



- ・ 2.6Lタンクの80%（2.1L）でメッセージを表示します。

ローカルでの確認メッセージ

1 下のメッセージが表示される。

<ローカル>
ハイインクタンクカクニン [MNT]

2 廃インクタンクを確認する。

- ・ 実際の量と誤差がある場合、▲ ▼を押して補正します。
- ・ 80%未満に補正して[ENTER]キーを押すと、メッセージが消えます。
- ・ 交換（廃棄処分）しカウントクリアする場合、以下の手順を実行してください。
☞ 「[廃インクを廃棄する](#)」（P. 155）

ハイインクタンク カクニン
Level : 80% (2.1L)

- 重要!** ・ 廃インクはこまめに廃棄してください。廃インクを廃棄処分しないまま、[ENTER]キーを押してメッセージを消し、そのまま本機を使用し続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出る可能性があります。

廃インクを廃棄する



- 廃インクタンクを廃棄するときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

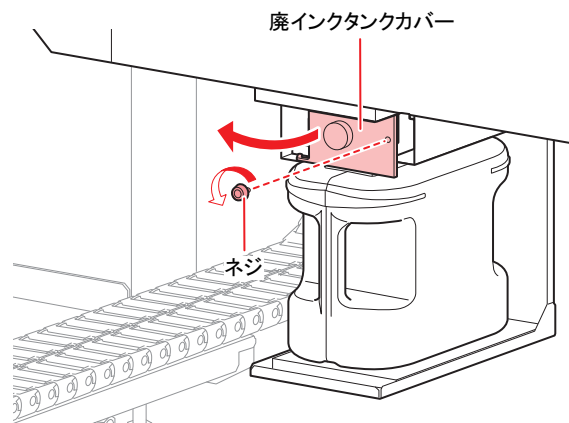


重要!

- 本機の動作中（プリント中またはクリーニング中）は、廃インクタンクの交換はしないでください。
- 作業中に廃インクがこぼれた場合は、ウエス等で拭き取ってください。

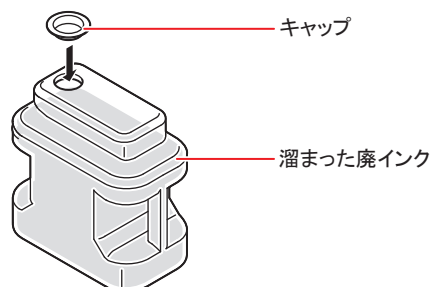
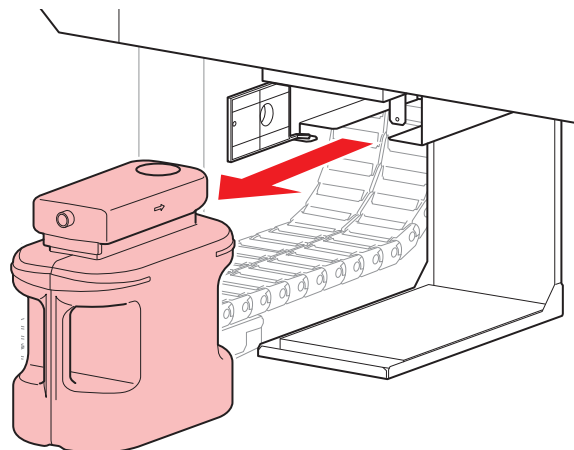
1 廃インクタンクカバーを開く。

- 廃インクタンクカバーについているネジを取り外し、カバーを手前に開けます。



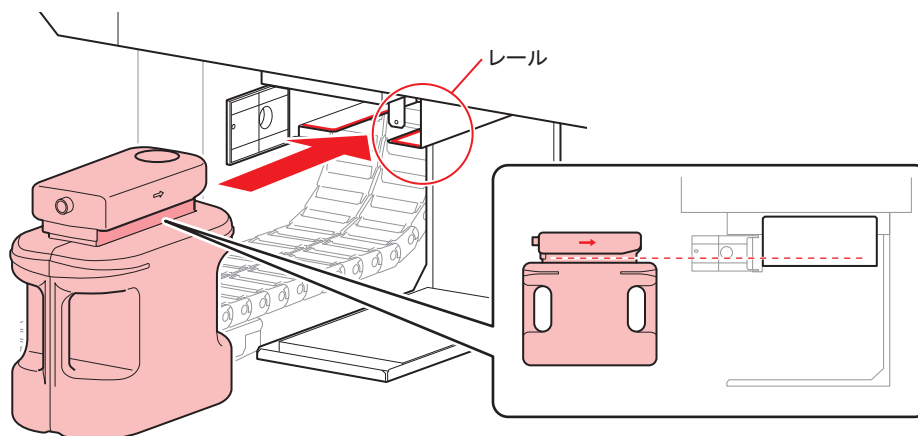
2 廃インクタンクを取り出す。

- (1) 廃インクタンクの取っ手を持ち、手前に引き出す。
- (2) 取り出した廃インクタンクにキャップをはめる。



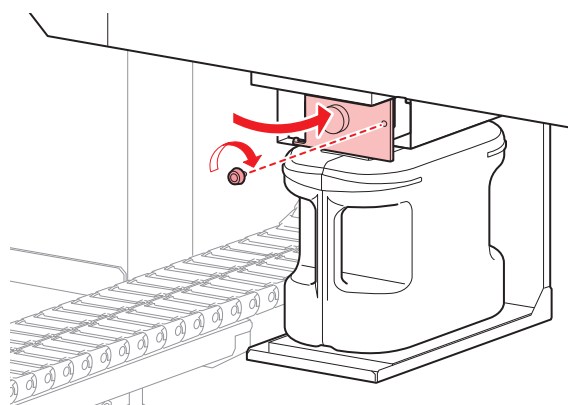
3 廃インクタンクを交換する。

- (1) 新しい廃インクタンクを用意する。
- (2) 廃インクタンクの取っ手を持ち、差し込む。
- (3) 廃インクタンクを持ち上げて排水口の真下にセットされているか確認する。



- ・ 廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- ・ 一部成分において（光重合開始剤）、水性生物に対する毒性があります。自然水系（川等）、生活排水（トイレ、道路等）への漏洩流出を防いでください。

4 廃インクタンクカバーを閉じる。



5 メンテナンスメニューの[ハイ インクタンク コウカン]を選ぶ。

- (1) ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。
- (2) ▲ ▼を押して[メンテナンス]を選び、[ENTER]キーを押す。
- (3) ▲ ▼を押して[ハイ インクタンク コウカン]を選ぶ。

メンテナンス
ハイインクタンクコウカン [ENT]

6 [ENTER]キーを押して、解除します。

ハイ インクタンク コウカン
コウカン [ENT]

廃インクタンク確認メッセージが表示される前に廃インクタンクを交換する場合 (1)

廃インクタンク確認メッセージが表示される前（2.6Lタンクの80%（2.1L）に達する前）に廃インクタンクを交換する場合、情報メニューで廃インク情報を0%に設定します。

1 廃インクタンクを空にする。

-  「廃インクを廃棄する」 (P. 155)

2 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
セッテイ [ENT]

3 を押して、[ジョウホウ]を選ぶ。

- ファームウェアバージョン1.90以降では、メンテナンスメニューからも実行できます。[メンテナンス]から実行する場合は、 「廃インクタンク確認メッセージが表示される前に廃インクタンクを交換する場合 (2)」 (P. 158) を参照してください。

FUNCTION
ジョウホウ [ENT]

4 [ENTER]キーを押す。

ジョウホウ
シヨウ ジョウキョウ [ENT]

5 を押して、[シヨウ ジョウキョウ]を選ぶ。

6 [ENTER]キーを数回押して、廃インクタンク情報を表示させる。

ハイインクタンク
= 60%

7 [MAINT.]キーを押す。

ハイインクタンクヲカクニン
Level : 60% (1.5L)

8 を押して、"Level"を「0%」に設定する。

ハイインクタンクヲカクニン
Level : 0% (0.0L)

9 [ENTER]キーを押す。

廃インクタンク確認メッセージが表示される前に廃インクタンクを交換する場合 (2)

メンテナンスメニューで廃インク情報を0%に設定します。

1 廃インクタンクを空にする。

-  「[廃インクを廃棄する](#)」 (P. 155)

2 ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。

FUNCTION
セッテイ [ENT]

3 を押して、[メンテナンス]を選ぶ。

FUNCTION
メンテナンス [ENT]

4 [ENTER]キーを押す。

メンテナンス
ステーション メンテナンス

5 を押して、[ハイ インクタンク コウカン]を選ぶ。

メンテナンス
ハイインクタンクコウカン [ENT]

6 [ENTER]キーを押す。

- [ENTER]キーを押すと、廃インク情報が0%になります。

ハイ インクタンク コウカン
コウカン

本メニューを実行すると、前ページの[シヨウ ジョウキョウ]から0%にしたのと同じ状態となります。

インクボトルキャップの交換

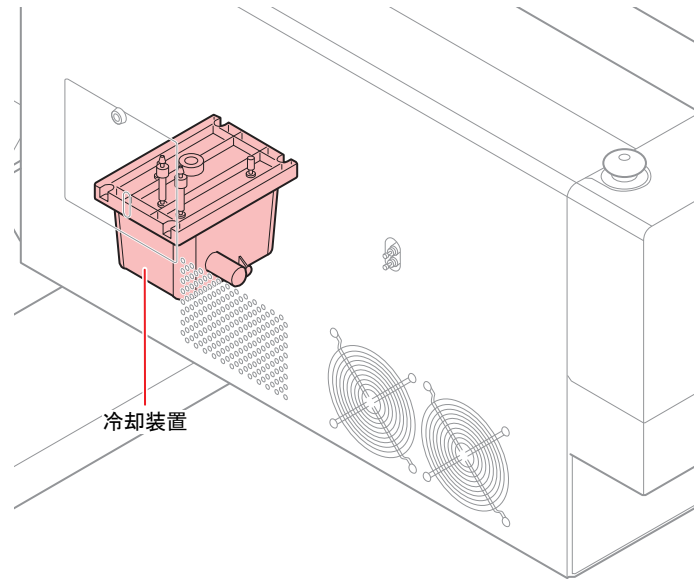
1年を目安に交換してください。交換方法は 「[インクボトルを交換する](#)」 (P. 40) を参照してください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

4.8 冷却水の補充について

LED UVユニット冷却のため、冷却装置内の冷却水タンクに、不凍液混合水を入れます。
水と不凍液（品番：SPC-0394）の混合液は、水2に対して不凍液1の割合にしてください。



● 補充に関する注意



- 水と不凍液の混合液は、水2に対して不凍液1の割合にしてください。
- 不凍液を入れず、水だけを冷却水タンクに入れた場合は、凍結などによりLED UVユニットが故障する原因になります。
- 水を入れず、不凍液だけを冷却水タンクに入れた場合、正常に動作せず、エラーになることがあります。
- 冷却水タンクの水不足が頻繁に起きる場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。



- 不凍液と混ぜた水は、使用している地域の条例に従って処分してください。



- 不凍液混合水に関する注意事項

(1) 以下の条件を満たした水を使用すること。

- カルシウム含有量：10mg / L（1mg / 100ml）以下
- 硬度：60mg / L以下
- 蒸留水または、精製水

(2) 不凍液混合水は、作り置きしないでください。

(3) 余った不凍液混合水は、1週間以内に使用してください。1週間以上経過した不凍液混合水を本機に注入すると、故障の原因になります。

● 不凍液の取り扱い上のご注意



- ・ 不凍液は、弊社専用のものをご使用ください。他のものを使用すると、冷却装置が故障する恐れがあります。（交換用不凍液：1000cc×1 本）
- ・ 不凍液には直接触れないようにしてください。誤って不凍液が付いてしまったときは、石けんを使って、すぐに流水で洗い落としてください。万一、不凍液が目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師に相談してください。
- ・ 不凍液は冷暗所で保存してください。
- ・ 不凍液は、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・ 不用となった不凍液は、産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託してください。
- ・ 不凍液をご使用の前に、必ず安全データシート（SDS）をお読みください。



- ・ 不凍液を取り扱う場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



- ・ 廃冷却水タンク水を移すための、キャップ付きタンクをご用意ください。
- ・ 冷却水タンクの水が不足すると、次のエラーを表示します。この場合は、冷却水を補充するを参照して、水を交換してください。

<ローカル>
ミズブソク

冷却水を補充する

水不足のエラーが発生したら、冷却水を補充してください。満水にするには、約500ccの補充が必要です。



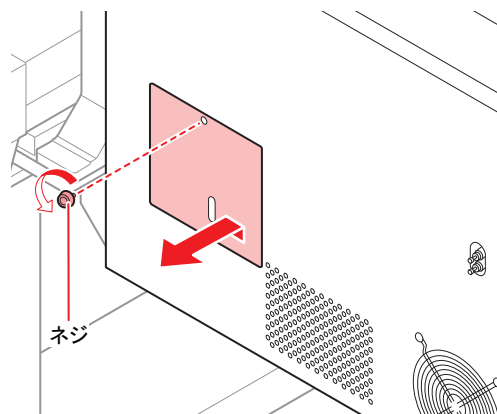
- ・ 水不足のエラーが発生したまま冷却水を補充せずに1週間経過すると、ディスプレイのエラー表示が"ミズヲ ホジュウ シテクダサイ"に切り替わります。このエラーを表示しているときは、リモートモードに切り替えることができなくなります。直ちに、冷却水を補充してください。

<ローカル>
ミズヲ ホジュウ シテクダサイ

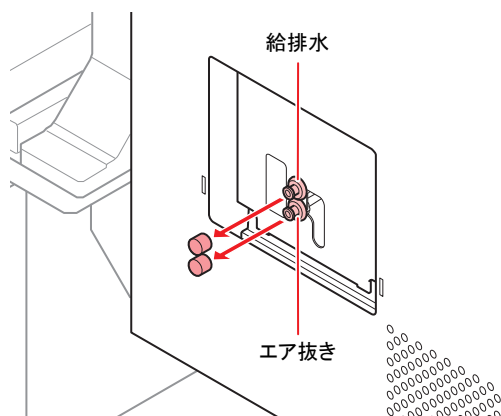
- ・ "ミズヲ ホジュウ シテクダサイ"が表示されている間は、ブザーが鳴り続きます。
- ・ 水不足のエラーが発生したまま使用し続けているときにLED-UVの温度エラー/ワーニングが発生したときも"ミズヲ ホジュウ シテクダサイ"に切り替わり、リモートモードに切り替えることができなくなります。

1 Yバー左側背面のカバーを外す。

- ・ 図の丸部分のネジ（1箇所）を外して、カバーを取り外します。



2 給排水とエア抜きのフタを外す。

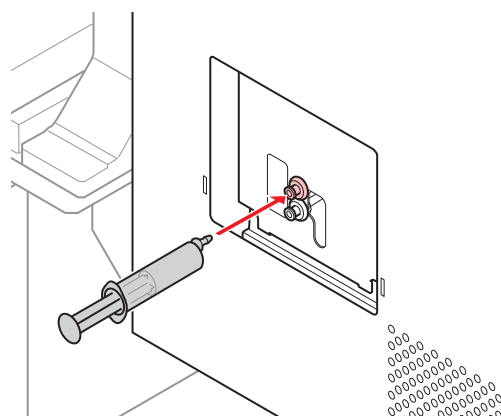


3 付属の容器で混合水（不凍液1、水2の割合）を作り、付属のシリンジに移す。



4 プザーが鳴りやむまで混合水を注入する。

- 混合水をシリンジで給水口から注入してください。
- プザー停止後、追加で100CC注入してください。



重要! • 混合水を注入しすぎると、混合水がタンクから漏れてしまいます。

5 給水口とエア抜きのフタを閉め、Yバー左側背面のカバーを取り付ける。

4.9 フラッシングフィルターについて

交換に必要な道具	F-200/LF-200 メンテナンス用洗浄液（品番：SPC-0568）	保護メガネ
	ウエス	手袋



- 交換を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。フラッシングフィルターにはインクが吸収されているため、インクが目に入る場合があります。



フラッシングフィルターを交換する

フラッシングフィルターは定期的に交換する必要があります。

次のような交換メッセージが表示されたら、RF吸収剤(フラッシングフィルター)品番：SPC-0768を交換してください。

- 1 フラッシングフィルターの交換時期になると下のメッセージが表示される。

フラッシング フィルター ラ
コウカン シテクダサイ [ENT]

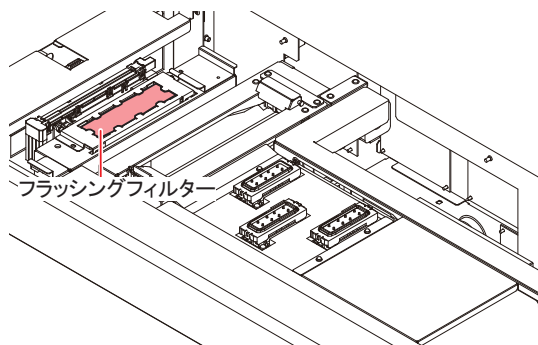
- 2 [ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジが移動し、下のメッセージが表示されます。

コウカン
シュウリョウ

- 3 フラッシングフィルターを交換し、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがステーションに戻り、ローカルに戻ります。



交換メッセージが表示される前にフラッシングフィルターを交換する

- 1 メンテナンスメニューの[ステーション メンテナンス]を選ぶ。

- (1) ローカルで、[ENTER]キーを押す。
- (2) ▲ ▼を押して[メンテナンス]を選び、[ENTER]キーを押す。
- (3) ▲ ▼を押して[ステーション メンテナンス]を選ぶ。
- (4) [ENTER]キーを押す。

2 ▲ ▼を押して、[フラッシングフィルター]を選ぶ。

ステーション メンテナンス
フラッシングフィルター [ENT]

3 [ENTER]キーを押す。

キャリッジ アウト
カイシ [ENT]

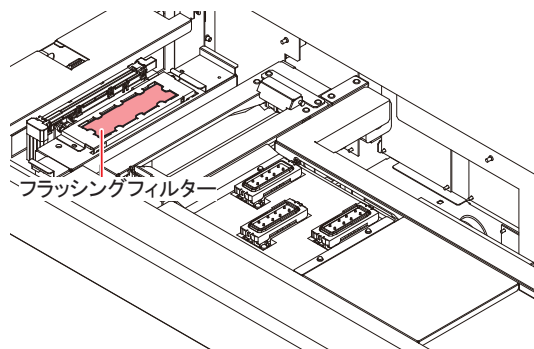
4 [ENTER]キーを押す。

フィルター コウカン
カンリョウ [ENT]

-
- 重要!** ・ フィルター交換が終了するまで、ディスプレイには[カンリョウ :ENT]が表示されます。
手順5の作業が完了してから[ENTER]キーを押してください。
交換が終了する前に[ENTER]キーを押すと、次の手順に移行します。
-

5 フラッシングフィルターを交換し、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがステーションに戻り、ローカルに戻ります。



第 5 章 困ったときは



この章では...

故障かなと思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明をしています。

故障かなと思ったら	166	「ホワイトインクボトル ヲ フッテクダサイ」が表示されたら.....	168
電源が入らない.....	166	サブタンク関連のエラーが発生したら	169
プリントできない	166	圧力異常が発生したら	170
画質不良が発生したら	166	メッセージを表示するトラブル	172
ノズル詰まりを解消したいとき.....	167	ワーニングメッセージ	172
インクボトルに異常が発生したら	167	エラーメッセージ	175
インク漏れが発生したら.....	168		

5.1 故障かなと思ったら

故障かなと思う前にもう一度確認してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピューターのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。

確認点	実施事項
電源ケーブルを本機と電源コンセントに接続しましたか？	接続していない場合は、電源ケーブルを確実に接続してください。
主電源が入っていますか？	入っていない場合は、主電源を入れてください。 ☞ 「電源を入れる」 (P. 51)
本機前面にある電源がオンになっていますか？	オンになっていない場合は、本機前面にある電源ボタンを押してください。 ☞ 「電源を入れる」 (P. 51)

プリントできない

プリントができない場合は、データが適正に本機に送られていない可能性があります。

また、プリント機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。

確認点	実施項目
ご使用のインターフェースケーブルは合っていますか？	本機専用のケーブルをご使用ください。
インターフェースケーブルを確実にセットしていますか？	インターフェースケーブルを確実にセットしてください。
ディスプレイにインク切れのメッセージが表示されていますか？	新しいインクボトルに交換してください。

画質不良が発生したら

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

現象	対処方法
白スジ/カスレ/色の濃いスジが発生する（ヘッド移動方向）	- ヘッドクリーニングを行ってください。 ☞ 「ヘッドクリーニング」 (P. 65) - ステーション内部のメンテナンスをしてください。 ☞ 「キャッピングステーションのメンテナンス」 (P. 120) - ヘッドが通過する部分に紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
往復印字でズレが発生する	ドット位置を補正してください。 ☞ 「ドット位置を補正する」 (P. 80)
プリント中にインク滴が落ちる	- ワイパーを清掃してください。 ☞ 「ワイパーとキャップの清掃」 (P. 120) - インクキャップのクリーニングをしてください。 ☞ 「ワイパーとキャップの清掃」 (P. 120)

現象	対処方法
	3. ヘッドの周辺を清掃してください。  「ヘッド周辺のメンテナンス」 (P. 132) 4. ヘッドクリーニングの[ノーマル] を実行してください。  「ヘッドクリーニング」 (P. 65) 5. 定期ワイピングの動作間隔を短く設定してください。  「ノズル面の清掃頻度を設定する」 (P. 94)

ノズル詰まりを解消したいとき

本機を長時間使用しなかった場合や環境温度によって、ノズルの吐出が不安定になる場合があります。ノズルの吐出を回復させるために以下の方法をお試してください。

1 日常のお手入れを行う。

- ・「お手入れのお願い」に記載されている各所のお手入れを行ってください。

2 ヘッドクリーニング（ノーマル）を実施する。

- ・ Step1のお手入れを行った後、ヘッドクリーニングを実施します。
 「ヘッドクリーニング」 (P. 65)
- ・ その後、テストプリントを行いノズルの状態を確認してください。
 「テストプリントをする」 (P. 61)



- ・ ノズル抜けが改善しない場合は、次のステップをお試してください。

3 ヘッドクリーニング（ハード）を実施する。

- ・ ノーマルクリーニングを繰り返してもノズル抜けが改善しない場合は、クリーニングモードをハードに設定して、再度ヘッドクリーニングを実施します。
 「ヘッドクリーニング」 (P. 65)
- ・ その後、テストプリントを行いノズルの状態を確認してください。
 「テストプリントをする」 (P. 61)

4 ヘッドクリーニングしてもノズル詰まりが解消しない場合は、ノズル詰まりが復旧しない場合の操作をしてください。

- ・  「ノズル詰まりが復旧しない場合」 (P. 136)

重要! ・ 以上の操作をしてもノズル抜けが回復しない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください

インクボトルに異常が発生したら

インクボトルに異常が発生したら、インクボトルランプが「赤」に点灯し、ワーニングメッセージが表示されます。

プリント、クリーニングなど、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。

異常が発生したときは、次のようにしてください。

- ・ インクカバーにセットしているインクIC チップが正しくセットされているか確認してください。
- ・ 速やかに新しいインクボトルに交換してください。

- 重要!**
- インクボトル異常が表示されたまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。
ノズルが詰まった場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

インクボトル異常の内容を確認したいときは、次の操作をしてください。

1 ローカルモードで、[ENTER]キーを押す。

LUS-150 CMWWYKCICI
ザンリョウ 34567899

2 [ENTER]キーを押す。

インク IC ナシ
CMWWYKCICI

- インクボトル異常の内容が表示されます。
- 複数のインクボトル異常が発生している場合は、[ENTER]キーまたは◀ ▶を押すと、順番に表示されます。

インク漏れが発生したら

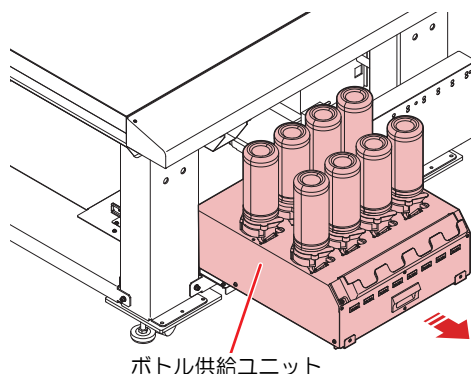
インク漏れが発生した場合は、主電源スイッチをオフにして電源プラグを抜いてから、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

「ホワイティンクボトル ヲ フッテクダサイ」が表示されたら

ホワイティンクは沈降しやすい性質を持っているため、定期的にインクボトルを振る必要があります。



- JFX200-1213EXの場合、事前にテーブルの下からボトル供給ユニットを手前にスライドさせてください。インクボトルの取り外し、またはセットの際に、作業しやすくなります。



ホワイティンクをご使用の場合、定期的にホワイティンクボトルを振るようメッセージが表示されますので、次の手順に従ってホワイティンクボトルを振ってください。

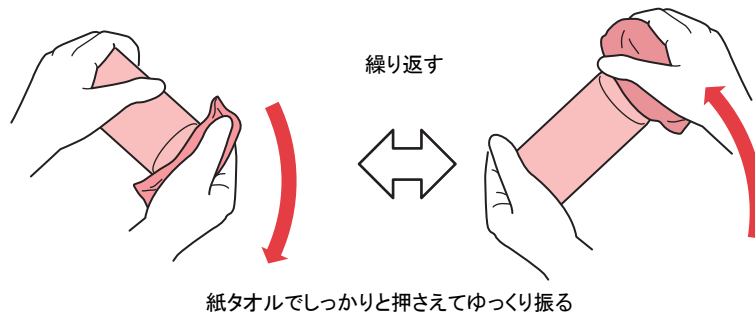
ホワイティンクボトル ヲ
フッテクダサイ [ENT]

1 ホワイティンクボトルを取り出し、20回以上ゆっくりと左右に振る。

- 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、手袋を着用して紙タオルなどでインクボトルのフタをしめた状態で、ゆっくりとインクを流すように左右に20回以上振ってください。

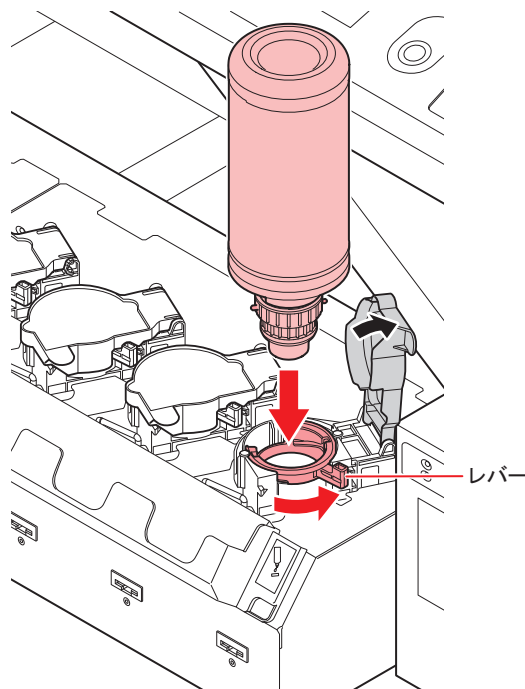


- フタがしっかりと閉まっていることを確認してから振ってください。
- 強く振りすぎるとインク漏れの原因となる場合があります。慎重に行ってください。
- インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があります。インクボトルが縦になるまで傾けてください。



2 タンクにインクボトルをセットし、タンク部のレバーを右から左へ回す。

- タンク部のレバーを右端まで確実に回してから、インクボトルをセットしてください。



- 重要!** • インクボトルをタンクにセットしたら、絶対にインクボトルを回さないでください。インク漏れの原因になります。

3 [ENTER]を押す。

サブタンク関連のエラーが発生したら

エラー618～61b は、サブタンクに関するエラーです。

サブタンク関連のエラーが発生した場合、またはクリーニングでノズル詰まりが解消しない場合は、以下の操作を実行してください。

1 メンテナンスメニューの[サブタンク]を選ぶ。

- (1) ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。
- (2) ▲ ▼を押して[メンテナンス]を選び、[ENTER]キーを押す。
- (3) ▲ ▼を押して[サブタンク]を選ぶ。

2 [ENTER]キーを押す。

サブタンク センタク
:CMYKYKMCCICIWW

3 [ENTER]キーを押す。

サブタンク
ジッコウ [ENT]

4 [ENTER]キーを押す。

- ・ 自動で排出、充填動作が行われます。

** ジュウテン **
シバラク オマチクダサイ

- ・ 充填が完了すると、クリーニングを行います。

** クリーニング **
シバラク オマチクダサイ

5 終了するとき、[END]キーを数回押す。

圧力異常が発生したら

使用環境や経年変化により、本機で管理している圧力が制御範囲を超えてしまう場合があります。

圧力異常に関するエラーが発生した場合は、速やかに以下の操作を実行して圧力を調整し、正常な値に戻してください。

1 メンテナンスメニューの[アツリョク チョウセイ]を選ぶ。

- (1) ローカルで、[FUNCTION]キーを押す。
- (2) ▲ ▼を押して[メンテナンス]を選び、[ENTER]キーを押す。
- (3) ▲ ▼を押して[アツリョク チョウセイ]を選ぶ。

2 ▲▼を押して、"セイアツ"または"フアツ"を選ぶ。

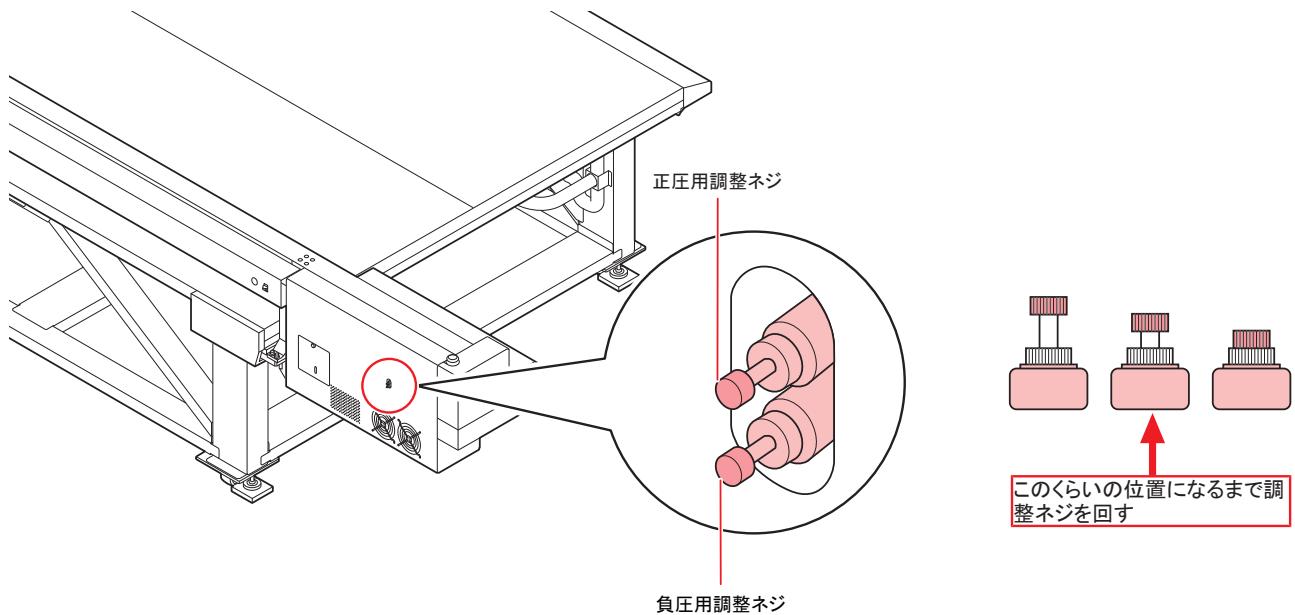
アツリョク チョウセイ
: フアツ

3 [ENTER]キーを押す。

スロットルバルブ ラカイハウ
シュウリョウ [ENT]

4 スロットルバルブの調整ネジを回し、空気が流れるように開放する。

- ・ スロットルバルブの調整ネジが中間地点に来るまで回してください。



5 [ENTER]キーを押す。

- ・ センサの調整が始まります。

** チョウセイ **
シバラク オマチクダサイ

6 スロットルバルブ調整ネジを回して、圧力が適正値になるように調整する。

- ・ 負圧の適正値: -2.70kPa
- ・ 正圧の適正値: 15.00kPa
- ・ スロットルバルブの調整は、「負圧」→「正圧」→「負圧」の順番で行ってください。
- ・ 負圧では $\pm 0.1 \sim 0.2$ kPa の範囲で変動するため、中間値が目標の圧力になるように調整してください。

アツリヨク
= -2.70 kPa

7 [ENTER]キーを押す。

- ・ エラーが解除され、負圧制御が始まります。

シバラク オマチクダサイ

重要! ・ 圧力調整を実施してもエラーが発生する場合、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

5.2 メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。

メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

操作を実行したときに表示されるエラー

表示	原因	対処方法
ジッコウ デキマセン : インク エラーアリ	インクエラーが発生している。	• 表示しているカラーに対応する供給経路のインクボトルを確認してください。
ジッコウ デキマセン : プリントデータ アリ	データを受信している。	• データクリアを実行してください。 ☞ 「受信したデータを消去する（データクリア）」 （P. 68）
NCU インクキュウシュウザイコウカン	インク吸収材の交換時期になった。	• NCUのインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU エラー ノズルチェックOFF	ノズルチェック中にエラーが発生した。プリントを停止して、ノズルチェック機能をOFFにした。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU コウカン	ノズル詰まり判定に異常を検出した。	• NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU センサーカンドティカ	センサー感度が低下している。	• NCUを清掃してください。☞ 「NCUの清掃」（P. 126）
NCU カンドチョウセイエラー H	センサー感度調整に失敗した。	• エラーが解消されない場合、NCUの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU カンドチョウセイエラー L		
NCU セツソクイジョウ	NCUの接続に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 ☞ 「電源を切る」（P. 51）
NCU ケンシュツエラー(HW) ノズルチェックOFF	ノズル詰まり判定に異常を検出した。	• NCUを清掃してください。☞ 「NCUの清掃」（P. 126）
NCU ケンシュツエラー(マーク) ノズルチェックOFF		
NCU センターイチケンシュツエラー ノズルチェックOFF	吐出位置の調整に失敗した。	
NCU トシュツイチケンシュツエラー ノズルチェックOFF		
NCU SNチョウセイエラー ノズルチェックOFF	センサー感度調整に失敗した。	

ローカルで表示されるメッセージ

表示	原因	対処方法
<ローカル> プリントフカ/インクボトル[ENT]	複数のインクエラー（使用不可インク）が発生している。 インクの供給（プリントやクリーニングなど）が行えない。	• [ENTER]キーを押して、該当インクボトルとエラー内容を確認し、使用可能インクボトルと交換してください。
<ローカル> ハイインクタンク カクニン[MNT]	廃インクタンクがフル間近。	• 廃インクタンクを確認してください。
<ローカル> ワイパー コウカン[MNT]	キャッピングステーションのワイパー交換時期。 （ワイピング回数が規定値に達した）	• [MAINT.]キーを押して、ワイパーを交換してください。 ☞ 「ワイパーを交換する」 (P. 152)
<ローカル> プリントデータ アリ	データ受信済み。	• [REMOTE]キーを押してプリントを実施してください。 またはデータクリアを実行してください。 ☞ 「受信したデータを消去する（データクリア）」 (P. 68)
<ローカル> ミズフソク	冷却水タンクの水が不足している。	• 冷却水を補充してください。 冷却水を補充する
<ローカル> ミズヲホジュウシテクダサイ	冷却水タンクの水が少なくなしてから、7日以上経過した。	• 冷却水を補充してください。 冷却水を補充する • このワーニングを表示している間は、オンラインプリントができません。
<ローカル> UVランプ オンド タカイ	LEDランプの温度が高い。	• 温度が下がり、メッセージが消えるまでしばらくお待ちください。
<ローカル> ファツイジョウ	負圧センサーの値が異常になっている。	• 圧力調整を実施してください。 ☞ 「圧力異常が発生したら」 (P. 170)
<ローカル> セイアツイジョウ	正圧センサーの値が異常になっている。	• 正常な値に調整できない、または実施しても再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
<ローカル> インクニアエンド[ENT]	供給ユニット内のインクが少なくなった。	• [ENTER]キーを押して、該当するインクボトルを確認してください。 間もなくインクエンドとなるので、注意してください。
<ローカル> キョウキュウ : CMYKYMCCICIWW	サブタンクへのインク補充に失敗した。	• サブタンクのメンテナンスを実施してください。 サブタンク関連のエラーが発生したら またインクボトル内のインク残量も確認してください。 実施しても再度表示する場合

表示	原因	対処方法
		は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
<ローカル> サブタンク : CMYKYMCCICIWW	サブタンクの液面センサーの異常を検出した。	- 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 - 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
<ローカル> オーバーフロー : CMYKYMCCICIWW	サブタンクからのオーバーフローを検出した。	- サブタンクのメンテナンスを実施してください。 - サブタンク関連のエラーが発生したら再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
<ローカル> ザンリョウH : CMYKYMCCICIWW	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサーHighに変化がない。	
<ローカル> ザンリョウL : CMYKYMCCICIWW	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサーLowに変化がない。	
<ローカル> ソウチオンド/タカイ***°C	本機の温度が高い。	使用環境の温度を調整してください。
<ローカル> ソウチオンド/ヒクイ***°C	本機の温度が低い。	
<ローカル> キョウキュウポンプ コウカン	インク経路内の供給ポンプが交換間近になった。	- 供給ポンプを交換する必要があります。 - 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
<ローカル> キュウインポンプ コウカン	インク経路内の吸引ポンプが交換間近になった。	- 吸引ポンプを交換する必要があります。 - 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
<ローカル> Yモーター ブラシ コウカン	Yモーターのブラシ交換時期になった。	- Yモーターのブラシ交換時期になりました。 - 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

インクエラー

インクエラーは、ローカルガイダンスでも表示されます。

 「その他の情報を表示する」 (P. 112)

表示	原因	対処方法
インク IC ナシ : ---- YYKK	インクボトルのインクICチップが正常に読み込まない。	- ワーニングが発生しているインクボトルを再挿入してください。 - 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
インク IC イジョウ : ---- YYKK		

表示	原因	対処方法
インク シュルイ : --- YYKK	インクボトルのインク種類が充填してあるインクと異なる。	・ワーニングが発生しているインクボトルのインク種類を確認してください。
インク カラー : --- YYKK	インクボトルのインクカラーが充填してあるインクと異なる。	・ワーニングが発生しているインクボトルのインクカラーを確認してください。
インクボトル イジョウ : --- YYKK	インクボトルのインクICチップ情報に異常が生じた。	・ワーニングが発生しているインクボトルを交換してください。
インクボトル ナシ : --- YYKK	インクボトルが外部インク供給ユニットにセットされていない。	・ワーニングが発生しているボトルホルダーにインクボトルをセットしてください。
インク キゲンギレ : --- YYKK	インクが期限切れになった。	・新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。 ☞ 「インクボトルを交換する」 (P. 40)
インク キゲンギレ (1カゲツ) : --- YYKK	インクが期限切れから、1か月経過した。	・新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。 ☞ 「インクボトルを交換する」 (P. 40)
インク キゲンギレ (2カゲツ) : --- YYKK	インクが期限切れから、2か月経過した。	・新しいインクに交換してください。まもなくプリント不可になります。 ☞ 「インクボトルを交換する」 (P. 40)

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。

表示	原因	対処方法
ジッコウ デキマセン : インクエラー アリ	インクエラーが発生している。	・表示しているカラーに対応する供給経路のインクボトルを確認してください。
ジッコウ デキマセン : プリントエラー アリ	データを受信している。	・データクリアを実行してください。 ☞ 「受信したデータを消去する (データクリア)」 (P. 68)
ERROR 04 PARAM ROM	パラメータに異常がある。	・一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 108 HD CONNECT [1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12]	ヘッドの接続が確認できなかった。	
ERROR 108 HD THERMIS [1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12]	ヘッドの温度が読み取れなかった。	
ERROR 12a HDC SPEED	インク吐出波形に異常が発生した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 12e Head Failed [x x x x]	ヘッド、波形ドライバの異常が発生した。	
ERROR 122 CHECK : SDRAM	PRAMがない。	
ERROR 128 HDC FIFO OVER	- データ転送が速すぎる。 - 制御基板に異常が発生した。	
ERROR 128 HDC FIFO UNDER	- データ転送が遅すぎる。 - 制御基板に異常が発生した。	
ERROR 129 バッテリー コウカン	内部時計の電池切れを検出した。	販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 130 HD DATA SEQ	ヘッドデータ 転送エラーが発生した。	- 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 - 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 148 E-LOG SEQ	イベントログのシーケンシャルナンバ異常が発生した。	
ERROR 151 Main PCB V1R2	メイン基板 1.2V電源に異常が発生した。	
ERROR 152 Main PCB V2R5	メイン基板 2.5V電源に異常が発生した。	
ERROR 153 Main PCB V3R3	メイン基板 3.3V電源に異常が発生した。	
ERROR 154 Main PCB V05	メイン基板 5V電源に異常が発生した。	
ERROR 155 Main PCB V35-1	メイン基板 35-1V電源に異常が発生した。	
ERROR 156 Main PCB V5B	メイン基板 5VB電源に異常が発生した。	
ERROR 157 Main PCB VTT	メイン基板 VTT電源に異常が発生した。	
ERROR 158 Main PCB V352	メイン基板 35-2V電源に異常が発生した。	
ERROR 15f HEAD DRIVE HOT	COMドライバが高温になっている。	- 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 - 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 16e Main PCB V3R3B	メイン基板 3.3VB電源に異常が発生した。	
ERROR 171 NEW HEAD CONNECT	新しいヘッドの接続を認識した。	
ERROR 172 Main PCB Q6 Check	メイン基板 Q6が故障（ショートモード）している。	
ERROR 186 HDC OVERFLOW	印字している波形の異常を検出した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 186 HDC UNDERFLOW	メイン基板電源に異常が発生した。 メイン基板1.5V電源に異常が発生した。 メイン基板12V電源に異常が発生した。 フラッシング制御に異常が発生した。 ヘッド電圧制御に異常が発生した。	
ERROR 187 HDC SLEW RATE		
ERROR 188 HDC MEMORY		
ERROR 18a Main PCB V_CORE		
ERROR 18b Main PCB V1R5B		
ERROR 18c Main PCB V12		
ERROR 18e FLS NOT COMP [1 2 _ _]		
ERROR 18f OFFSET START [1 2 _ _]		
ERROR 18f OFFSET END [1 2 _ _]		
ERROR 19d HDC V36 [1 2 _ _]	HDC基板電圧に異常が発生した。	- インターフェイスクーブルを確実に接続してください。 - 規格に適合したインターフェイスクーブルを使用してください。
ERROR 19f LEDセツゾク イジョウ: *****	LED UVが未接続。	
ERROR 201 COMMAND	コマンドデータ以外のデータを受信した。	
ERROR 202 PARAMETER	数値範囲外のパラメータを受信した。	- 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 - 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 203 Ment Command	メンテナンスコマンドの動作に失敗した。	
ERROR 304 USB INTI ERR	USBデバイスの初期化に失敗した。	
ERROR 305 USB TIME OUT	USBデバイスにタイムアウトエラーが発生した。	
ERROR 401 モーターアラーム X	Xモーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 402 モーターアラーム Y	Yモーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 403 X オーバーカレント	Xモーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 404 Y オーバーカレント	Yモーターの過電流エラーを検出した。	- Yモーターのブラシ交換時期になりました。 - 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 444 Yモーター ブラシ コウカン	Yモーターのブラシ交換時期になった。	

表示	原因	対処方法
ERROR 505 メディア ジャンム	メディア詰まりが発生した。	• メディアを取り除き、再セットしてください。
ERROR 509 HDC POSCNT	HDCポジションカウンタエラーが発生した。	- 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 - 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 50a Y ゲンテン ケンシュツ	Y原点が検出できなかった。	
ERROR 50f L-SCALE BLACK	リニアスケール異常が発生した。	
ERROR 510 Xゲンテン ケンシュツ	X原点が検出できなかった。	
ERROR 519 ファツ センサー イジョウ	負圧センサーの値が異常になっている。	- 圧力調整を実施してください。  「圧力異常が発生したら」(P. 170) - 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 51a セイアツ センサー イジョウ	正圧センサーの値が異常になっている。	
ERROR 617 サブタンク: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	サブタンクの液面センサー異常を検出した。	- 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 - 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 618 ザンリョウH: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサーHighに変化がない。	
ERROR 619 ザンリョウL: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサーLowに変化がない。	- サブタンクのメンテナンスを実施してください。 - サブタンク関連のエラーが発生したら - 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 61a オーバーフロー: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	サブタンクからのオーバーフローを検出した。	
ERROR 61b キョウキュウ: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	サブタンクへのインク供給ができなかった。	- 圧力調整を実施してください。 - またインクボトル内のインク残量も確認してください。 - サブタンク関連のエラーが発生したら - 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 61c ファツ セイギョ	負圧制御開始異常。	
ERROR 61d ファツ イジ フソク	負圧を維持できなかった。	- 圧力調整を実施してください。  「圧力異常が発生したら」(P. 170) - 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 61e ファツ イジ オーバー		
ERROR 61f セイアツ セイギョ	正圧制御開始異常。	
ERROR 620 セイアツ イジフソク	正圧を維持できなかった。	

表示	原因	対処方法
ERROR 621 セイアツ イジオーバー		
ERROR 637 インクモレ 1 --	インク供給経路内のインク漏れを検出した。	・ 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 64C NCUエラー	何らかのエラーにより機能が実行できない。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 ☞ 「電源を切る」 (P. 51)
ERROR 650 NCUセツゾクイジョウ	NCUの接続に異常を検出した。	
ERROR 651 NCUコウカン	ノズル詰まり判定に異常を検出した。	・ NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
ERROR 652 NCU ケンシュツエラー (HW)	ノズル詰まり判定に異常を検出した。	・ NCUを清掃してください。☞ 「NCUの清掃」 (P. 126)
ERROR 653 NCU ケンシュツエラー (マーク)		
ERROR 654 NCU センターイチケンシュツエラー	吐出位置の調整に失敗した。	
ERROR 655 NCUトシュツイチケンシュツエラー		
ERROR 656 NCU SNチョウセイエラー	センサー感度調整に失敗した。	
ERROR 657 NCU インクキュウシュウザイコウカン	NCUのインク吸収材が満杯になった。	・ NCUのインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
ERROR 658 NCU センサーカンドティカ	センサー感度が低下している。	・ NCUを清掃してください。☞ 「NCUの清掃」 (P. 126) ・ エラーが解消されない場合、NCUの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
ERROR 65b NCUカンドチョウセイエラーH	センサー感度調整に失敗した。	
ERROR 65c NCUカンドチョウセイエラーL		
ERROR 702 サーミスタ イジョウ	サーミスタ異常が発生している。	・ 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 706 DRV OVHT 0**0**	UVLED Driver基板が高温になった。	
ERROR 707 !HD ヒータ ダンセン	ヘッドのヒーターが断線している。	
ERROR 711 LED OVHT 0**0**	UVLED基板が高温になった。	
ERROR 714 インクヒータ ツウシン イジョウ	インクヒータ基板の通信異常。	
ERROR 715 インクヒータR サーミスタ: 1 2	インクヒータのサーミスタ異常。	

表示	原因	対処方法
ERROR 715 インクヒータF サーミスタ: 1 2		
ERROR 716 インクヒータR オンド: 1 2	インクヒータの温度異常。	- 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 - 電源をオンにしたとき、インクヒータを制御するか選ぶ画面が表示されます。[>] (START) キーを押し、インクヒータの制御を開始してください。 - 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 716 インクヒータF オンド: 1 2		
ERROR 717 インクヒータR ダンセン: 1 2	インクヒータが断線した。	- 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 - 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 717 インクヒータF ダンセン: 1 2		
ERROR 718 インクヒータPCB サーミスタ: 1 2	インクヒータPCBのサーミスタ異常。	- 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 - 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 719 インクヒータPCB ヒューズ: 1 2	インクヒータPCBのヒューズ切れ。	
ERROR 71a UV-DRV ヒューズ: *****	UVLED Driver基板のヒューズ切れ。	
ERROR 902 プリント データ アリ	プリントデータが残っている。	- データクリアを実行してください。  「受信したデータを消去する (データクリア)」 (P. 68)
ERROR 90d ヘッド センタク ナシ	搭載ヘッド数が0となっている。	- 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 - 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 90f	内蔵パターン印刷に必要な作図領域が不足している。	原点を再設定してください。
ERROR 920 ソウチオンド/ヒクイ **°C	環境温度が使用可能温度範囲外 (低い) になっている。	設置環境の温度を調整してください。
ERROR 924 ソウチオンド/タカイ **°C	環境温度が使用可能温度範囲外 (高い) になっている。	

SYSTEM HALT

表示	対処方法
SYSTEM HALT (*). 000: メッセージ	一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 エラー番号を確認のうえ、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。（"000"はエラー番号。）

第 6 章 付録



この章では...
本機の仕様一覧表や、機能の一覧表を記載しています。

仕様	184	インクボトルのセット順	186
本体仕様	184	お問い合わせシート	187
インク仕様	185	LICENSE Library (EPL5 StarterWare)	188

6.1 仕様

本体仕様

項目		JFX200-2513EX	JFX200-1213EX
プリントヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド	
	仕様	3ヘッド：2スタガ カラー2インライン、特色1インライン	
印刷条件 (スキャン x フィード)	4色+白+クリア 4色+白+クリア +プライマ 4色+白 ^{*2}	300 x 300HQ：双方向/単方向 4/8 pass 300 x 450HQ：双方向/単方向 6/12 pass 600 x 600：双方向/単方向 8/16 pass 600 x 900：双方向/単方向 12/24 pass 1200 x 1200：双方向/単方向 16/32 pass	
	6色+白+クリア	300 x 300HQ：双方向/単方向 8/16 pass 300 x 450HQ：双方向/単方向 12/24 pass 600 x 600：双方向/単方向 16/32 pass 600 x 900：双方向/単方向 24/48 pass 1200 x 1200：双方向/単方向 32/64 pass	
使用可能インク		専用UV硬化インク（Y, M, C, K, Lm, Lc, W, CL, Pr）	
インク供給		1L x 8ボトル	
インク容量	4色+白+クリア	C/M/Y/K：各1本、W/CL：各2本	
	4色+白+クリア +プライマ	C/M/Y/K/CL/Pr：各1本、W：2本	
	4色+白 ^{*2}	C/M/Y/K：各1本、W：4本	
	6色+白+クリア	C/M/Y/K/Lc/Lm：各1本、W：2本	
使用可能メディア	サイズ	2500mm x 1300mm	1270mm x 1300 mm
	厚さ	50mm以下	
	重さ	50kg/m ² まで、集中荷重禁止	
最大プリント範囲		2500mm x 1300mm	1270mm x 1300 mm
距離精度	絶対精度	±0.3mmまたは指定距離の±0.3%の大きい方	
	再現性	±0.2mmまたは指定距離の±0.1%の大きい方	
直角度		±0.5mm/500mm	
ヘッド高さ調整		1.2mm～3mm（メディア厚み自動認識）	
メディア吸着		バキュームユニットによる吸着固定	
UV装置		UV LED灯具（キャリアッジに搭載）	
		UV電源本体内蔵	
廃インクタンク		ボトル式（2600cc）/ソフトカウンターによる検出を行う	
インターフェイス		USB2.0 Hi-speed / 1000BASE-T Ethernet（推奨）	
コマンド		MRL-III	
騒音	待機時	55dB以下（FAST-A、前後左右1m）	
	連続動作時 ^{*1}	75dB以下	

項目		JFX200-2513EX	JFX200-1213EX
適合規格		VCCI-classA、FCC ClassA、UL62368-1準拠ETL、CEマーキング（EMC指令、低電圧指令、機械指令）、IEC/EN62368-1（CB認証）、RoHS対応、Reach対応、RCM	
電源仕様		AC200-240±10%、50/60Hz±1Hz、12A以下	
消費電力		2880W以下	
設置環境	使用可能温度	15°C～30°C（59°F～86°F）	
	相対湿度	35～65%Rh（結露なきこと）	
	精度保証温度	20°C～25°C（68°F～77°F）	
	温度勾配	±10°C/h以下	
	粉塵	0.15mg/m ³ （オフィス相当）	
重量		約600kg	約510kg
外形寸法 （突起物を含む）	幅（W）	4400mm	3200mm
	奥行き（D）	2450mm	2450mm
	高さ（H）	1250mm	1250mm

*1. 73.5db（A）、動作条件：高速スキャン、プロフON：機械指令2006/42/ECの1.7.4.2 項に準じる。

*2. 本インクセットを使用する場合は、OPT-J499が必要になります。

インク仕様

項目		仕様
形態		1Lインクボトル
色		ブラックインク シアンインク マゼンタインク イエローインク ホワイトインク ライトシアン（LUS-150、LH-100、ELH-100インクのみ） ライトマゼンタ（LUS-150、LH-100、ELH-100インクのみ） クリアインク（LH-100、ELH-100、LUS-120、LUS-350、LUS-211インク） プライマーインク（PR-200）
インク容量		1リットル
有効期限		有効期限は、インクボトルに記載されている通り。 ただし、開封後は期限内であっても3ヶ月以内。
保存温度	保存時	5～30℃（30℃の場合、1ヶ月以内）
	輸送時	1～60℃（60℃の場合120時間以内、40℃の場合1ヶ月以内）

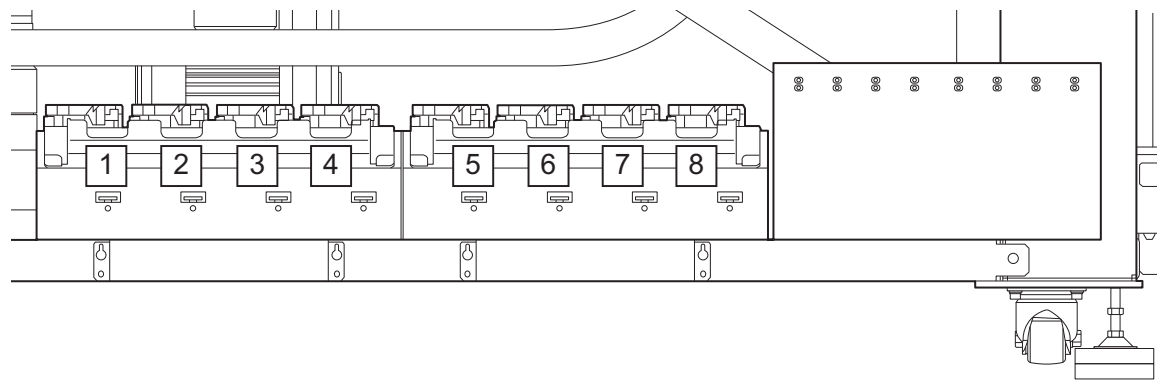
重要！

- ・ 弊社が指定しているインク以外は、使用しないでください。
また、インクボトルを分解したり、インクの詰め替えや継ぎ足しをしないでください。
- ・ インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。
万が一インクが凍結したときは、室温（25℃）で3時間以上かけて解凍してから使用してください。
ただし、解凍したインクを使用すると、インクの変質によりプリント品質が劣化します。インクが凍結しない環境で保管してください。

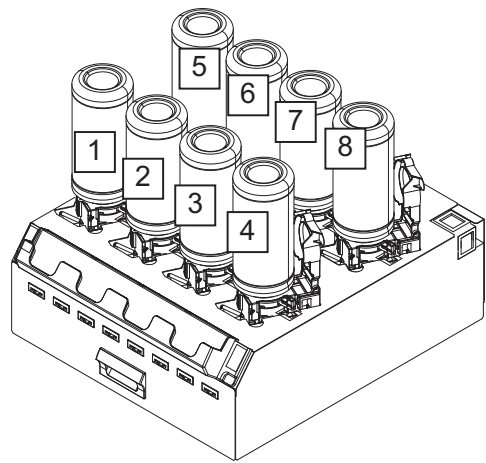
6.2 インクボトルのセット順

お使いになるインクセットによって、セットするインクボトルの順番が異なります。

JFX200-2513EXの場合



JFX200-1213EXの場合



インクセット	インク配置							
	1	2	3	4	5	6	7	8
4色+白インク+クリア	C	M	W	W	Y	K	Cl	Cl
4色+白インク+プライマ+クリア	C	M	W	W	Y	K	Pr	Cl
4色+白インク(OPT-J499が必要)	C	M	W	W	Y	K	W	W
6色+白インク+クリア	C	M	Cl	W	Y	K	Lm	Lc

6.3 お問い合わせシート

プリンターの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所までFAXでお送りください。

御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンター機種名	
お使いのOS	
マシン情報 ^{*1}	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

*1.  「本機の情報を確認する」(P. 110) をご覧いただき、必要な情報をご記入ください。

6.4 LICENSE Library (EPL5 StarterWare)

Mimaki printer Firmware

Copyright ©2020 MIMAKI ENGINEERING CO.,LTD. All rights reserved.

This product contain open source software listed in the tables below.

Component	License
StarterWare for ARM® based TI Sitara Processors	BSD-TI

The following license terms and conditions shall apply to the open source software listed in the table above:

BSD-TI

Copyright (C) 2010 Texas Instruments Incorporated - <http://www.ti.com/>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

インデックス

L	
LANGUAGE	96
M	
MAPS	79, 86
U	
USB2.0インターフェイスケーブル	31
UV モード	79
UV ランプ	111
い	
イオナイザー	79
インク エンド	137
インクエンド	44, 129
インクキャップ	120
インクニアエンド	44
インクボトルランプ	167
お	
オート クリーニング	79
オート パワーオフ	96
か	
外部停止I/F	96
カサネヌリ	79
き	
キープザー	96
キャッピングステーション	29
キャリッジ	29
吸引バルブ	53
け	
警告ラベル	15
原点位置	73
し	
ジコク セッテイ	96
遮光カバー	43

受信障害	6
シヨウジカン	111
シヨウ ジョウキョウ	110
た	
タンイ	96
て	
テキキ ワイピング	79
テストパターン	63
と	
ドットイチ ホセイ	79
ね	
ネットワーク	96
の	
ノズル センジョウ	136
ノズルリカバリ機能	146
ノズル リカバリ	136
ノズルリカバリ	146
は	
バージョン	110
ハイ インクタンク	111
廃インクタンク	154
ふ	
不凍液混合水	159
フラッシングフィルター	162
プリント チョウ	110
プリント メンセキ	110
へ	
ヘッドギャップ	77
ヘッド ジュウテン	136
ほ	
保管洗浄機能	129
ボトルキャップ	37, 38
ホワイトインク	168

ま	
マーク表示.....	7
み	
水不足.....	160
め	
免責事項	6
メンテナンス用洗浄液.....	116
ら	
ライトポインタマーク.....	72
り	
リセット	96
リフレッシュ	79
れ	
冷却水タンク	159
冷却装置	159
レベルフット.....	22
ろ	
ロジカルシーク	79, 82
わ	
ワークチェンジ	79
ワイパー	120
ワイピング.....	110

MEMO

JFX200-2513EX,JFX200-1213EX 取扱説明書

2025年11月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

